※について記載して提出願います

○プレキャスト擁壁設置　歩掛見積項目

NO.	名称	規格	単位	単価	備考
1	プレキャスト擁壁設置	5000×2000（標準）	基	※	参考図-2,1 参考図-2,2　参照
2	プレキャスト擁壁設置	6000×2000（標準）	基	※	
3	プレキャスト擁壁設置	5771/5844×2000 H=6000 天端勾配ｶｯﾄ	基	※	
4	プレキャスト擁壁底盤設置	5500×2000（標準）	基	※	
5	プレキャスト擁壁底盤設置	6000×2000（標準）	基	※	
6	プレキャスト擁壁底盤設置	5771/5844×2000 H=6000 天端勾配ｶｯﾄ	基	※	

※　【別紙-1】の記載例程度の構成で作成してください。

○ガードレール基礎設置　歩掛見積項目

NO.	名称	規格	単位	単価	備考
1	ガードレール基礎設置	450×400×2000	基	※	参考図-2,3 参照

※ 【別紙-2 】の記載例程度の構成で作成してください。

○門扉設置　歩掛見積項目

NO.	名称	規格	単位	単価	備考
1	門扉設置	H=1.8m	基	※	参考図-2,4参照

※ 【別紙-3】の記載例程度の構成で作成してください。

○エンドキャップ設置　歩掛見積項目

NO.	名称	規格	単位	単価	備考
1	エンドキャップ設置	高密度ポリエチレン管φ1,000	箇所	※	参考図-3,1参照

※ 【別紙-4】の記載例程度の構成で作成してください。

※について記載して提出願います

○鋼製組立網　孔加工費　施工単価見積項目

NO.	名称	規格	単位	単価	備考
1	鋼製組立網　孔加工費	φ2,450	枚	※	参考図-5，1参照
2	鋼製組立網　孔加工費	φ2,100	枚	※	参考図-5，2参照
3	鋼製組立網　孔加工費	φ2,250	枚	※	参考図-5，3参照

1）鋼製組立網　孔加工にかかる1枚当りの施工単価を記載してください。

2）見積り条件

・ 材料費は含まないでください

・ 夜間作業（20時～6時）は含みません

・ 鋼製組立網は、ユニットロック（主筋φ16mm、線径8mm、網目13cm）を使用するものとします。

・ 直接工事費としてください。

【別紙－1】見積書の様式〈例〉

■ プレキャスト擁壁設置　5500×2000（標準）

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
ﾌﾞﾛｯｸ工		人	※				
普通作業員		人	※				
ラフテレーンクレーン賃料	［油圧伸縮ジブ型］ 35t吊り	時間	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

■ プレキャスト擁壁設置　6000×2000（標準）

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
ﾌﾞﾛｯｸ工		人	※				
普通作業員		人	※				
ラフテレーンクレーン賃料	［油圧伸縮ジブ型］ 35t吊り	時間	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

■ プレキャスト擁壁設置　5771/5844×2000 H=6000 天端勾配ｶｯﾄ

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
ﾌﾞﾛｯｸ工		人	※				
普通作業員		人	※				
ラフテレーンクレーン賃料	［油圧伸縮ジブ型］ 35t吊り	時間	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

■ プレキャスト擁壁底盤設置　5500×2000（標準）

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
特殊作業員		人	※				
普通作業員		人	※				
グラウト材	12.4袋×15.0kg/袋	kg	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

■ プレキャスト擁壁底盤設置　6000×2000（標準）

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
特殊作業員		人	※				
普通作業員		人	※				
グラウト材	12.4袋×15.0kg/袋	kg	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

■ プレキャスト擁壁底盤設置　5771/5844×2000 H=6000 天端勾配ｶｯﾄ

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
特殊作業員		人	※				
普通作業員		人	※				
グラウト材	12.4袋×15.0kg/袋	kg	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

1）ダム周辺の取付道路に埋設するプレキャスト擁壁及びプレキャスト擁壁底盤の設置費です。
　詳細は参考図-2,1、参考図-2,2を参照して下さい。
2）機械経費、労務費及び材料費等、必要なすべての費用を含むものとします。
　ただし、プレキャスト擁壁の材料費は別途計上するものとし、見積対象外とします。
3）夜間作業（20時～6時）は含まないでください。
4）諸雑費は、設置に必要な工具等の費用であり、労務費合計額に対する率を記載してください。

【別紙－2】見積書の様式〈例〉

■ ガードレール基礎設置　450×400×2000

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
ﾌﾞﾛｯｸ工		人	※				
普通作業員		人	※				
トラッククレーン賃料	4.8～4.9t吊り	時間	※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

1）ダム周辺の取付道路に埋設するガードレール基礎の設置費です。
　詳細は参考図-2,1、参考図-2,3を参照して下さい。
2）機械経費、労務費及び材料費等、必要なすべての費用を含むものとします。
　ただし、ガードレール基礎及び基礎砕石の材料費は別途計上するものとし、見積対象外とします。
3）夜間作業（20時～6時）は含まないでください。
4）諸雑費は、設置に必要な工具等の費用であり、労務費合計額に対する率を記載してください。

【別紙－3】見積書の様式〈例〉

■ 門扉設置費　H=1.8m

（1基当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
特殊作業員		人	※				
普通作業員		人	※				
			※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

1） ダム周辺の取付道路に埋設するガードレール基礎の設置費です。
　詳細は参考図-2,1、参考図-2,4を参照して下さい。
2） 機械経費、労務費及び材料費等、必要なすべての費用を含むものとします。
3） 夜間作業（20時～6時）は含まないでください。
4） 諸雑費は、設置に必要な工具等の費用であり、労務費合計額に対する率を記載してください。

【別紙－4】見積書の様式〈例〉

■ エンドキャップ設置　　高密度ポリエチレン管φ1,000

（1箇所当たり）

名　　称	規　　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　　要	諸雑費
土木一般世話役		人	※				
普通作業員		人	※				
			※				
諸雑費		%	※			○%（労務費合計額に対して）	

1）　エンドキャップ設置にかかる1箇所当りの労務構成を記載してください。
　　上表に明示している構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。詳細は、別添　参考図－1を参照してください。

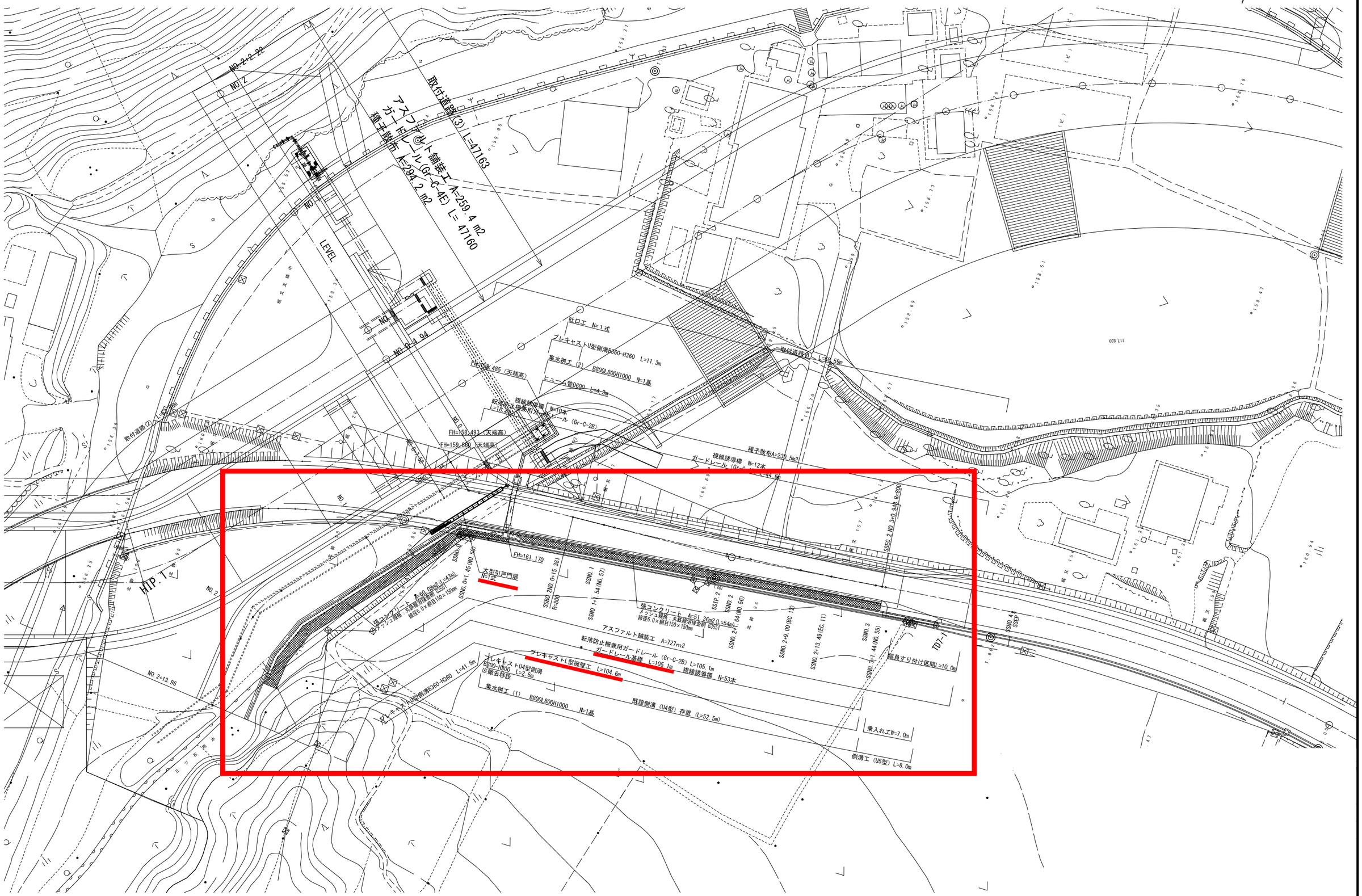
2）　見積り条件

・ 本歩掛りには、高密度ポリエチレン管φ1,000のエンドキャップ設置、運搬距離100m程度の現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費を含むものとします。
　ただし、エンドキャップ（φ1,000）の材料費は別途計上するものとし、見積り対象外とします。

・ 諸雑費は、設置に必要な工具等の費用であり、労務費合計額に対する率を記載してください。

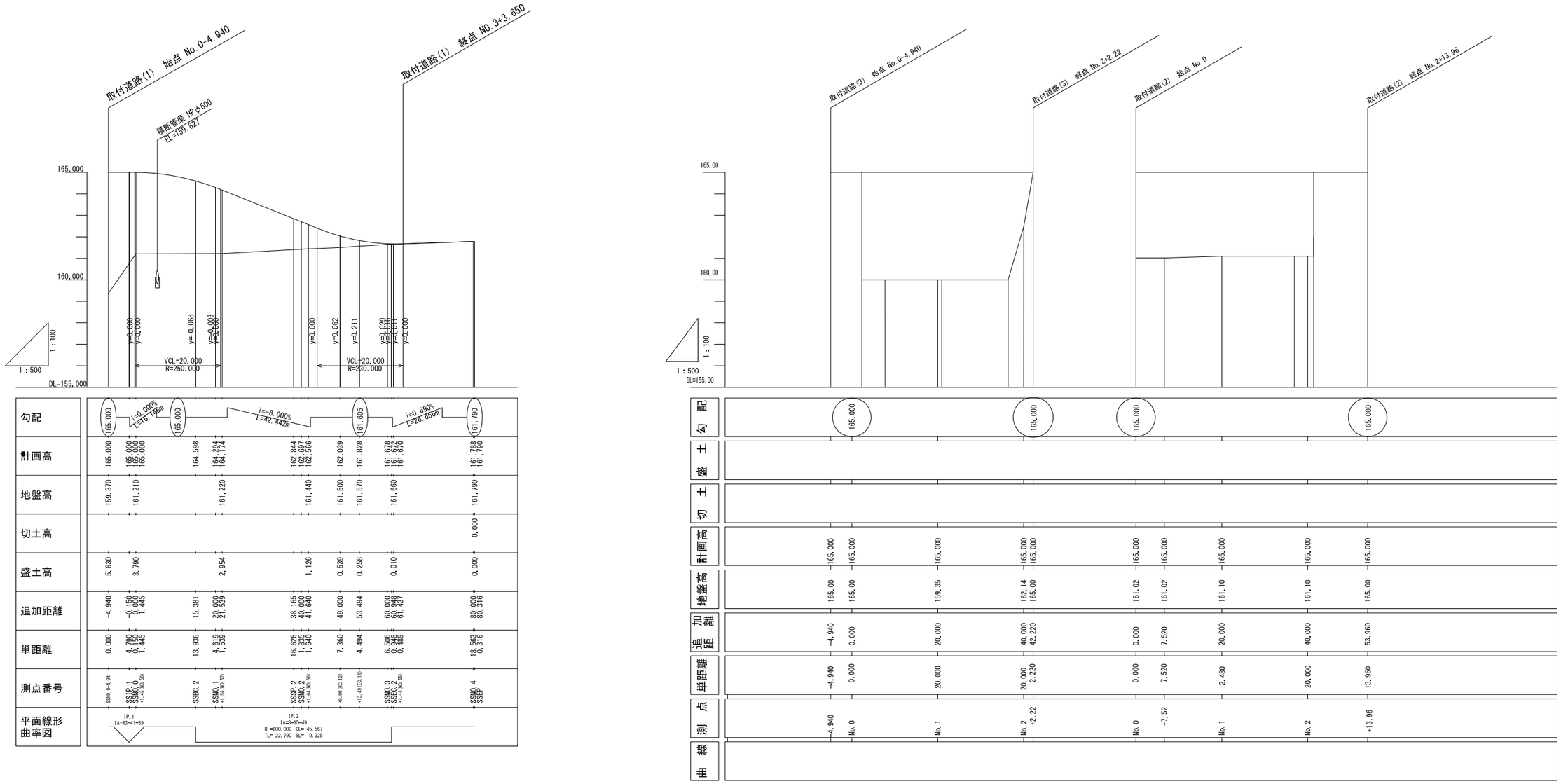
参考図－２,１

取付道路工平面図 S=1:250



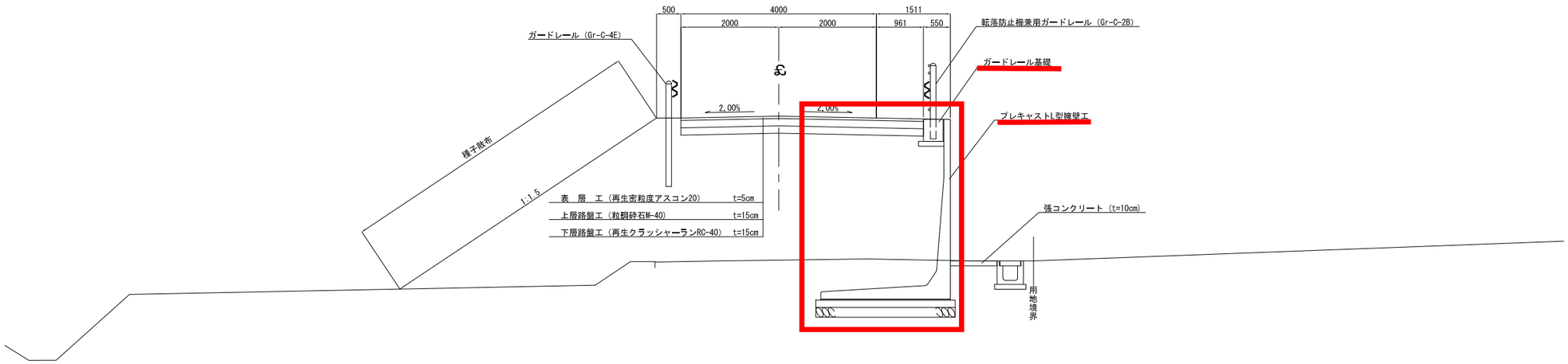
取付道路工縦断図

V=1:100
H=1:500



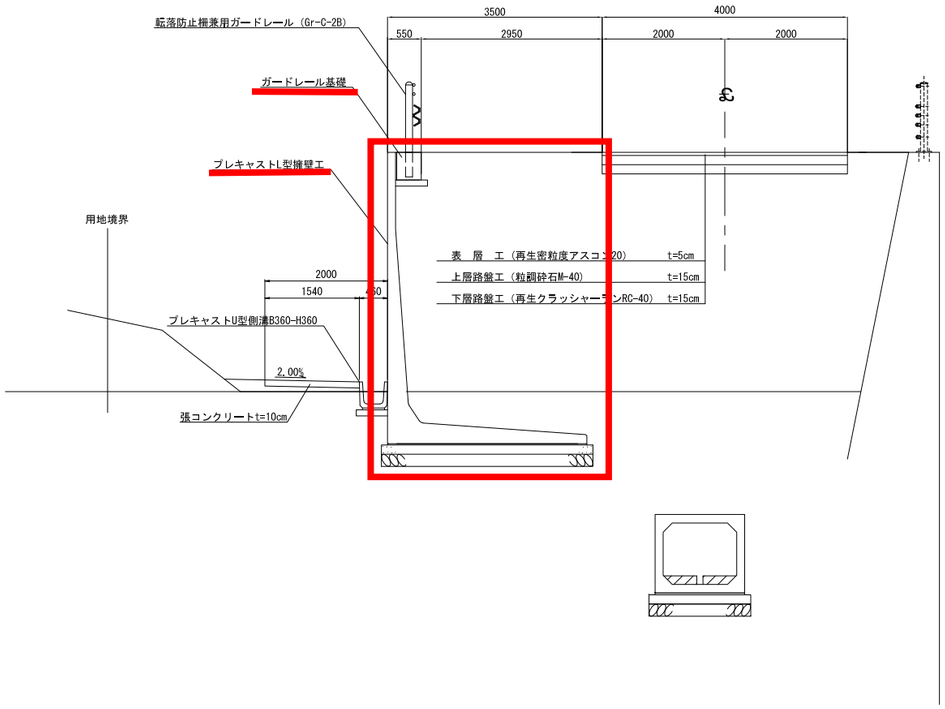
取付道路工標準横断図(1)　S=1:50

取付道路(1)
擁壁部



取付道路工標準横断図(2)　S=1:50

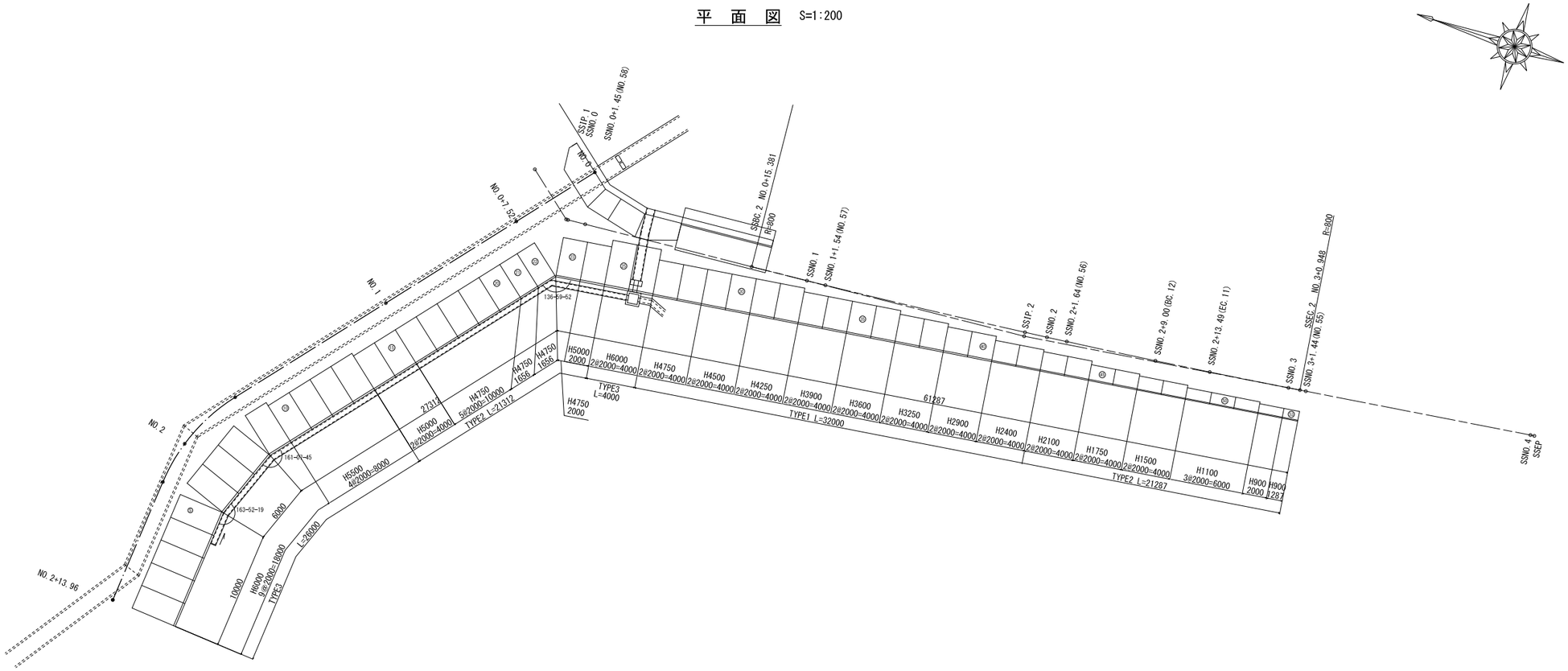
取付道路(2)



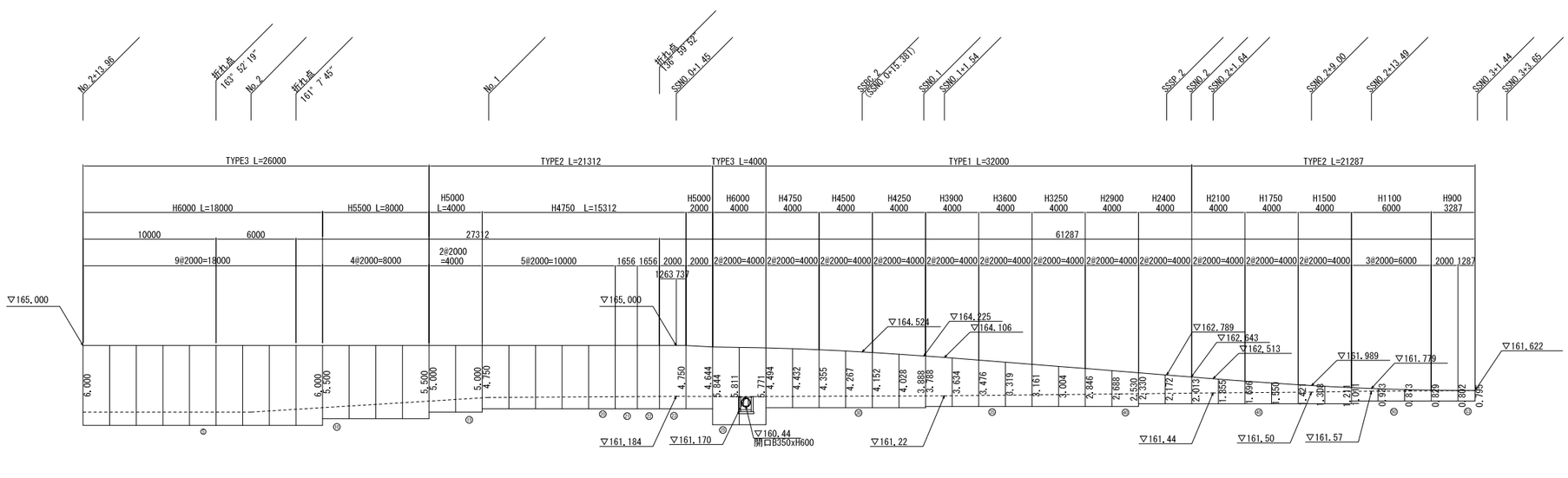
参考図－2,2

L型擁壁工詳細図（1）

平　面　図　S=1:200



正面展開図　S=1:200

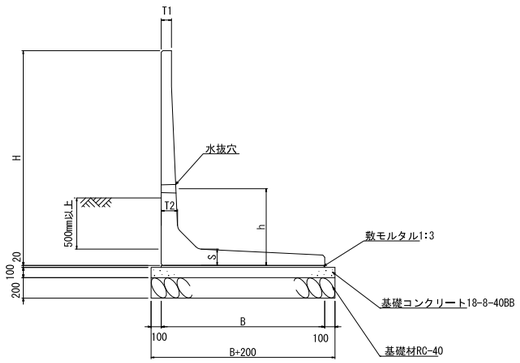


L型擁壁工詳細図（2）

設計条件			試行くさび法
項目		単位	設計値
上載荷重		kN/m2	10.0
衝突荷重	B，C種	kN	30.0
	作用高	m	0.6
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m3	24.5
	土	kN/m3	19.0
土の内部摩擦角		度	30
滑動摩擦係数		──	0.6
外水位			なし

標準断面図 S=1:30

TYPE1
H900-H2100



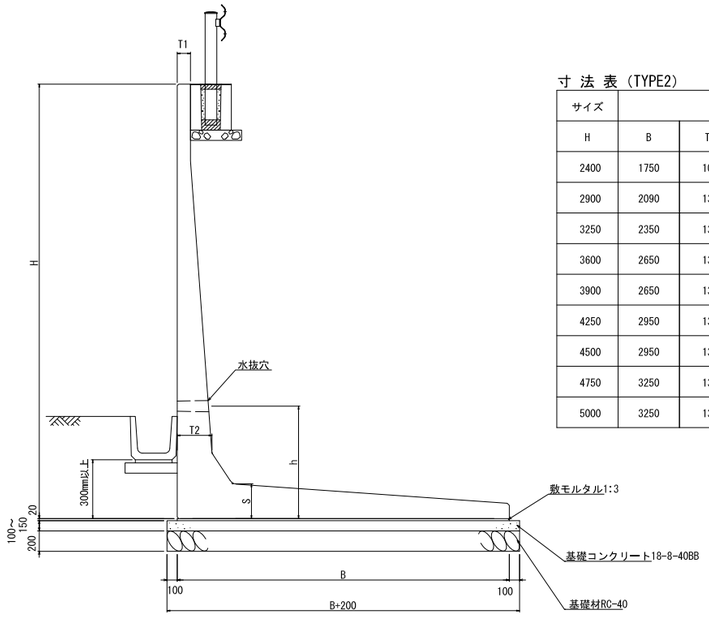
※ 擁壁背面の排水処理は適切に行うこと。
※ 水抜穴は現地確認の上、必要に応じて新設すること。
※ 施工時には現地にて地盤反力の確認を行うこと。
※ 必要地耐力を満たさない場合は、地盤改良等の対策を行うこと。

寸法表（TYPE1）

サイズ	寸法（mm）						必要地耐力（kN/㎡）	摘要
H	B	T1	T2	S	h			
900	800	80	80	80	700		42	
1100	950	80	100	100	700		49	
1500	1150	80	120	120	700		67	
1750	1300	100	140	140	700		77	
2100	1600	100	160	160	750		87	

※ 必要地耐力は常時検討時の値を示す

TYPE2
H2400-H5000



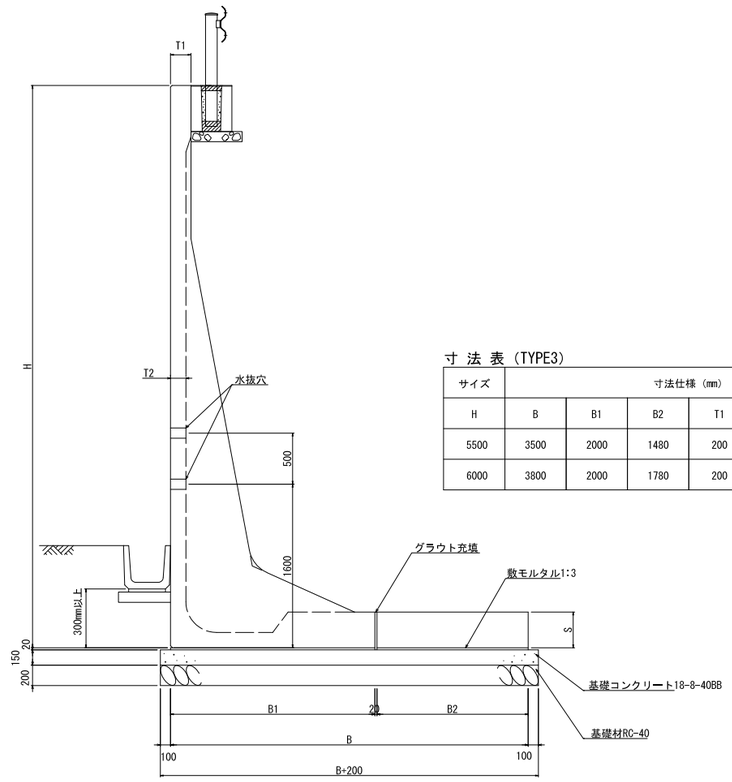
※ 擁壁前面に水路がない場合、根入れ基準は底版厚S+500mm以上とする。
※ 擁壁背面の排水処理は適切に行うこと。
※ 水抜穴は現地確認の上、必要に応じて新設すること。
※ 基礎厚：H3000以下は100mm、H3000超は150mm
※ 施工時には現地にて地盤反力の確認を行うこと。
※ 必要地耐力を満たさない場合は、地盤改良等の対策を行うこと。

寸法表（TYPE2）

サイズ	寸法（mm）					必要地耐力（kN/㎡）	摘要
H	B	T1	T2	S	h		
2400	1750	100	180	180	800	100	
2900	2090	130	220	220	800	117	
3250	2350	130	260	260	1000	129	
3600	2650	130	280	280	1050	138	
3900	2650	130	280	280	1050	158	
4250	2950	130	340	340	1100	168	
4500	2950	130	340	340	1100	185	
4750	3250	130	340	340	1100	186	
5000	3250	130	340	340	1100	203	

※ 必要地耐力は常時検討時の値を示す

TYPE3



寸法表（TYPE3）

サイズ	寸法仕様（mm）						必要地耐力（kN/㎡）	摘要
H	B	B1	B2	T1	T2	S		
5500	3500	2000	1480	200	150	350	225	
6000	3800	2000	1780	200	150	350	243	

※ 必要地耐力は常時検討時の値を示す

※ 擁壁前面に水路がない場合、根入れ基準は底版厚S+500mm以上とする。
※ 擁壁背面の排水処理は適切に行うこと。
※ 水抜穴は現地確認の上、必要に応じて新設すること。
※ 施工時には現地にて地盤反力の確認を行うこと。
※ 必要地耐力を満たさない場合は、地盤改良等の対策を行うこと。

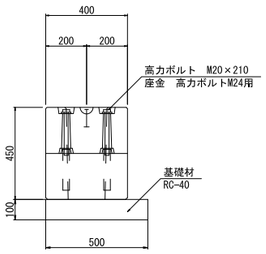
参考図-2,3

ガードレール基礎構造図

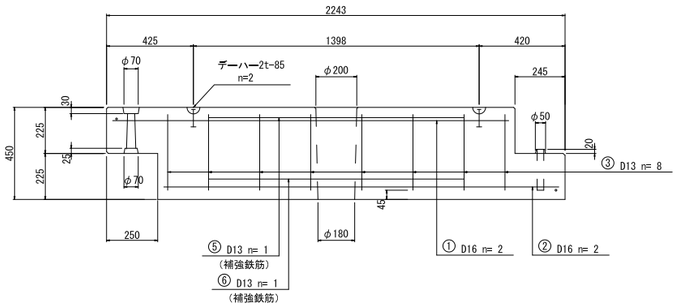
プレキャストガードレール基礎　B、C種対応型　　S=1:15

450×400×2000

側面構造図

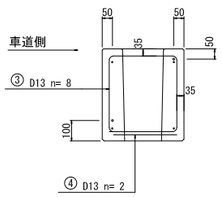


正面構造図

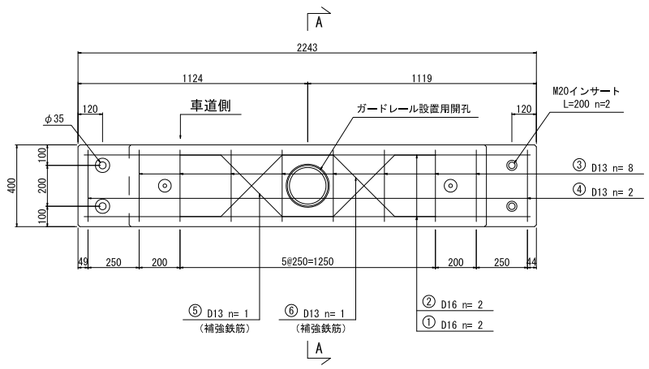


側面配筋図

A-A



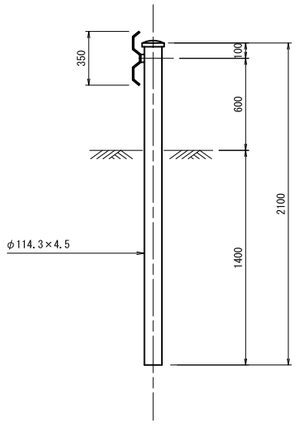
平面構造図

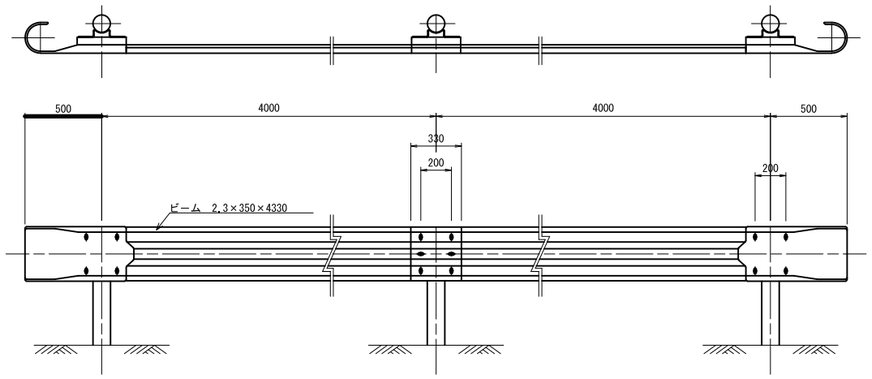


路側防護柵一般図

ガードレール　S=1:20

Gr-C-4E
断面図

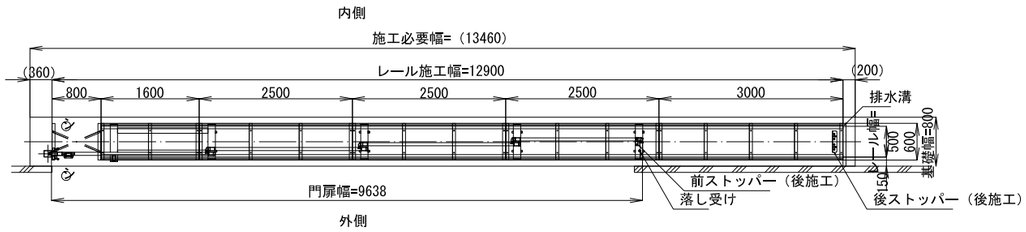




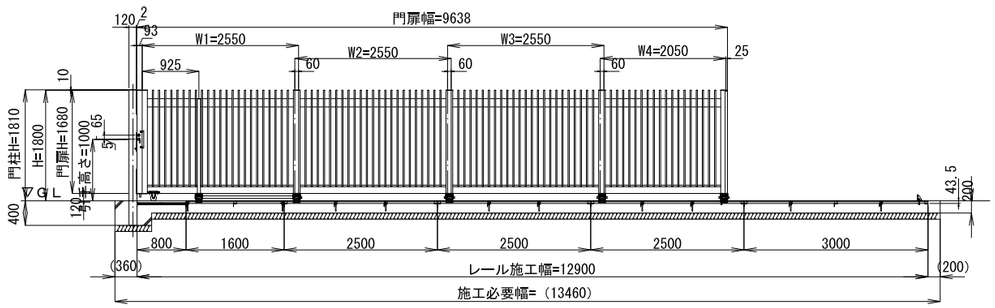
参考図－2,4

大型引戸門扉構造図　S=1:50

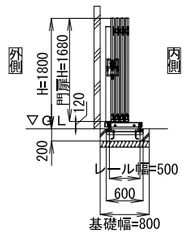
全閉時平面図



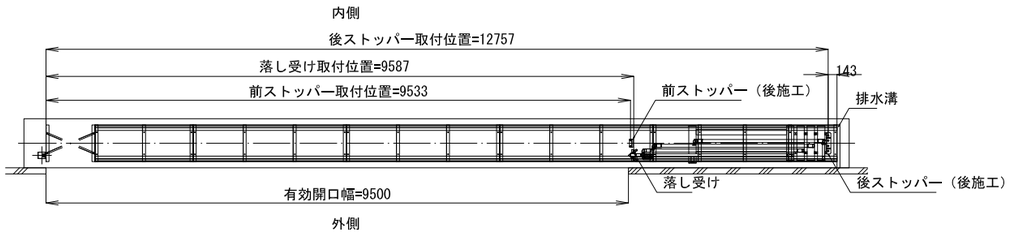
全閉時立面図



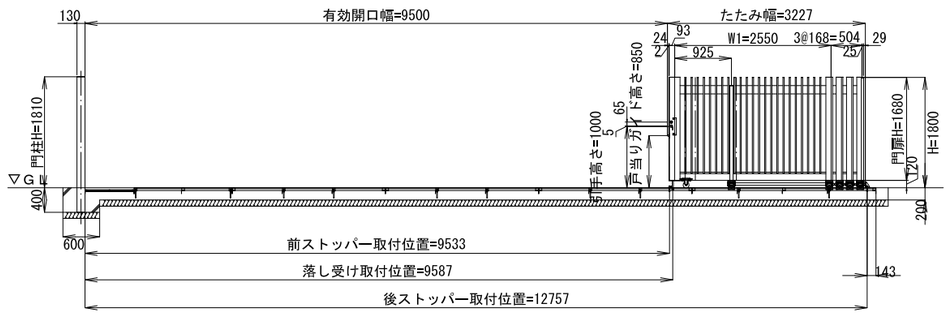
側面図



全開時平面図



全開時立面図



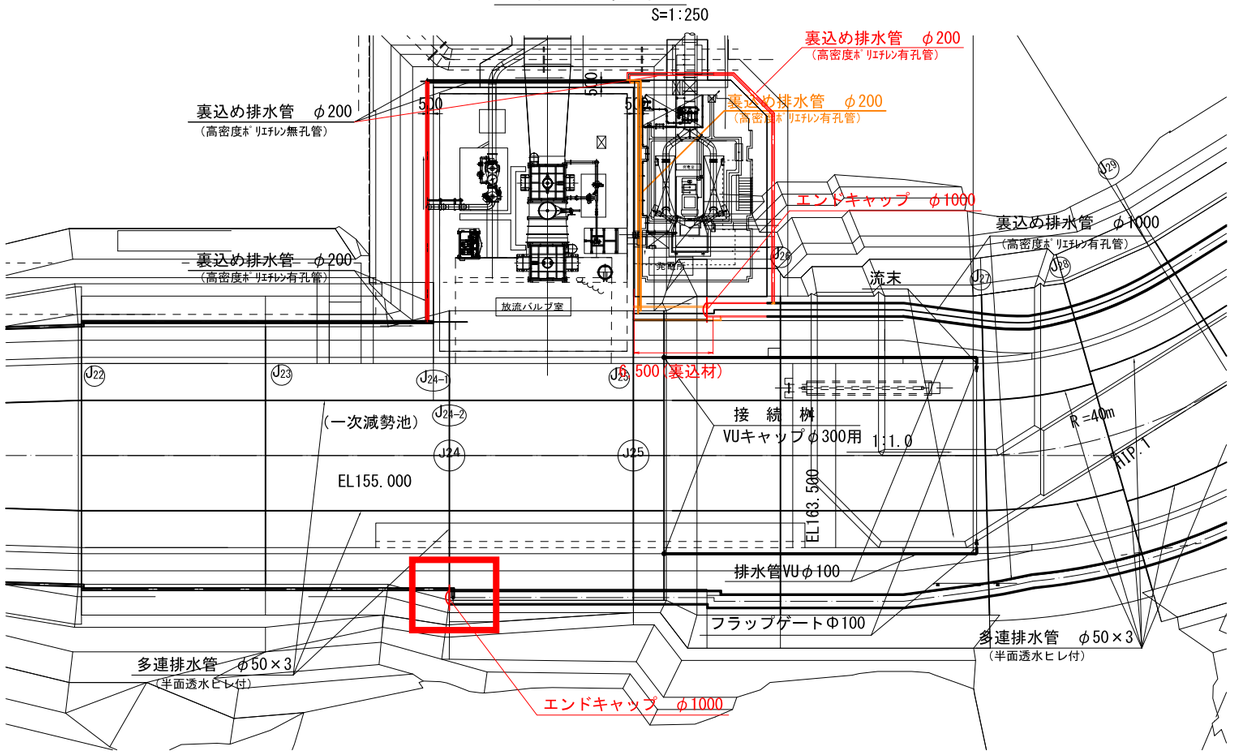
参考図－3,1

基礎排水工計画図(10)

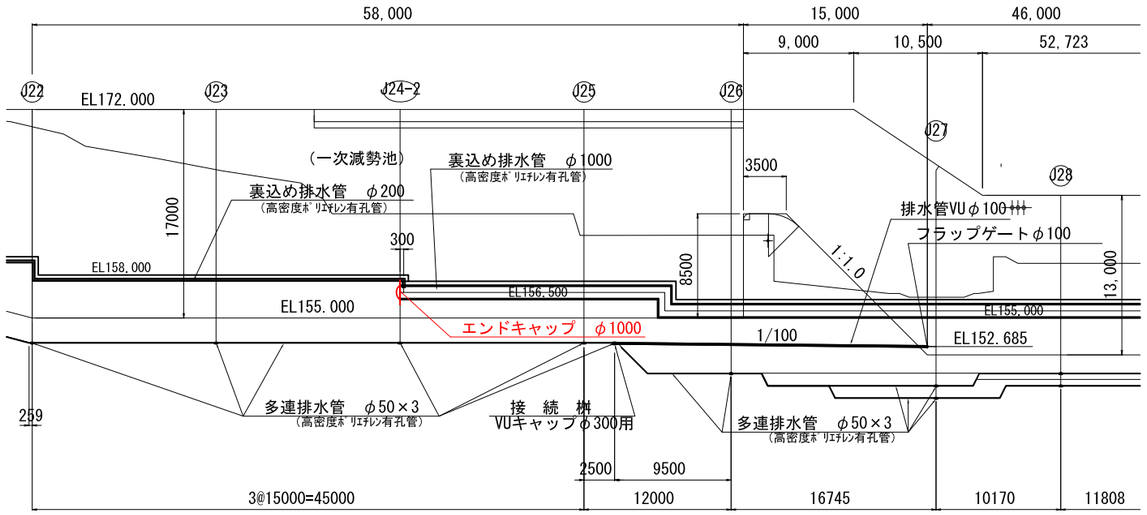
減 勢 部 （1）

平 面 配 置 図

S=1:250

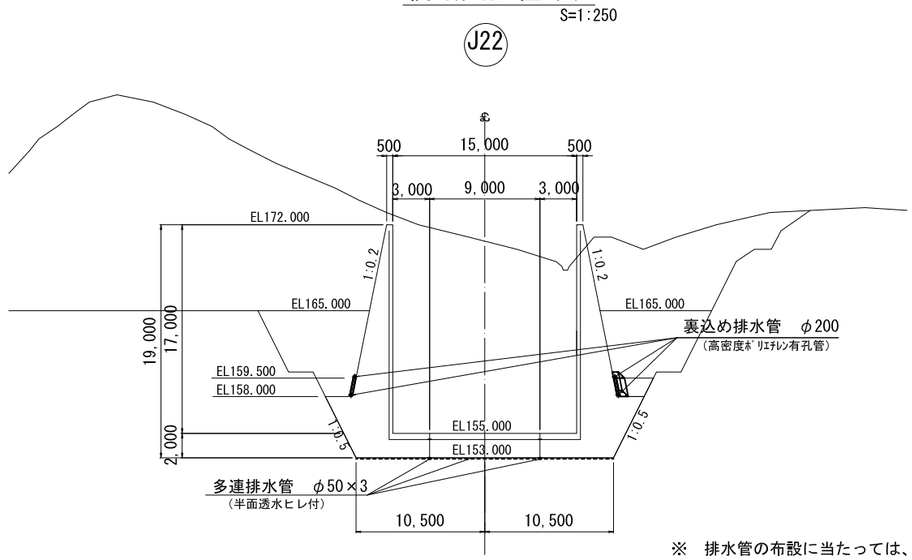


縦 断 配 置 図
（右岸側） S=1:250

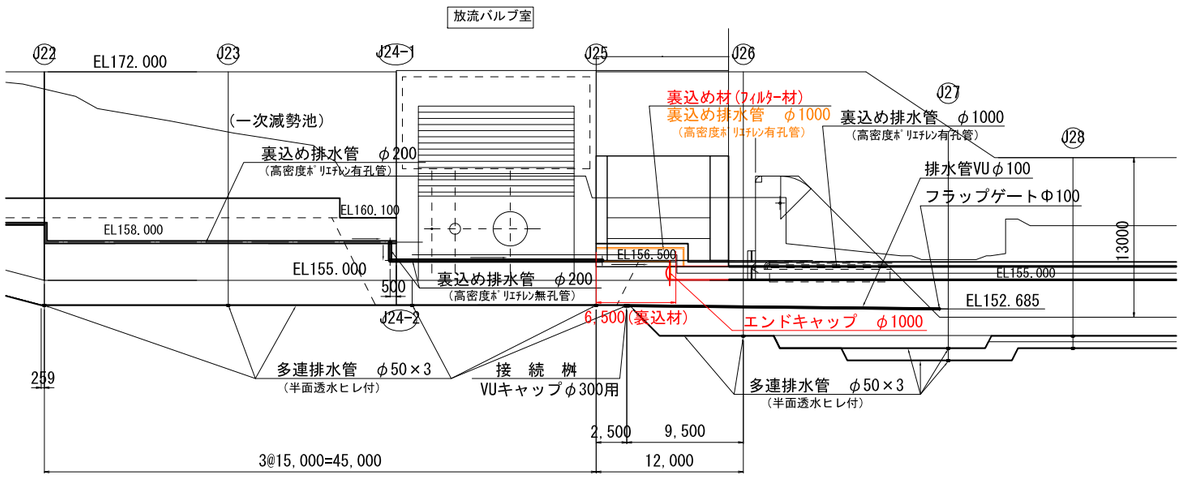


横 断 配 置 図

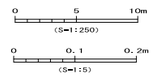
S=1:250



縦 断 配 置 図
（左岸側） S=1:250



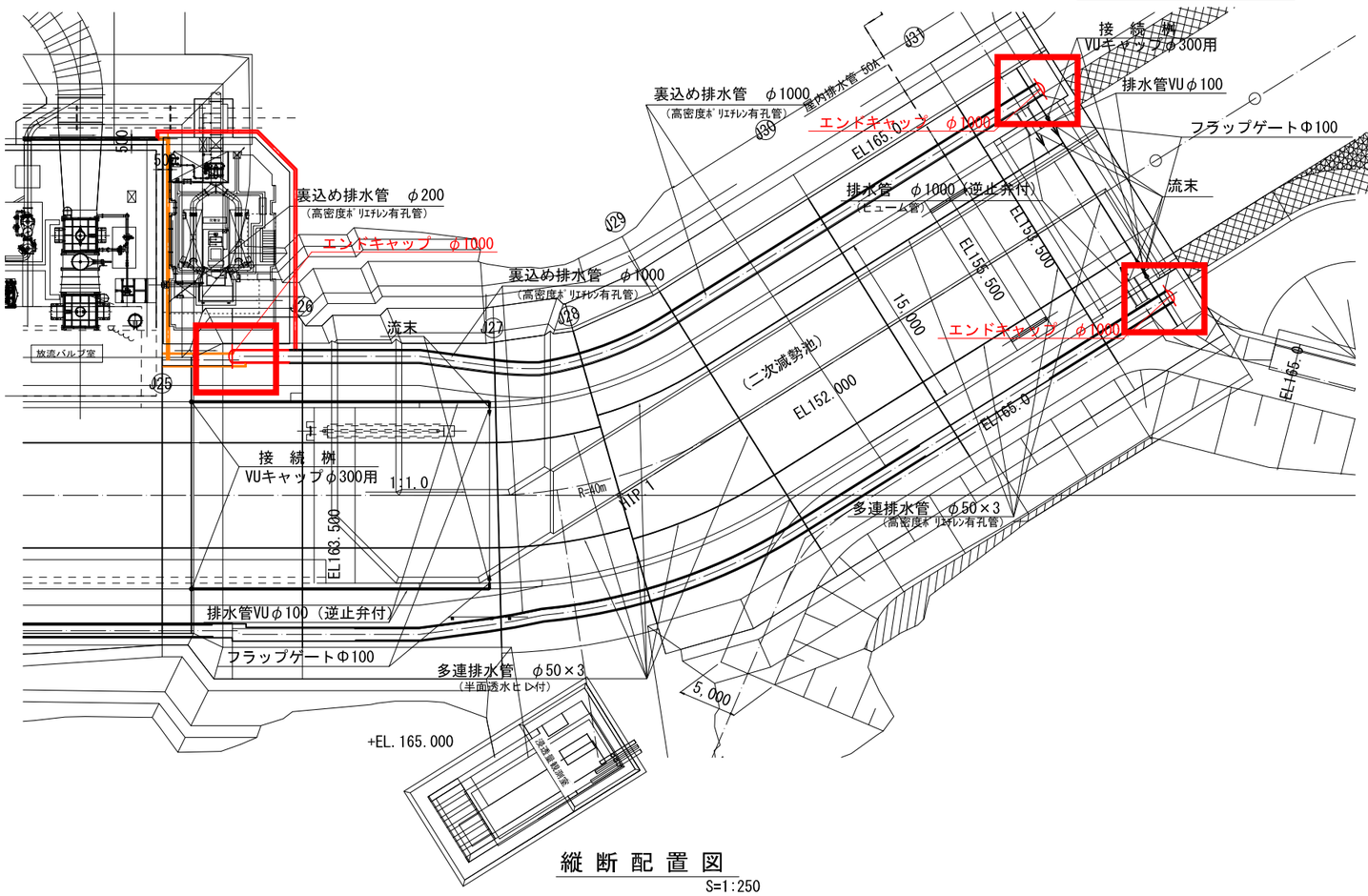
※　排水管の布設に当たっては、岩盤の亀裂箇所及び低い部分をたどるように設置する。



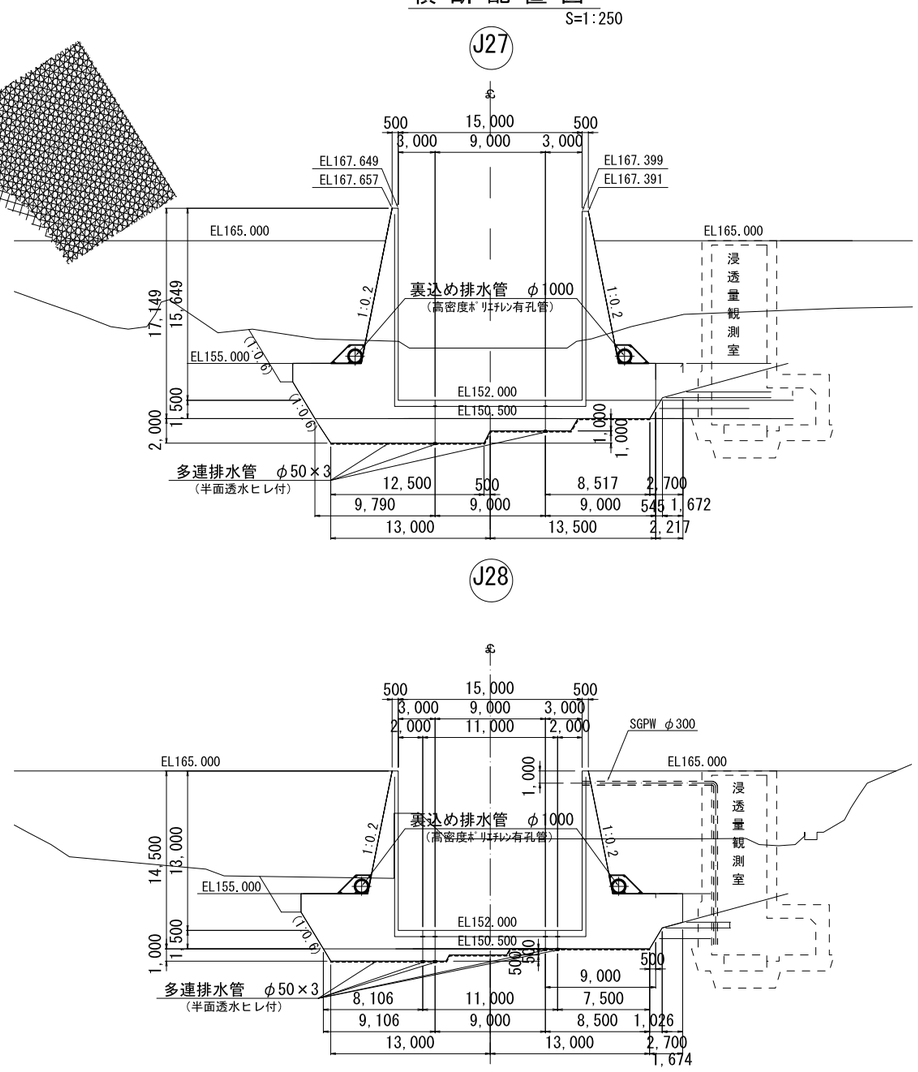
洪水吐き工
基礎排水工計画図(13)

減勢部（４）

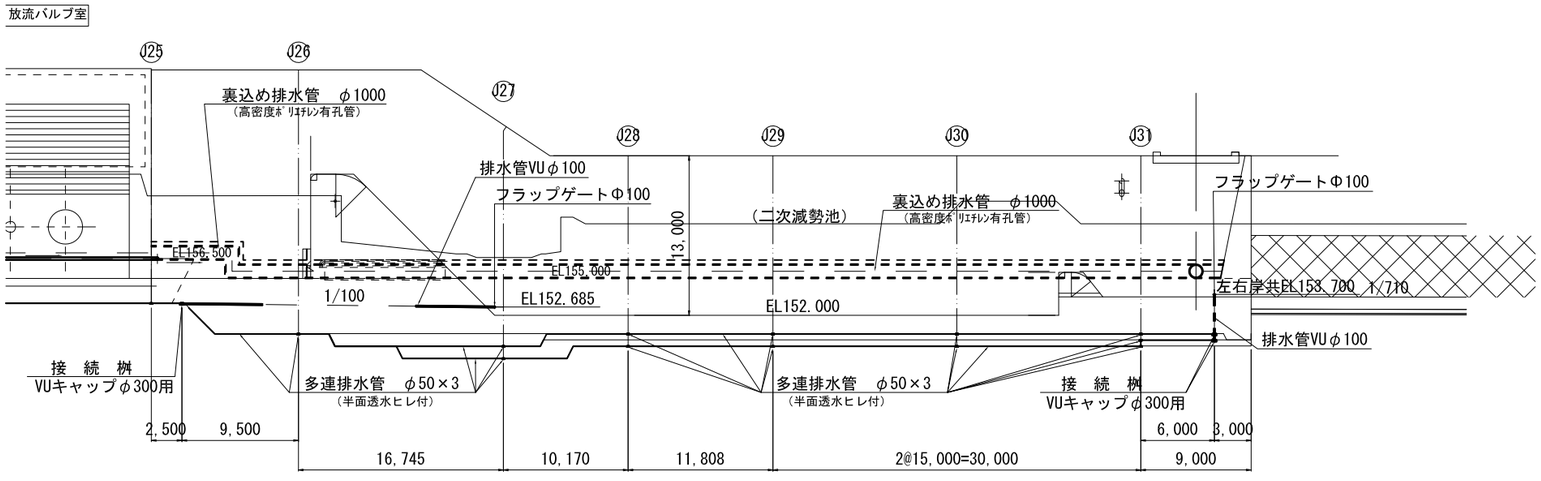
平面配置図
S=1:250

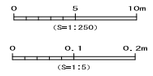


横断配置図
S=1:250



縦断配置図
S=1:250





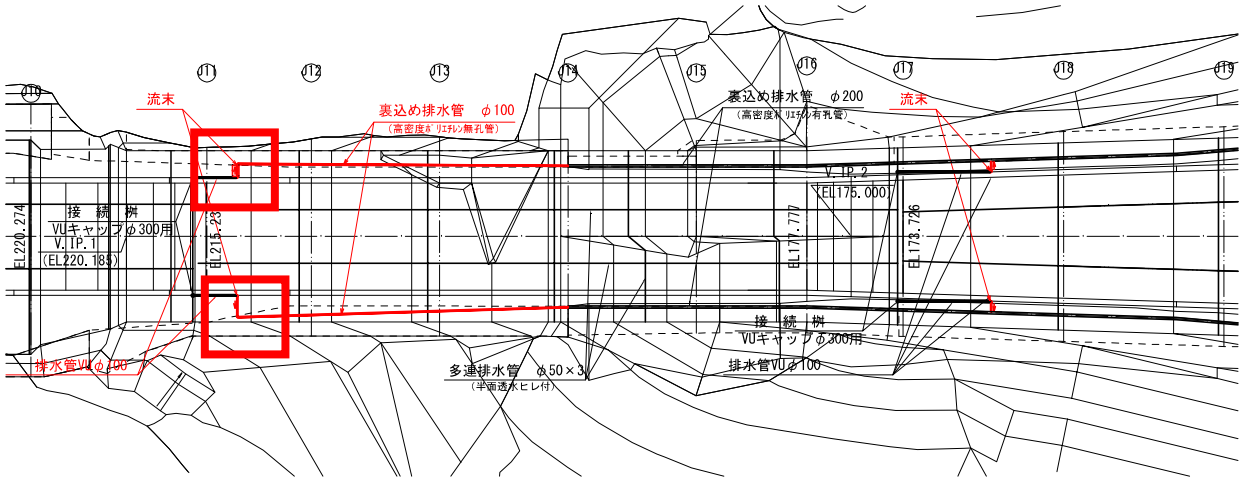
参考図－3,2

基礎排水工計画図(6)

シュート部（１）

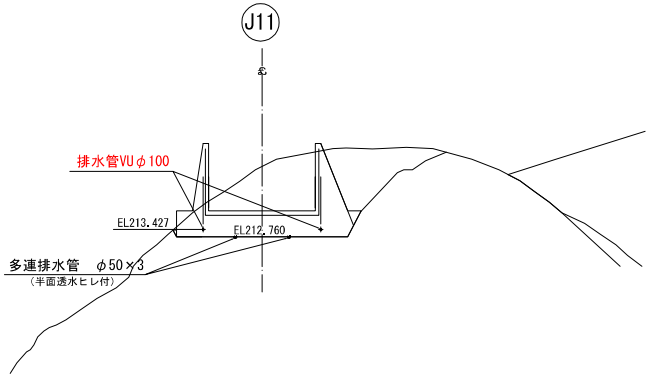
平面配置図

S=1:250



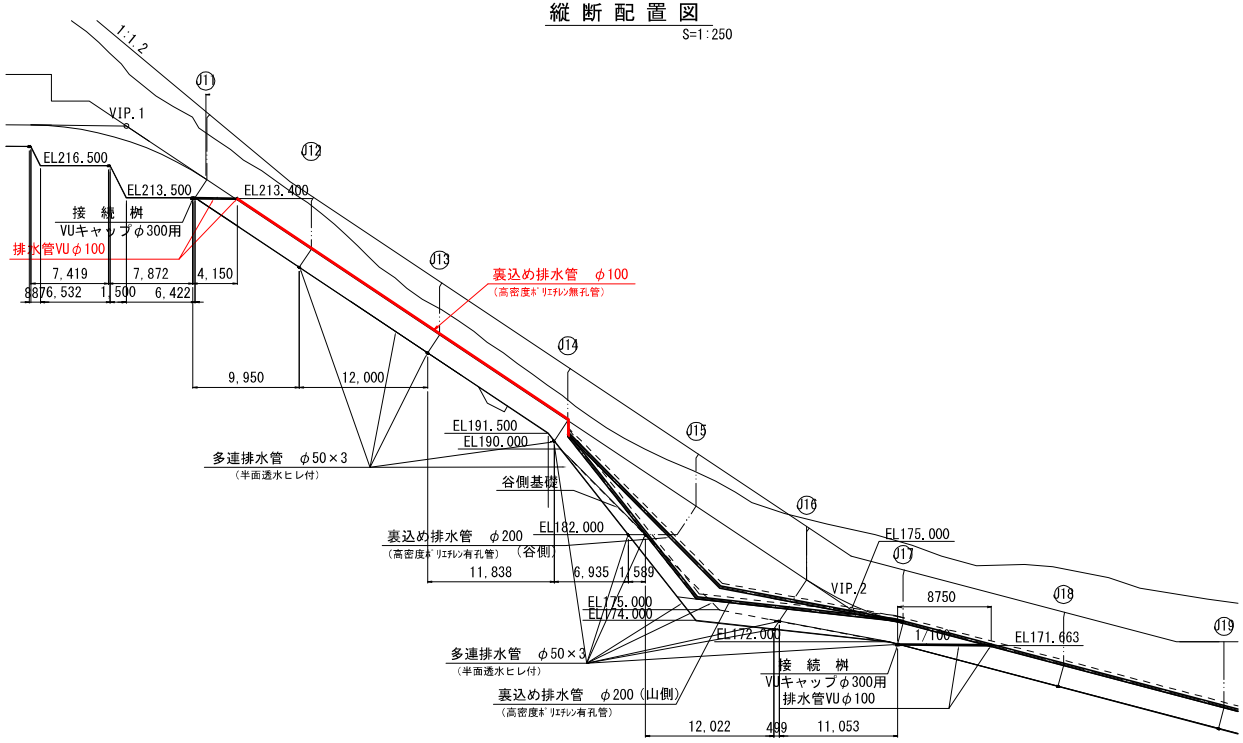
横断配置図

S=1:250

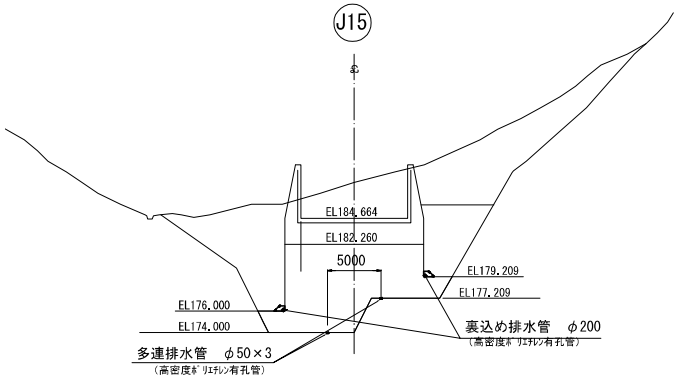


縦断配置図

S=1:250



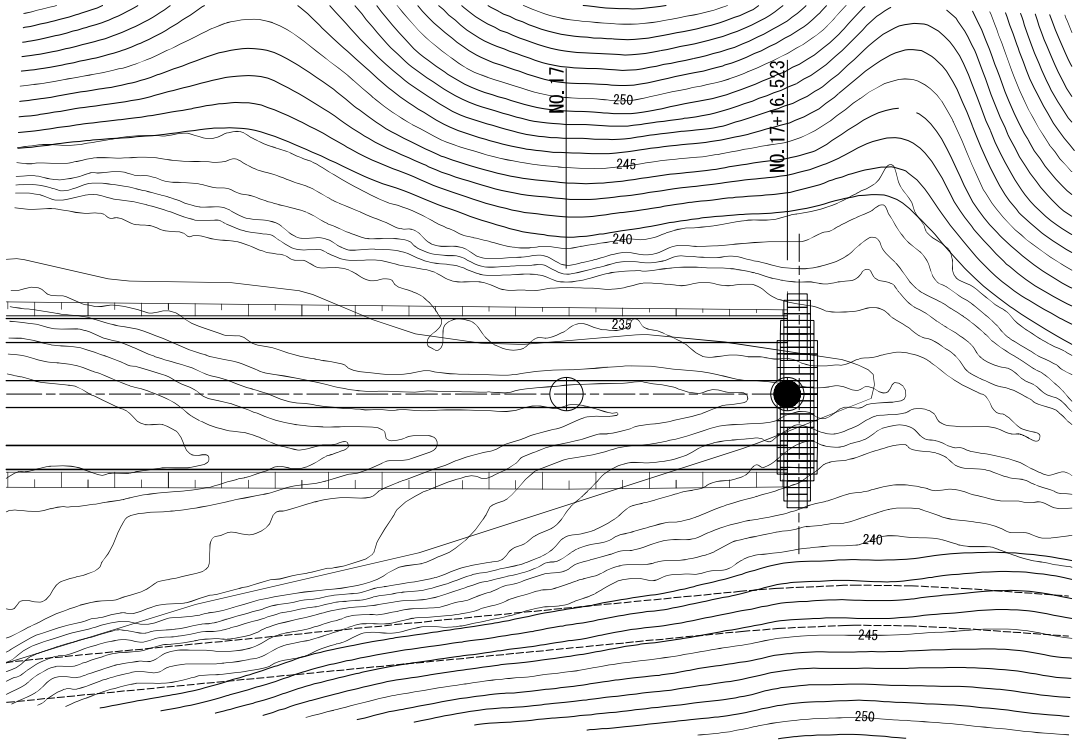
J15



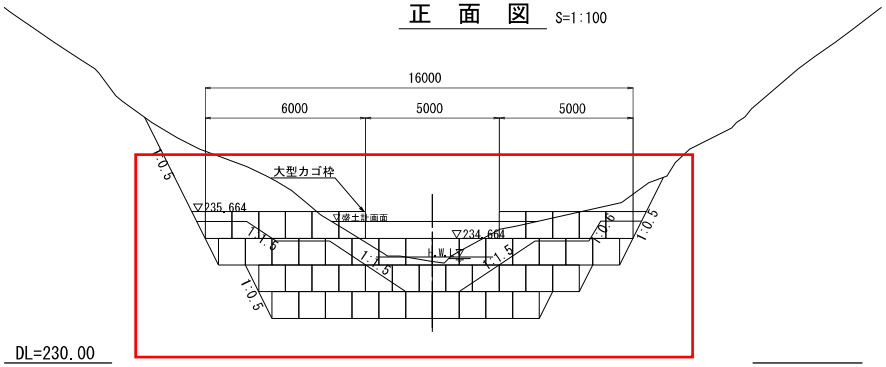
参考図－3,3

1号谷止工構造図

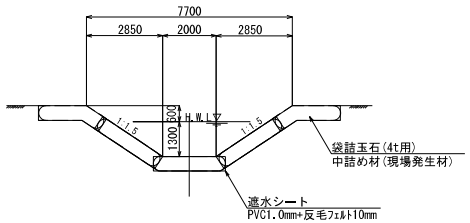
平面図 S=1:200



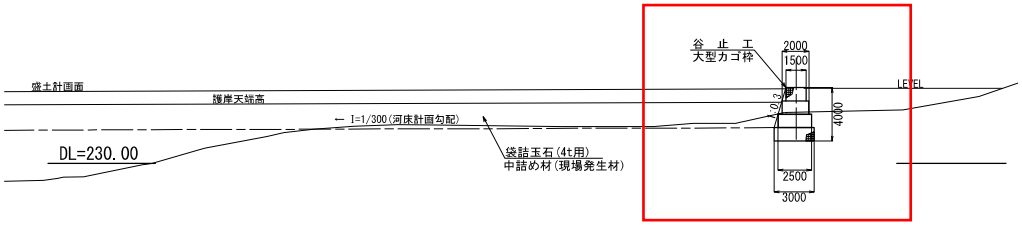
正面図 S=1:100



排水路断面図 S=1:100

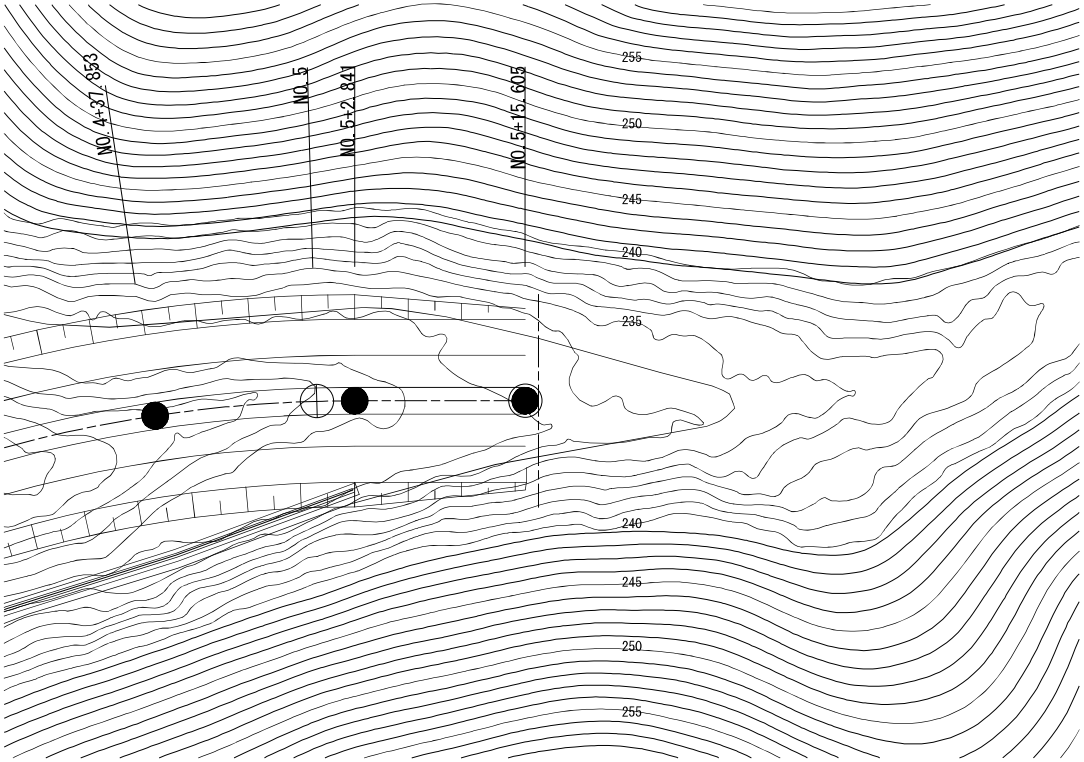


縦断図 S=1:200

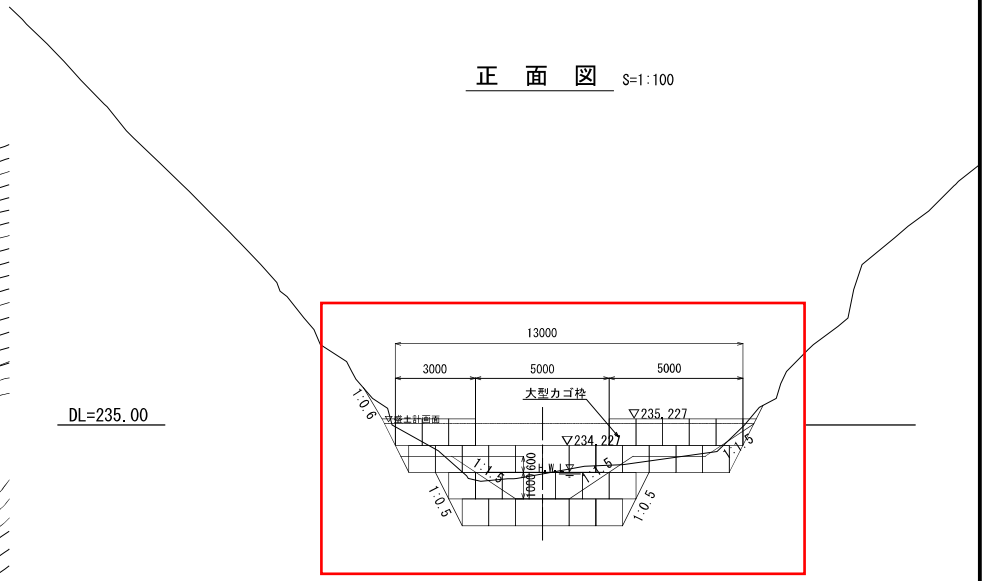


2号谷止工構造図

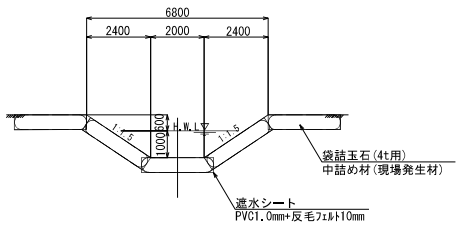
平面図 S=1:200



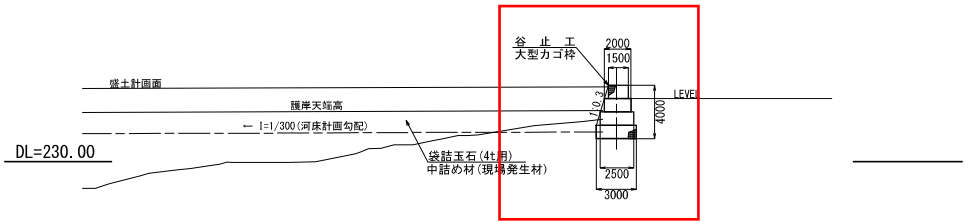
正面図 S=1:100



排水路断面図 S=1:100

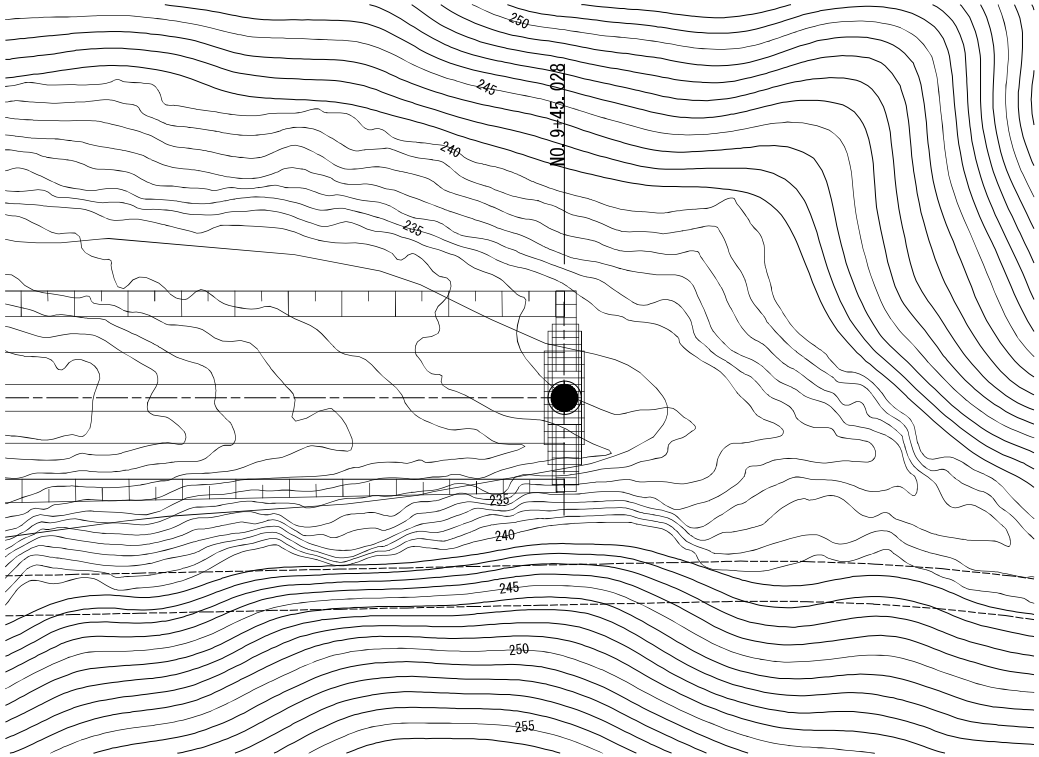


縦断図 S=1:200

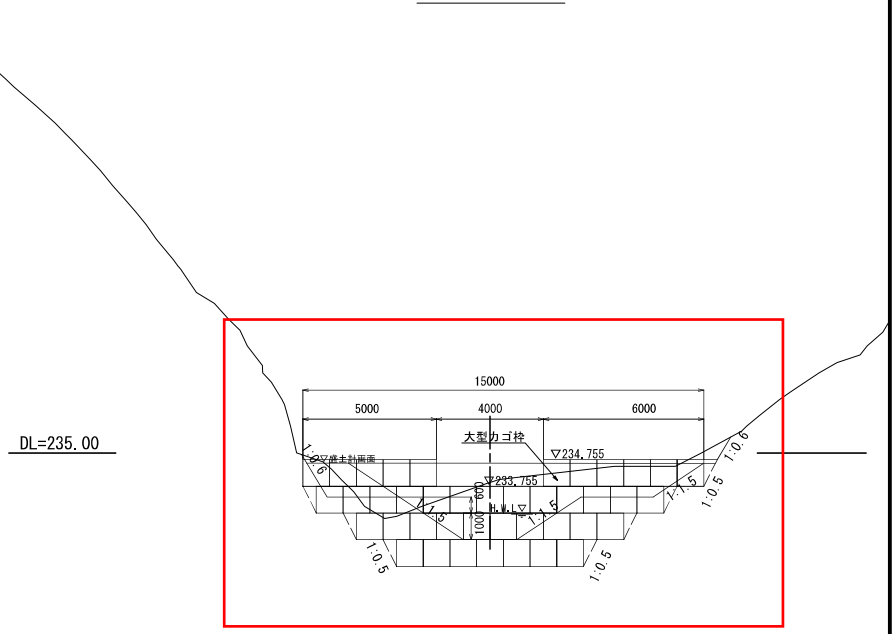


3号谷止工構造図

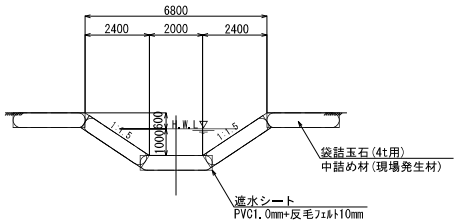
平面図 S=1:200



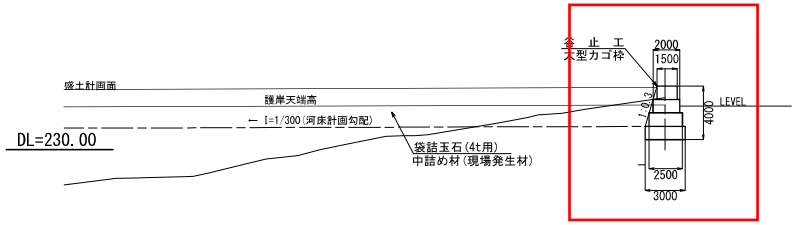
正面図 S=1:100



排水路断面図 S=1:100

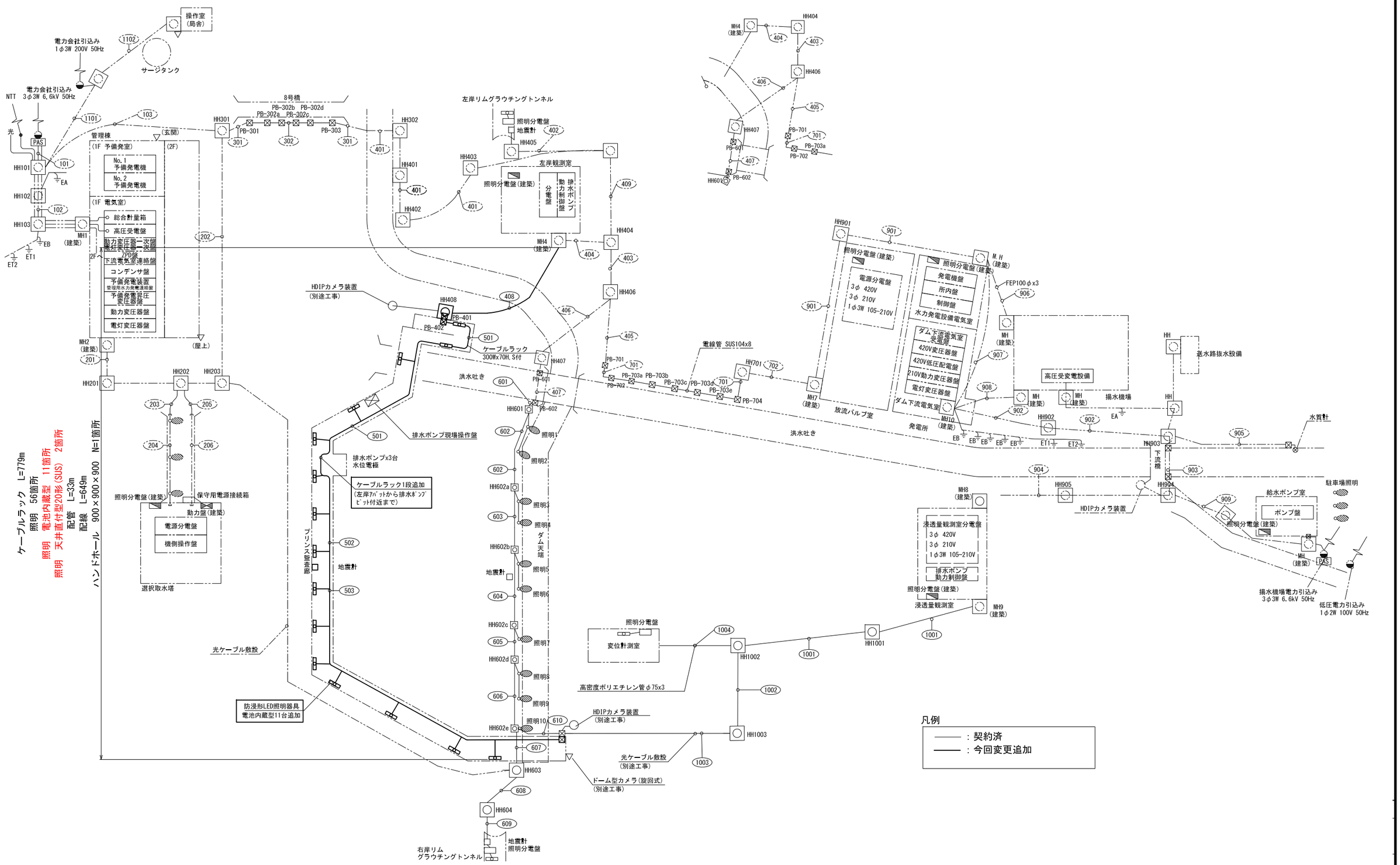


縦断図 S=1:200

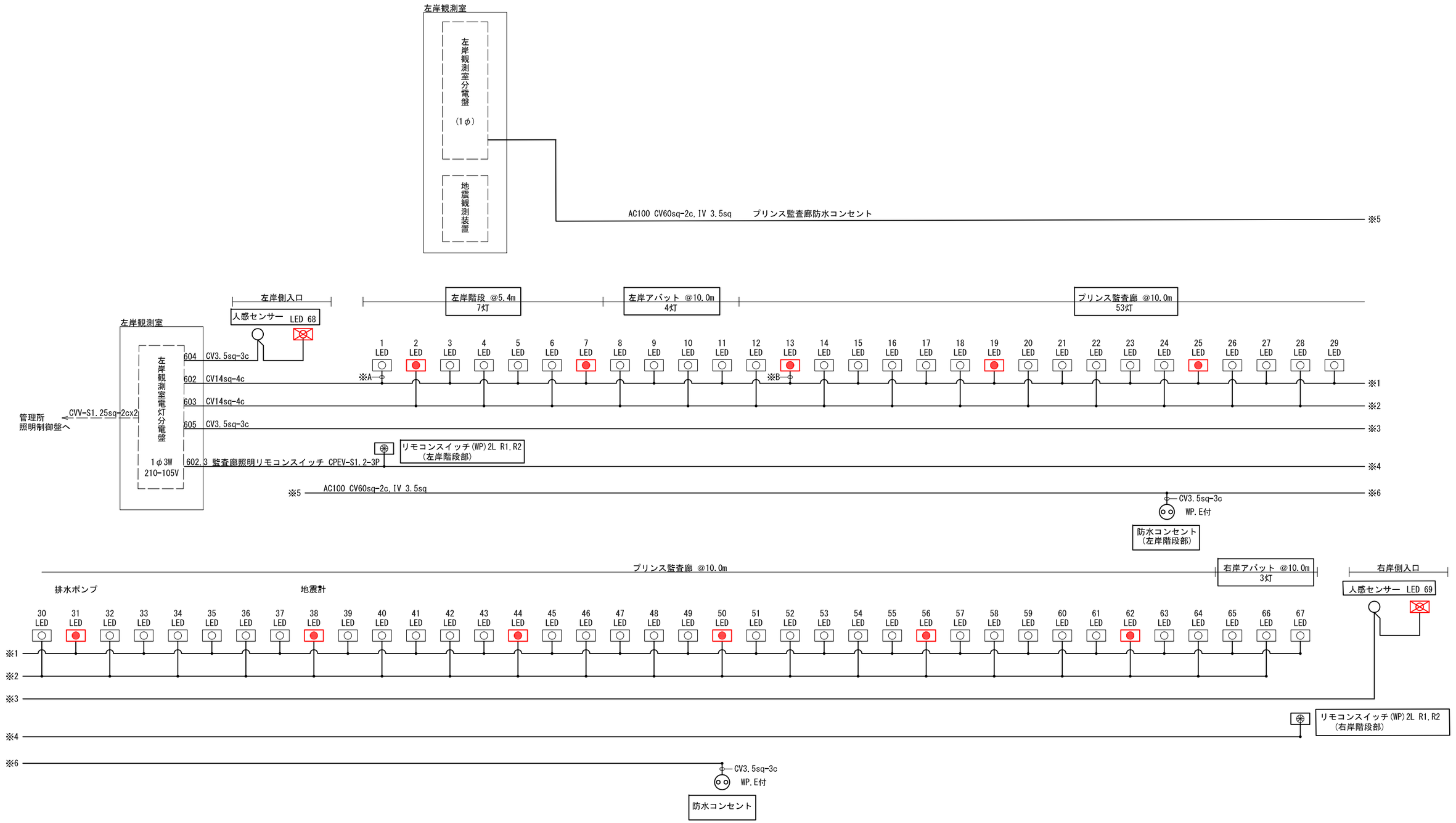


参考図-4,1

プリンスエ
付帯設備工配管系統図



プリンス工
付帯設備工配線系統図

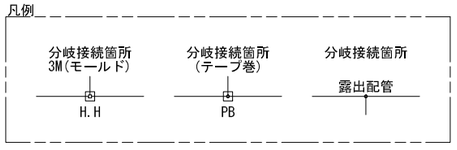


注記

※A_分岐ケーブル：CV3.5sq-3c

※B_分岐ケーブル：CV3.5sq-4c

凡例



凡例

記号	種　類	数量
○	防浸形LED照明	56箇所
●	防浸形LED照明(電池内蔵形)	11箇所
⊠	防湿・防雨 天井直付型20形(SUS) 参考:LSS1MP/RP-2-07	2箇所

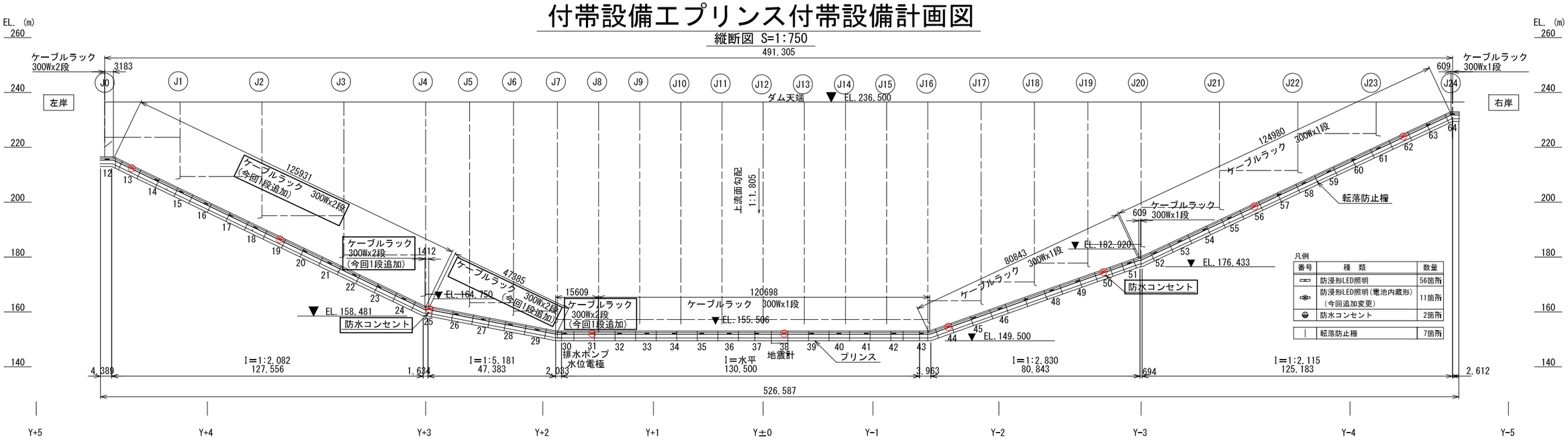
凡例

——— ：契約済

——— ：今回変更

プリンス工
付帯設備工プリンス付帯設備計画図

縦断図 S=1:750

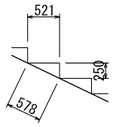


凡例

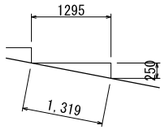
番号	種　類	数量
	防浸形LED照明	56箇所
	防浸形LED照明(電池内蔵形)(今回追加変更)	11箇所
	防水コンセント	2箇所
	転落防止柵	7箇所

階段工 S=1:50

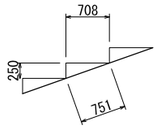
I=1:2.082



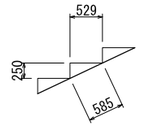
I=1:5.181



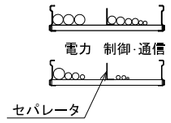
I=1:2.830



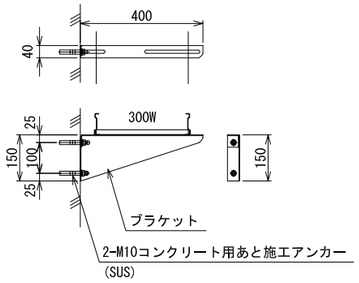
I=1:2.115



ラック内ケーブル内訳図

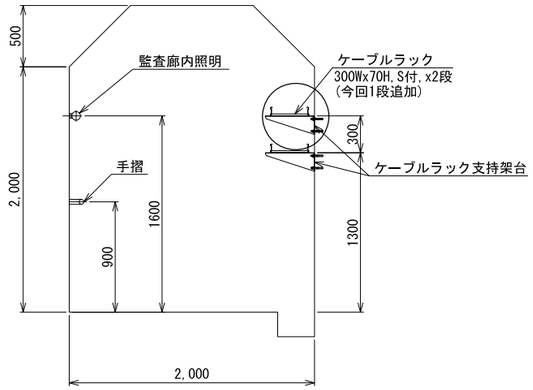


ケーブルラック支持架台図 S=1:10
Z-BK30(溶融亜鉛メッキ)

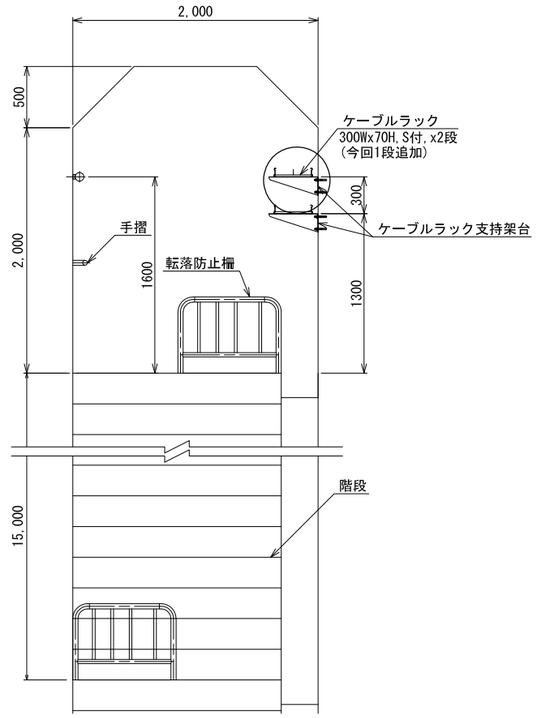


※支持間隔は@1.5mとする。

標準断面図 S=1:25



転落防止柵配置断面図 S=1:25



上段300W セパレータ	プリンス:排水ポンプ(1)	600V CV22sq-3C
	プリンス:排水ポンプ(2)	600V CV22sq-3C
	プリンス:排水ポンプ(3)	600V CV22sq-3C
	プリンス:排水ポンプ 現場操作盤	CVV2sq-20C
		CVV2sq-20C
		CVV2sq-12C
		CVV2sq-12C
	プリンス:水位電極	CVV1.25sq-5C
	プリンス:地震計	専用ケーブル
下段300W セパレータ	照明回路1	600V CV14sq-4C
	照明回路2	600V CV14sq-4C
	コンセント電源	600V CV60sq-2C,IV3.5sq
	人感センサー	600V CV3.5sq-3C
	リモコンスイッチ(1R)	CPEV1.2-3P
	光ケーブル	SM-12C-WB
	UTPケーブル	CPEV1.2-3P

注記

1. ラックは安全性を考慮して、エンドキャップを取り付けること。
2. ボルトは引っかからないように、でっぱりをカット等すること。
3. 接触面が異種金属と組み合わさる場合は、電蝕防止措置(※A)を施す。

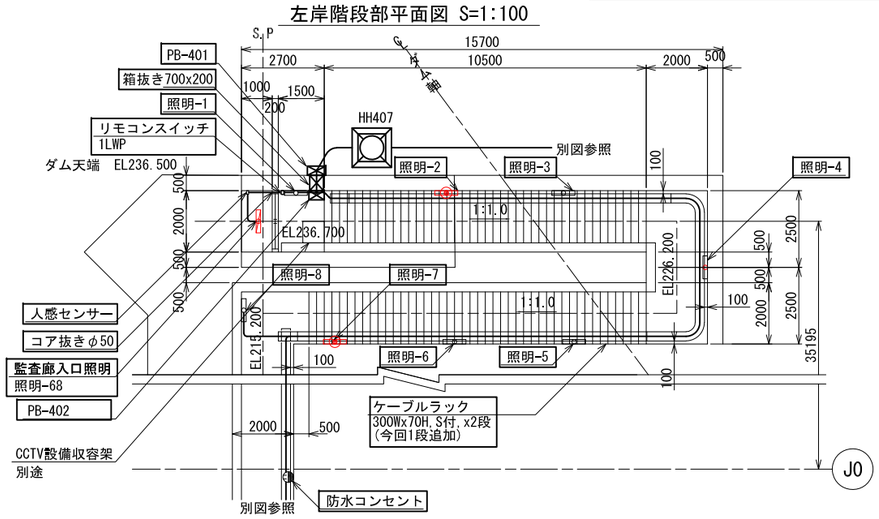
※A
- 金属接地面に防食テープを貼り付ける。
- ワッシャーにナイロンワッシャーを使用する。
- SUSプルボックスとG管の接続部にゴムパッキンを取り付ける。

凡例

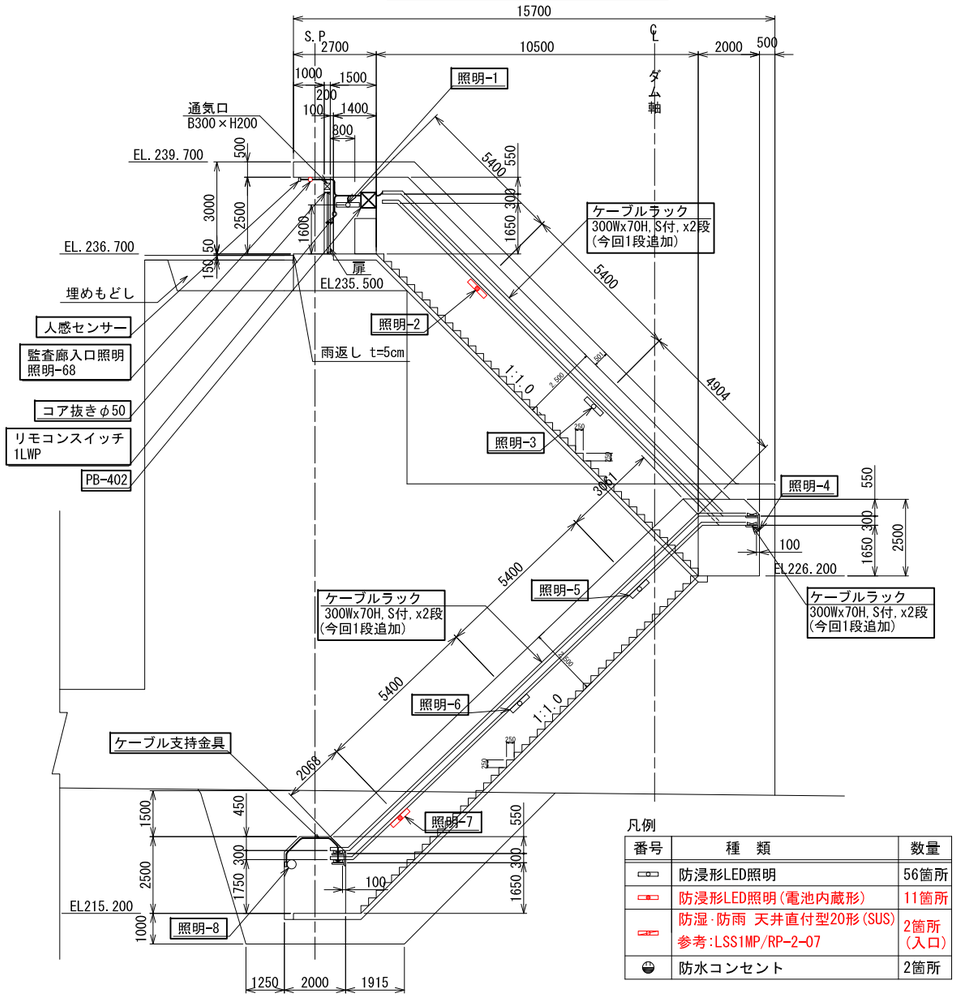
——— : 今回変更

プリンス工
付帯設備工プリンス左岸アバット部付帯設備計画図

左岸階段部平面図 S=1:100



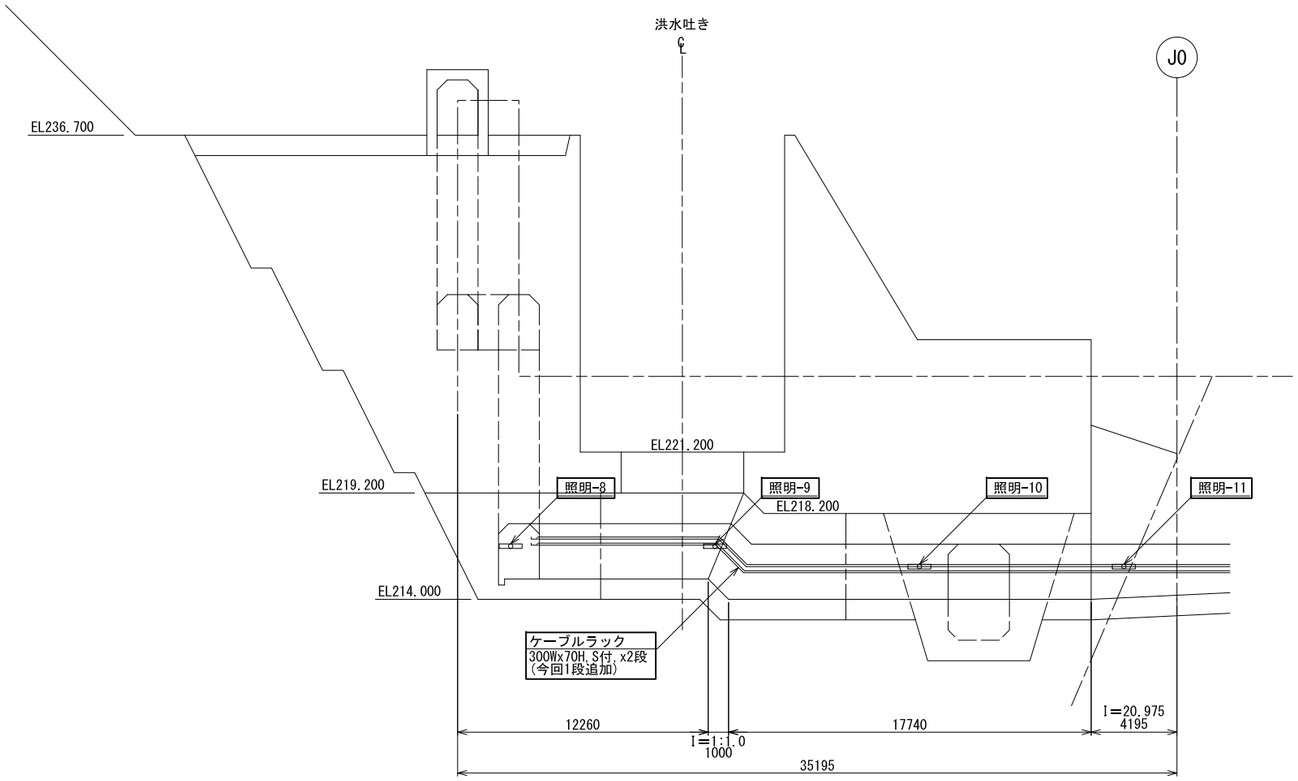
左岸階段部縦断面図 S=1:100



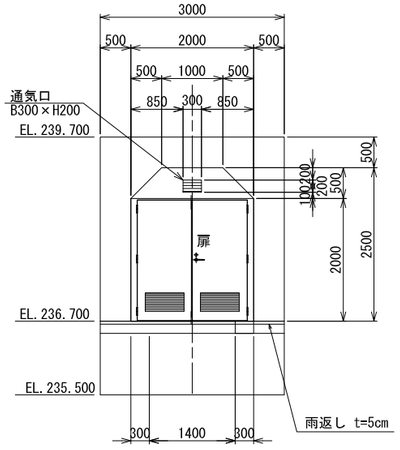
凡例

番号	種　類	数量
	防浸形LED照明	56箇所
	防浸形LED照明(電池内蔵形)	11箇所
	防湿・防雨 天井直付型20形(SUS) 参考:LSS1MP/RP-2-07	2箇所 (入口)
	防水コンセント	2箇所

左岸アバット部 S=1:150



左岸アバット部正面図 S=1:50



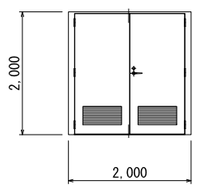
注記

1. ラックは安全性を考慮して、エンドキャップを取り付けること。
2. ボルトは引っかからないように、でっぱりをカット等すること。

凡例

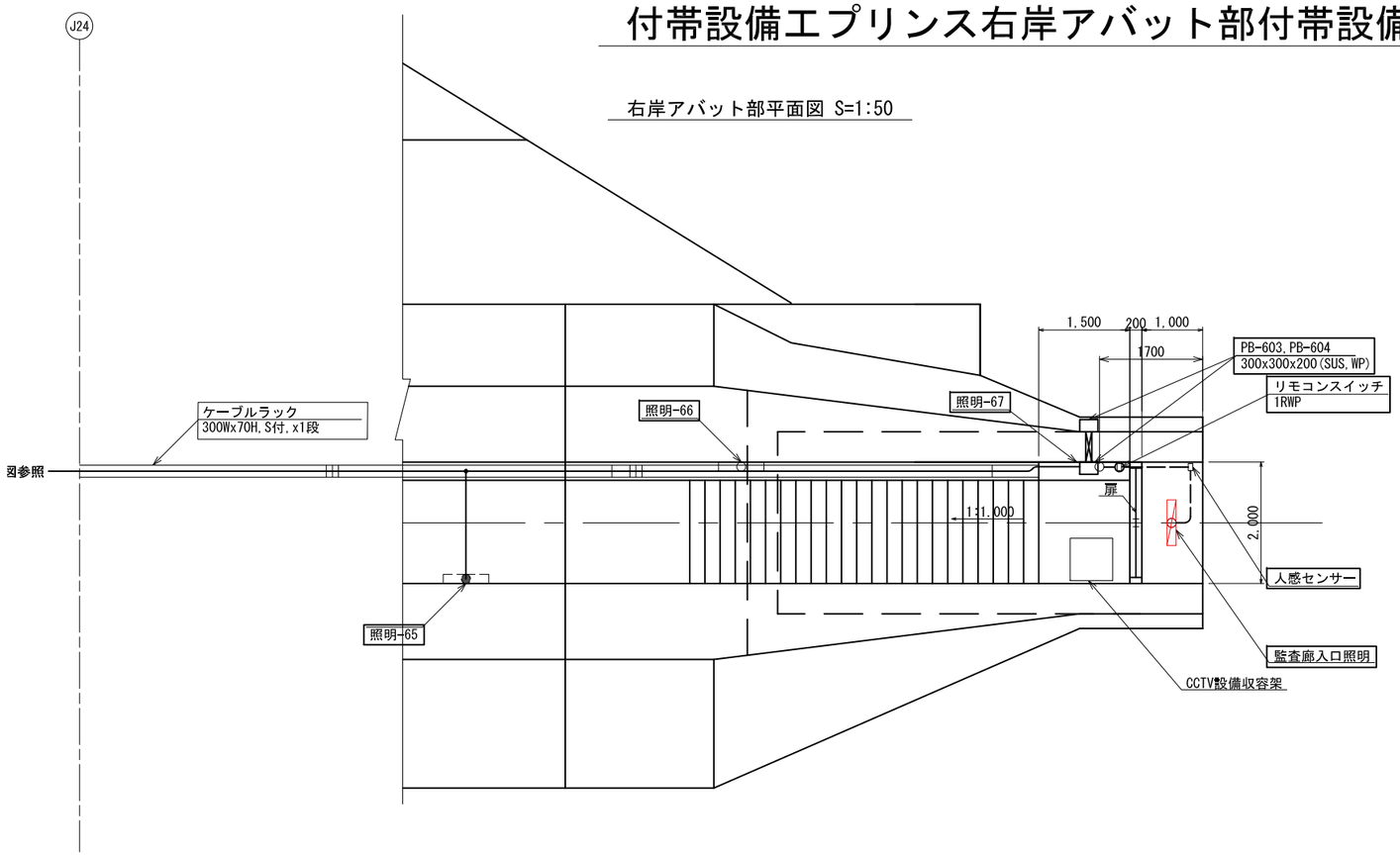
——— ：今回変更

扉詳細図

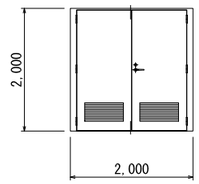
記号	SSD1
形状	
形式	両開きフラッシュ戸・ガラリ付
見込	扉:40　枠150
材質・仕上	アルミ
金物	シリンダー錠、レバーハンドル
	DC、フランス落とし、T番、戸当たり
備考	SUS三方枠、SUS沓摺
	(共通)マスターキーは製作するものとする。
	その他、特記なき限り公共建築工事標準仕様書に
	よるものとする。

プリンス工
付帯設備工プリンス右岸アバット部付帯設備計画図

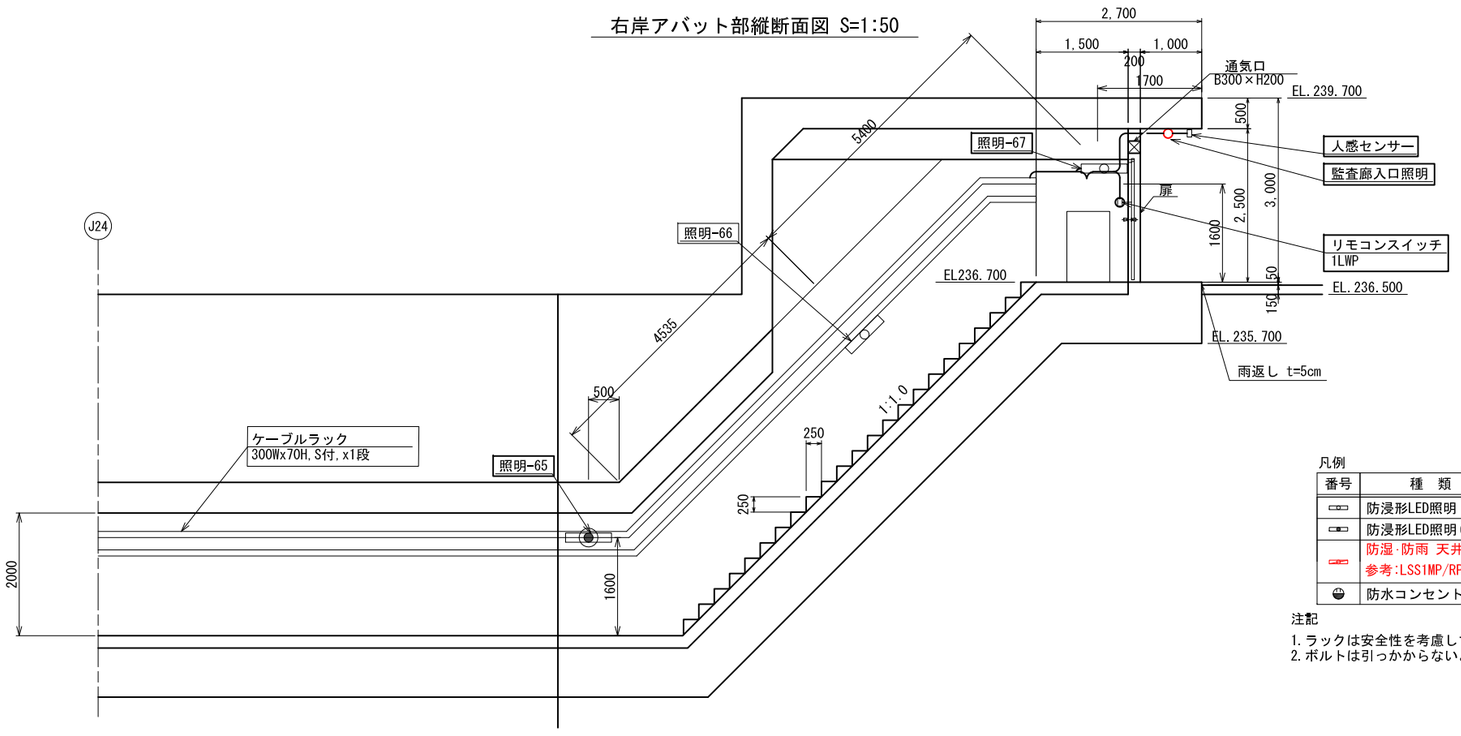
右岸アバット部平面図 S=1:50



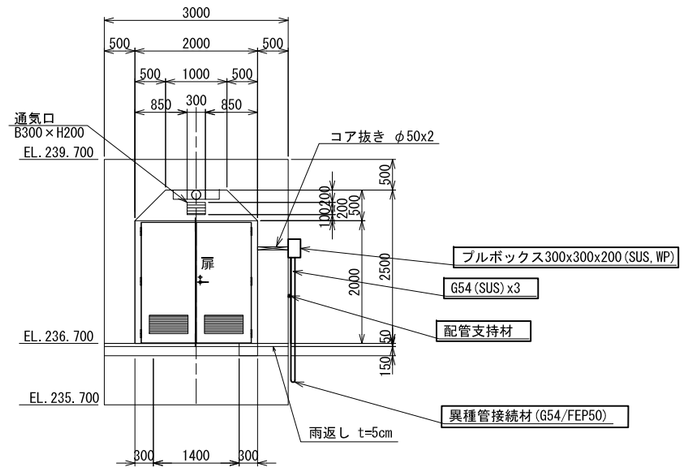
扉詳細図

記号	SSD1
形状	
形式	両開きフラッシュ戸・ガラリ付
見込	扉:40　枠150
材質・仕上	アルミ
金物	シリンダー錠、レバーハンドル
	DC、フランス落とし、T番、戸当たり
備考	SUS三方枠、SUS沓摺
	(共通)マスターキーは製作するものとする。
	その他、特記なき限り公共建築工事標準仕様書に
	よるものとする。

右岸アバット部縦断面図 S=1:50



右岸アバット部正面図 S=1:50



凡例

番号	種　類
	防浸形LED照明
	防浸形LED照明(電池内蔵形)
	防湿・防雨 天井直付型20形(SUS) 参考:LSS1MP/RP-2-07
	防水コンセント

凡例

——　：今回変更

注記

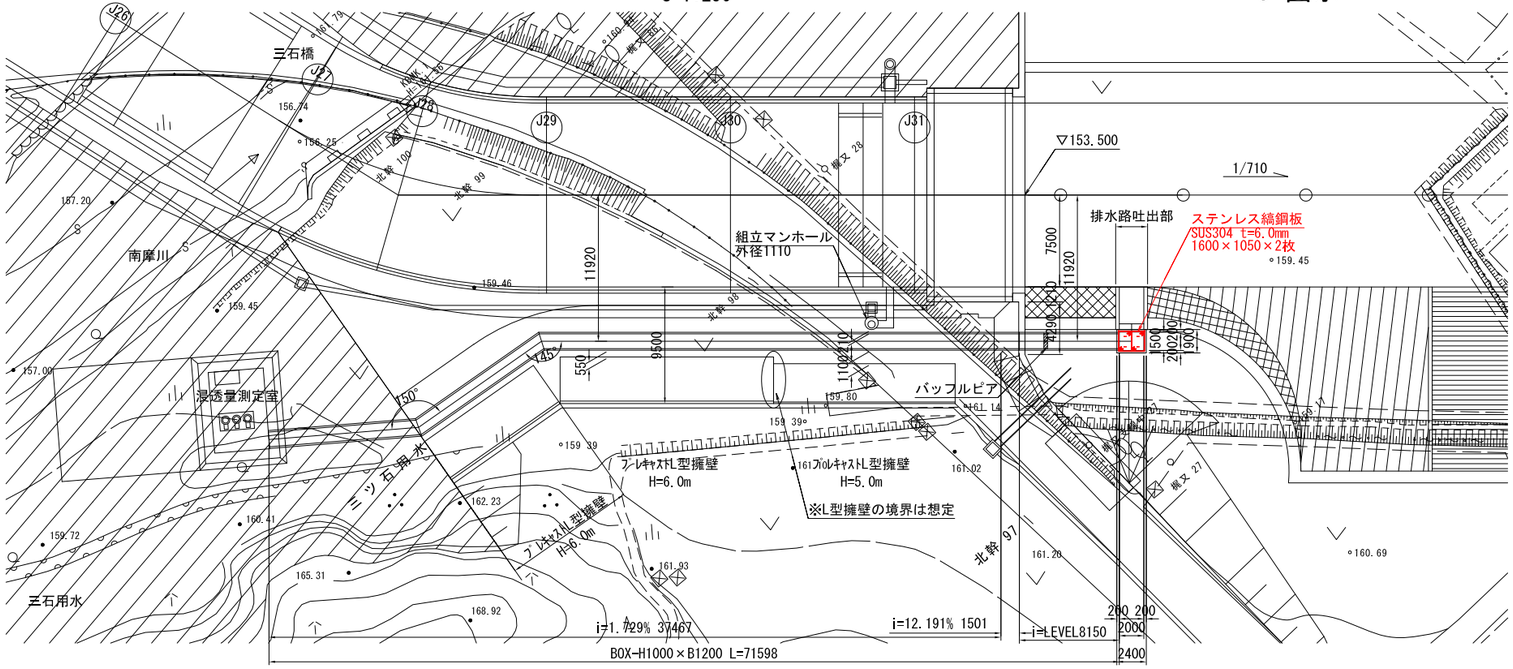
1. ラックは安全性を考慮して、エンドキャップを取り付けること。
2. ボルトは引っかからないように、でっぱりをカット等すること。

参考図-4,2

浸透量観測設備工
暗渠工一般図

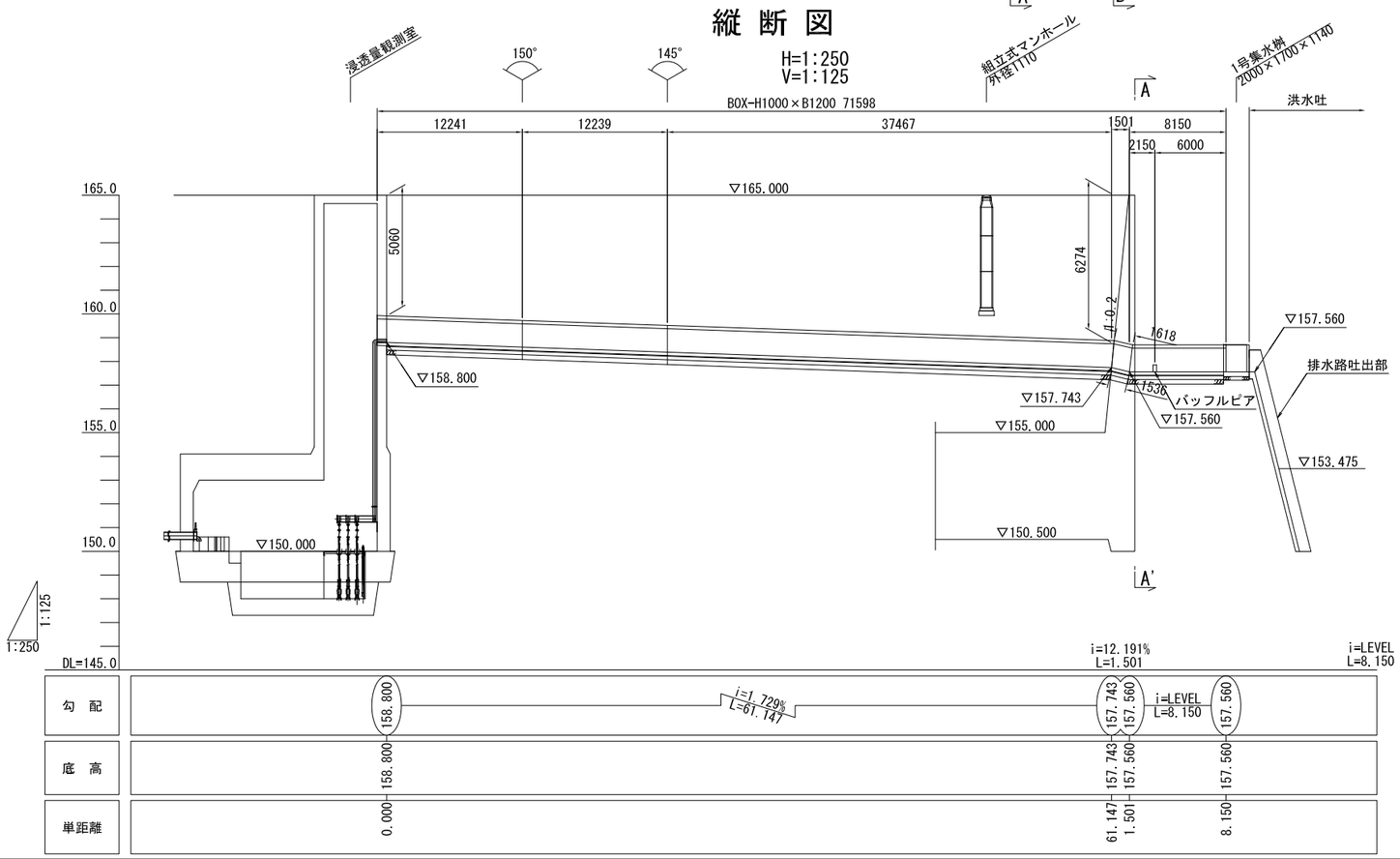
平 面 図

S=1:250



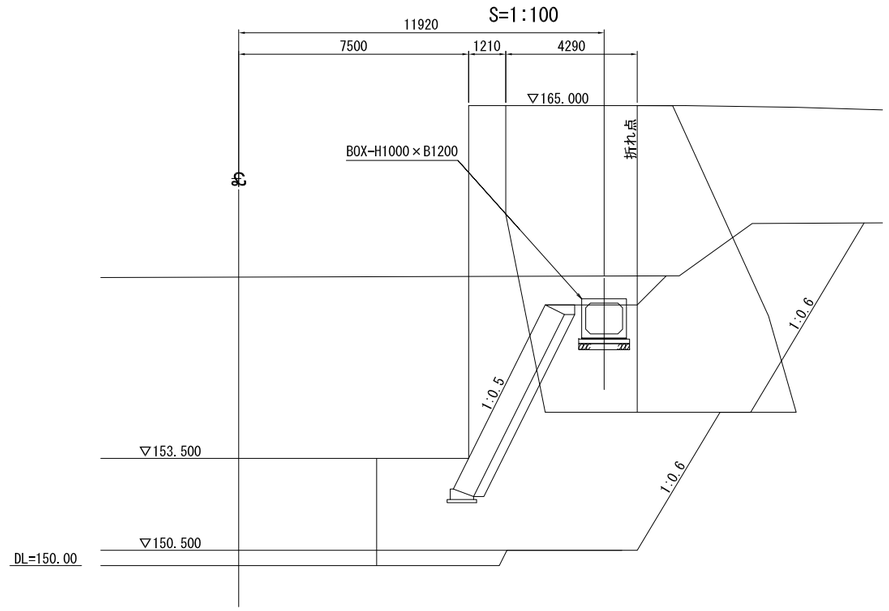
縦 断 図

H=1:250
V=1:125



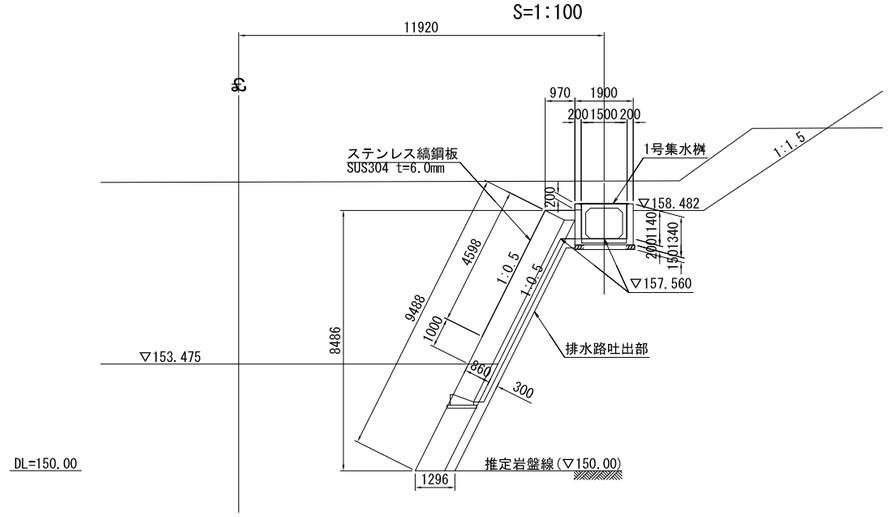
A-A′ (J31+9.00)

S=1:100



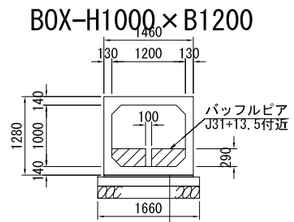
B-B′ (J31+17.70)

S=1:100



ボックスカルバート標準横断図

BOX-H1000×B1200 S=1:50



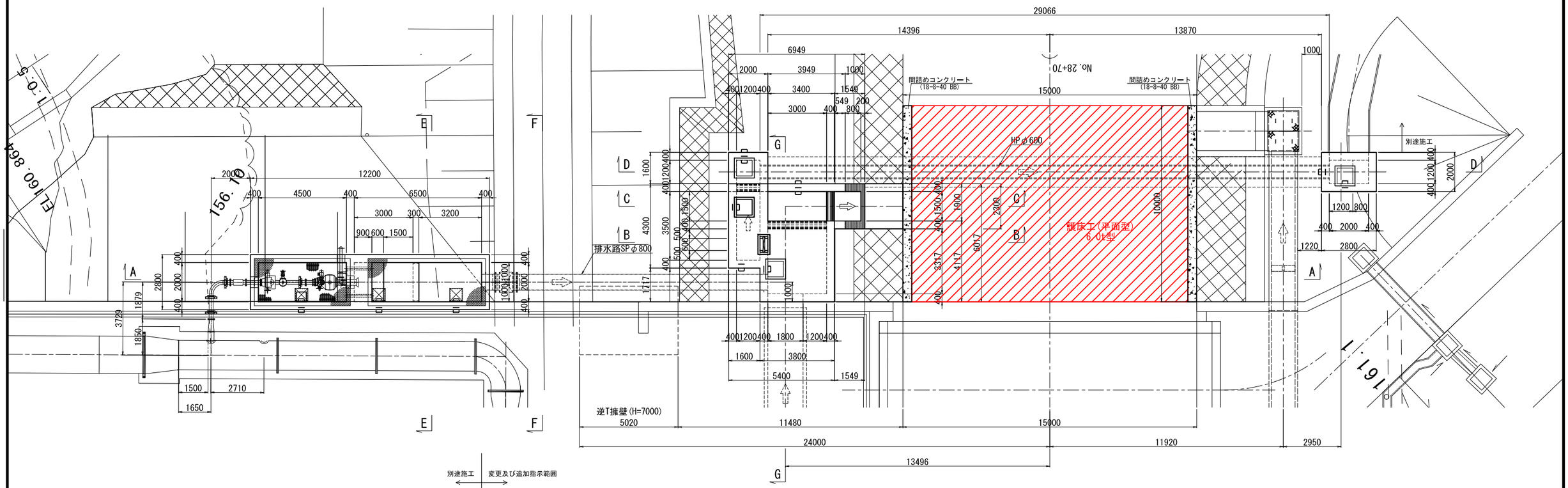
敷モルタル(1:3)	t= 30
基礎コンクリート(18-8-25(高炉))	t=150
基礎砕石(RC-40)	t=200

参考図-4,3

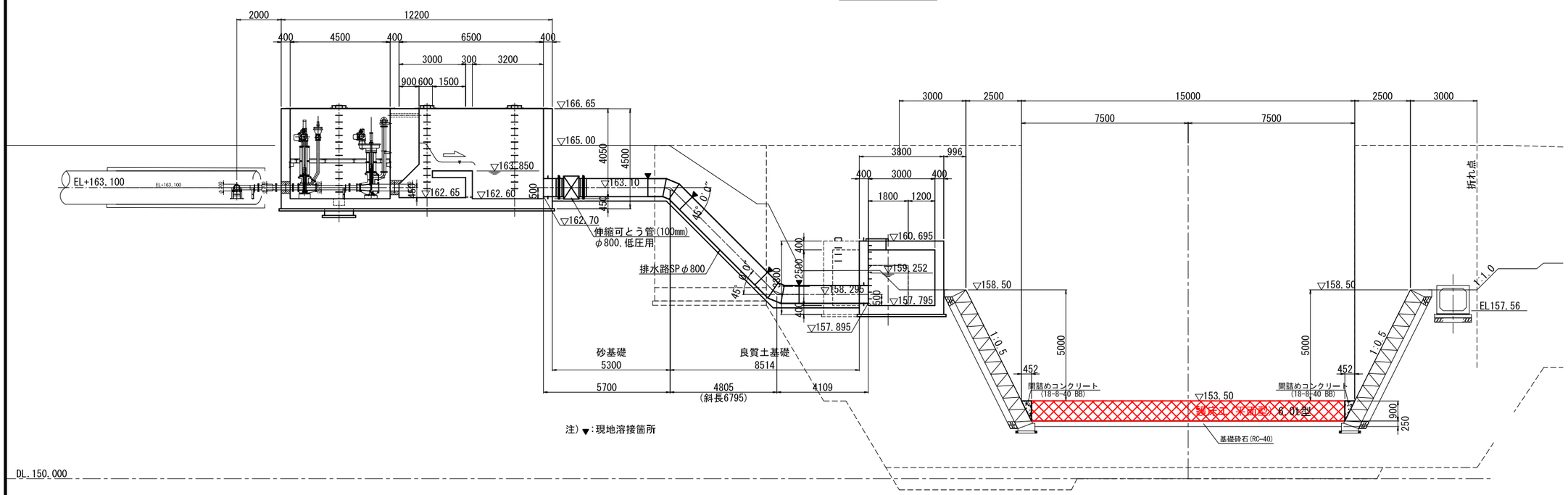
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路一般図(2)

S=1:100

平面図



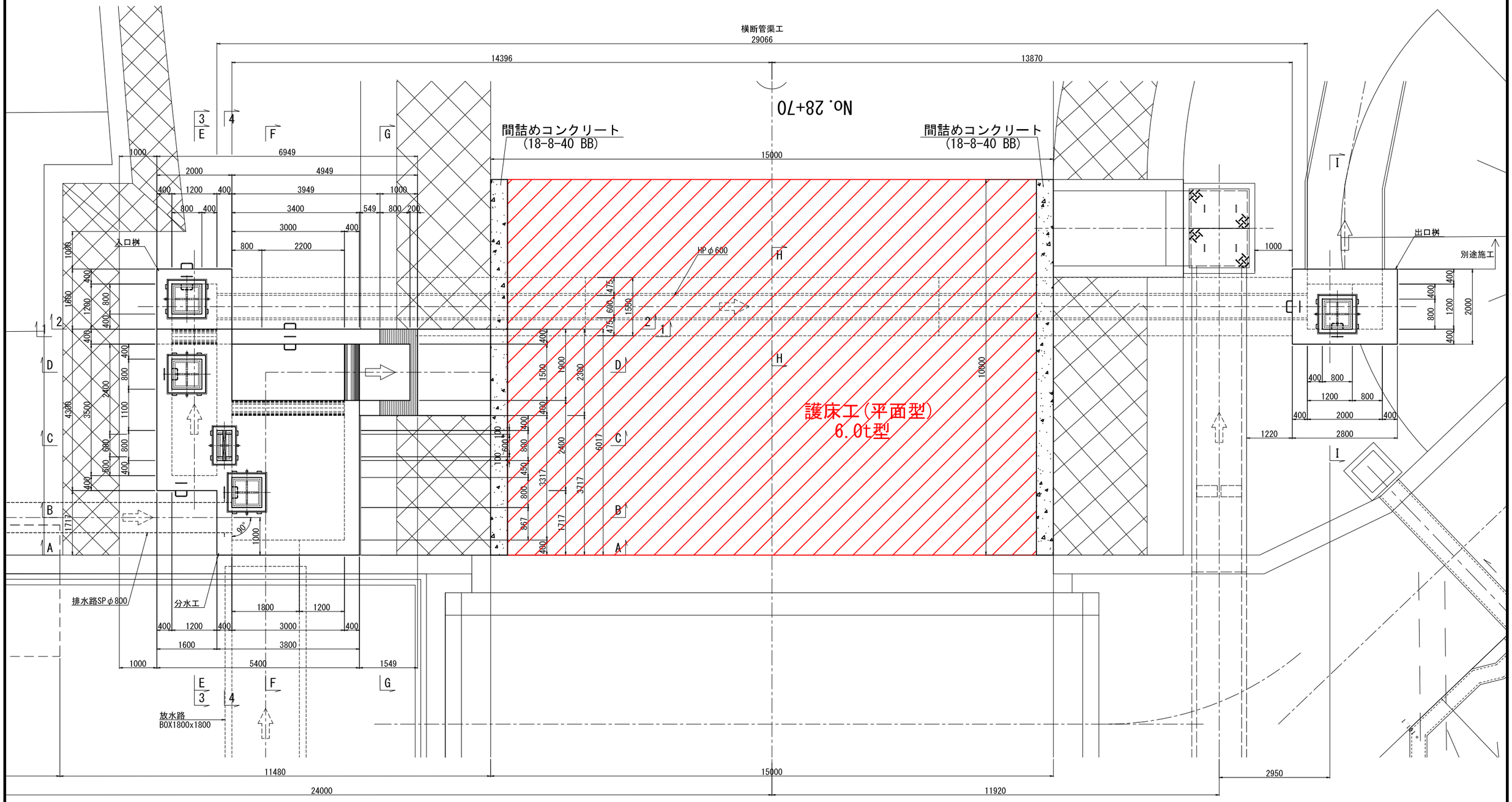
A-A断面図



注)▼:現地溶接箇所

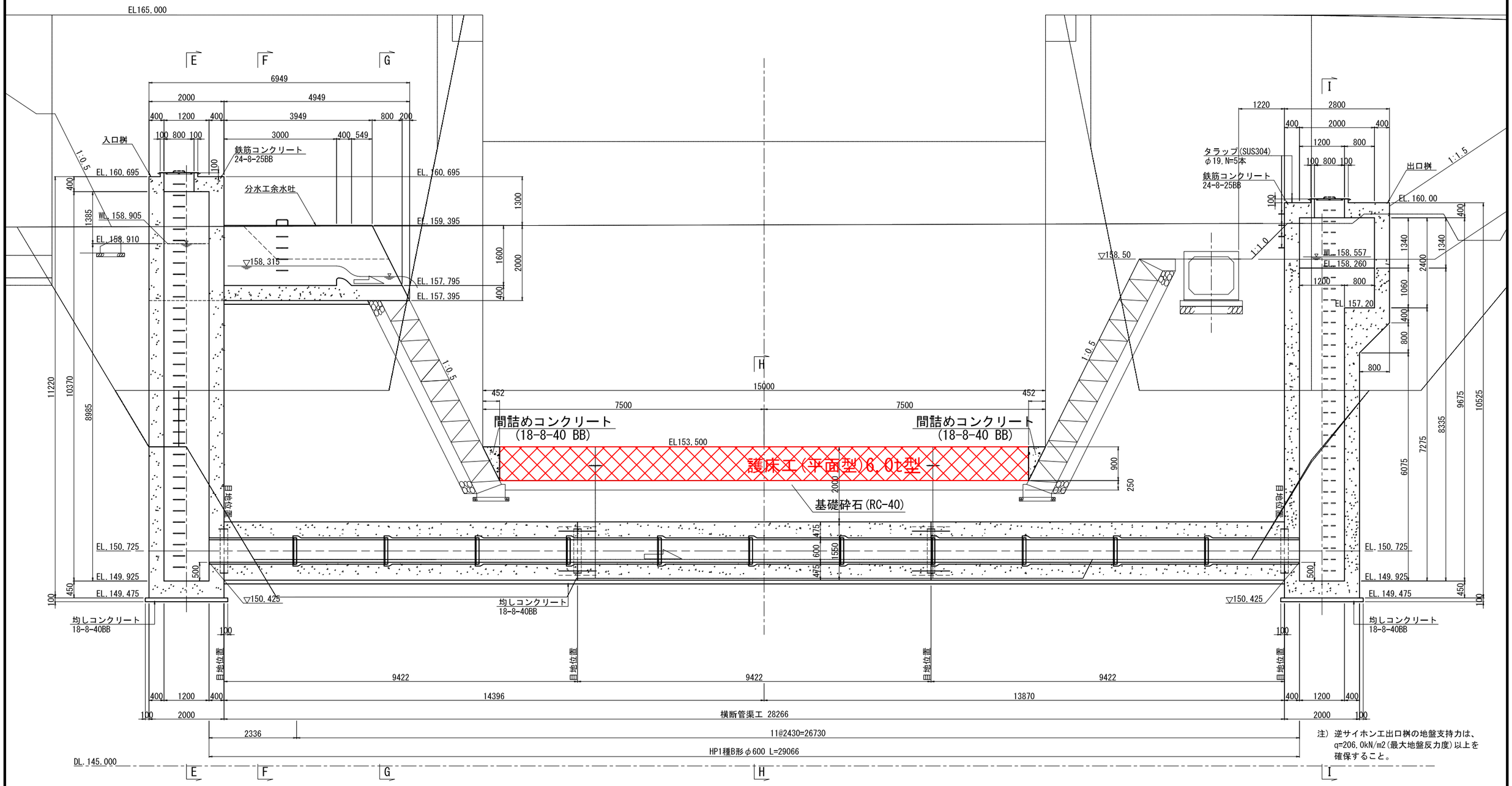
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(1) S=1:50

平 面 図



利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(2) S=1:50

縦断面図



注) 入口桝の地盤支持力は、q=218.1kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

注) 横断管渠工の地盤支持力は、q=177.4kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

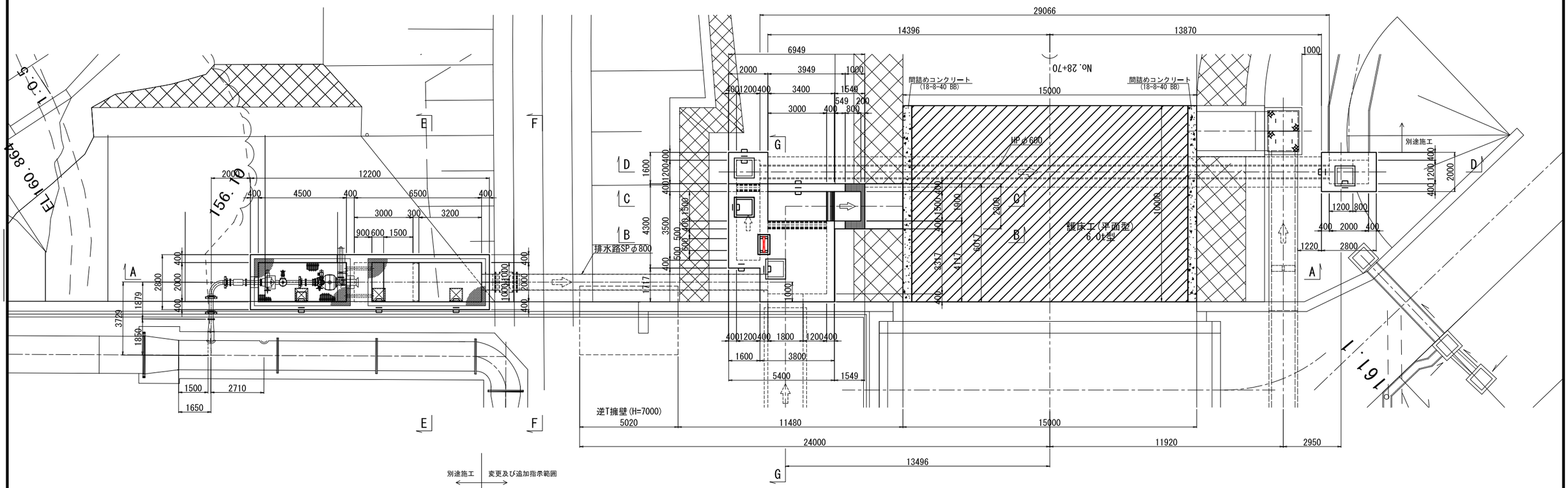
注) 逆サイホン工出口桝の地盤支持力は、q=206.0kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

参考図-4,4

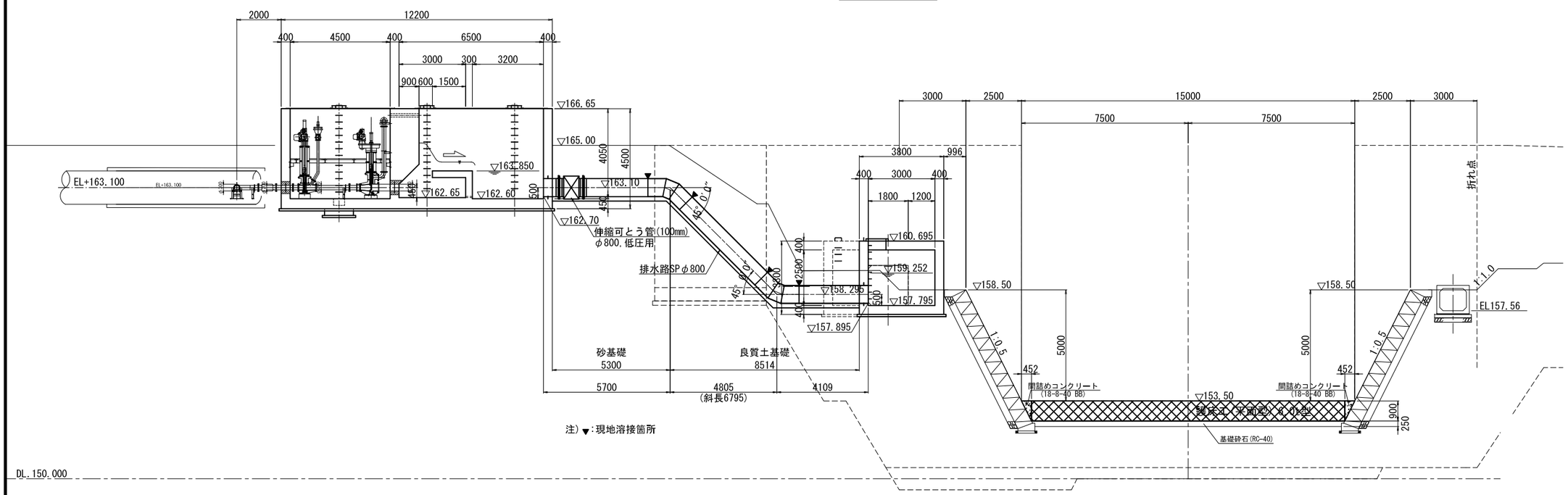
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路一般図(2)

S=1:100

平面図

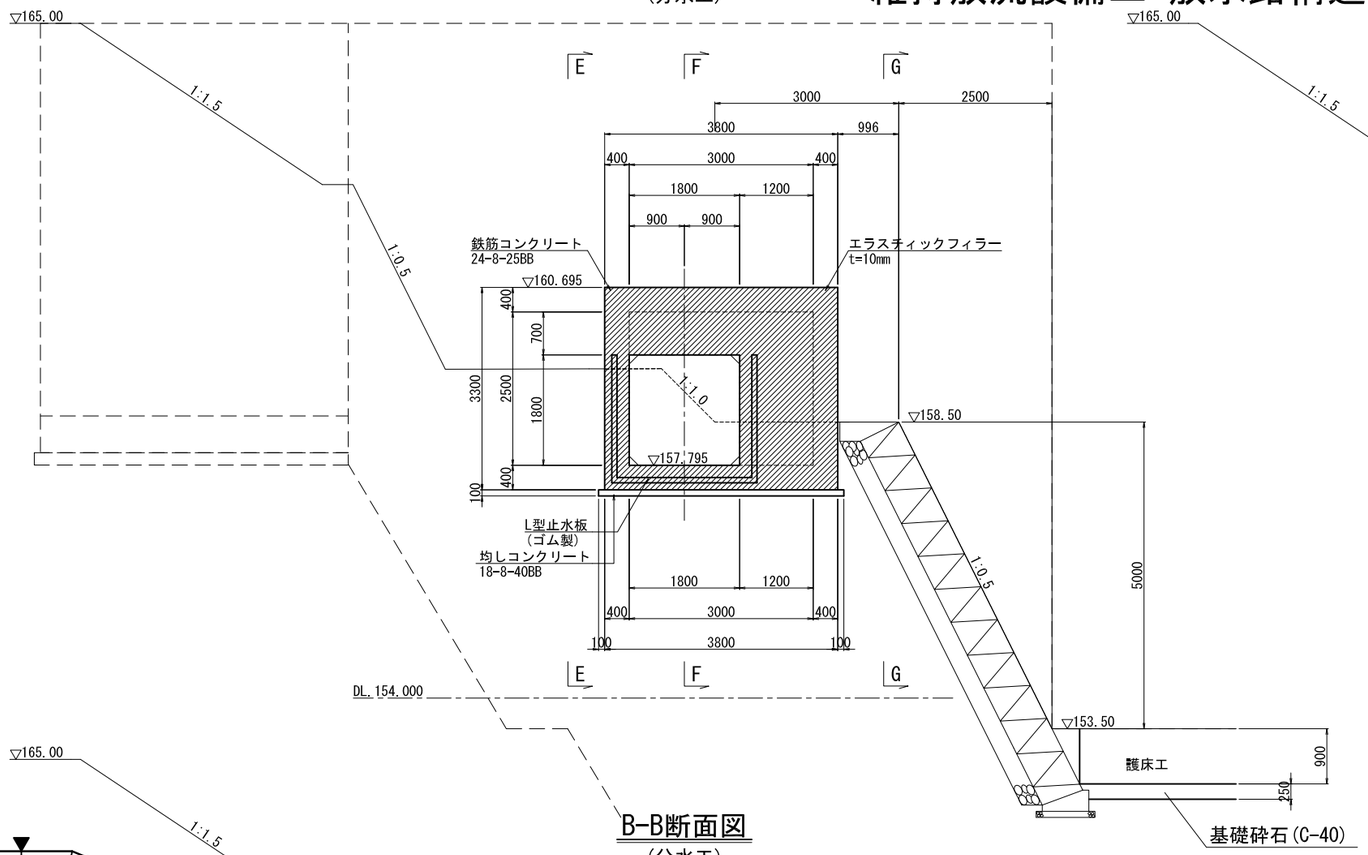


A-A断面図

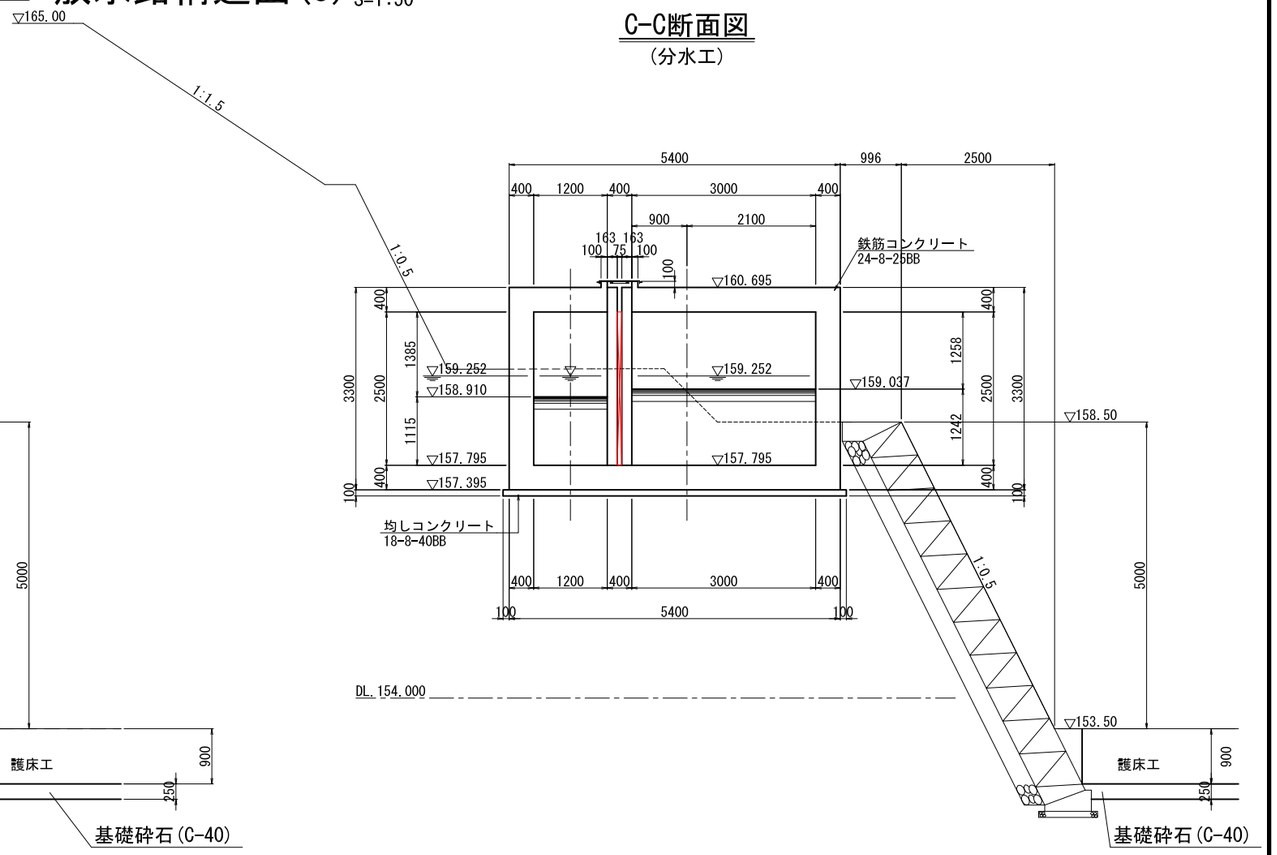


利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(3) S=1:50

A-A断面図
(分水工)

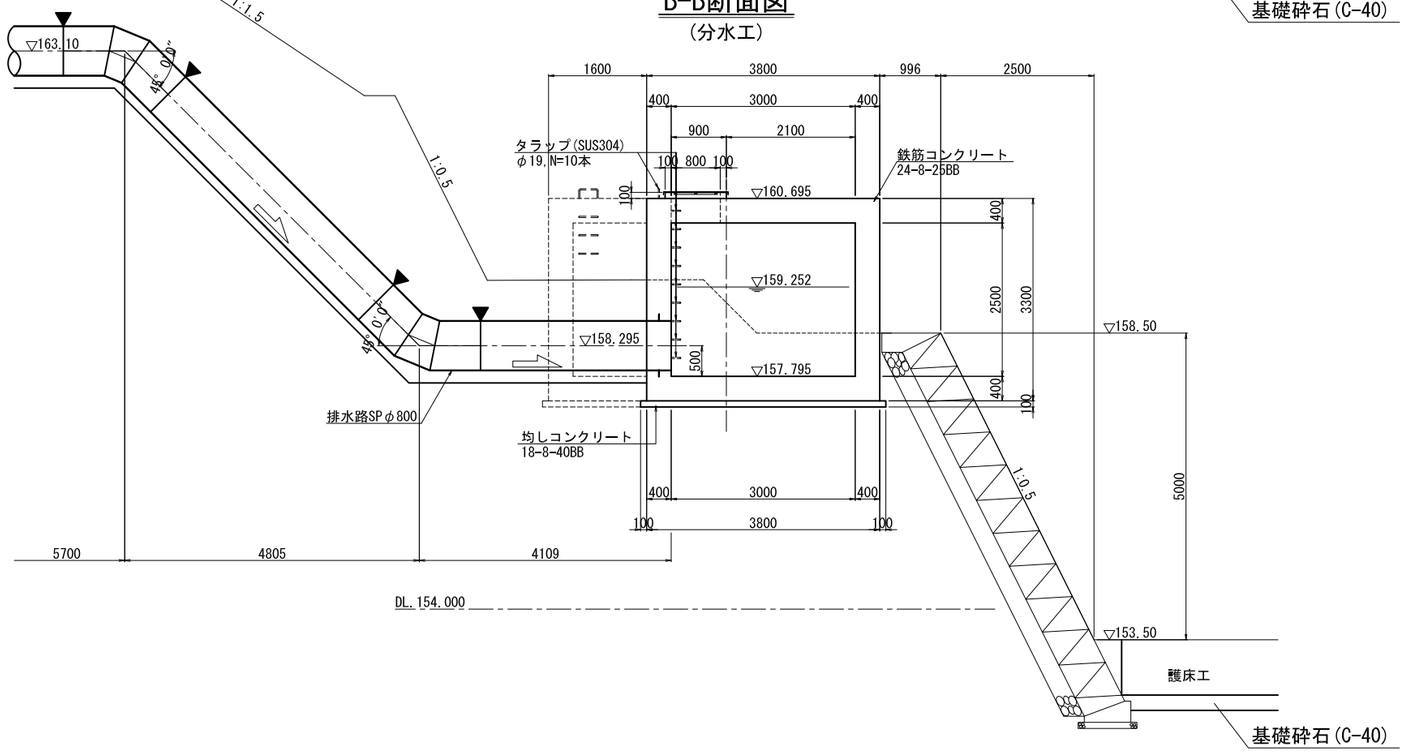


C-C断面図
(分水工)



注) 分水工の地盤支持力は、q=78.2kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

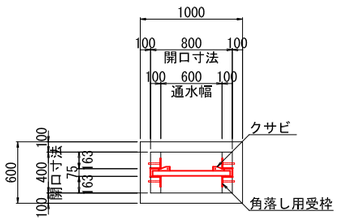
B-B断面図
(分水工)



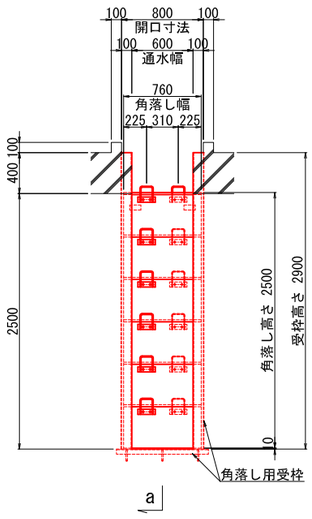
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(8)

角落し詳細図
FRU t49 S=1:30

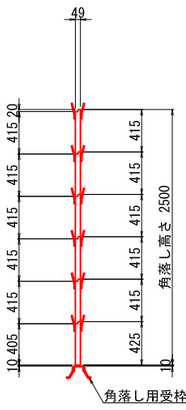
平 面 図



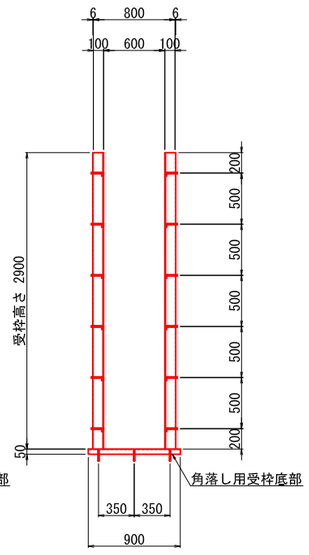
正 面 図



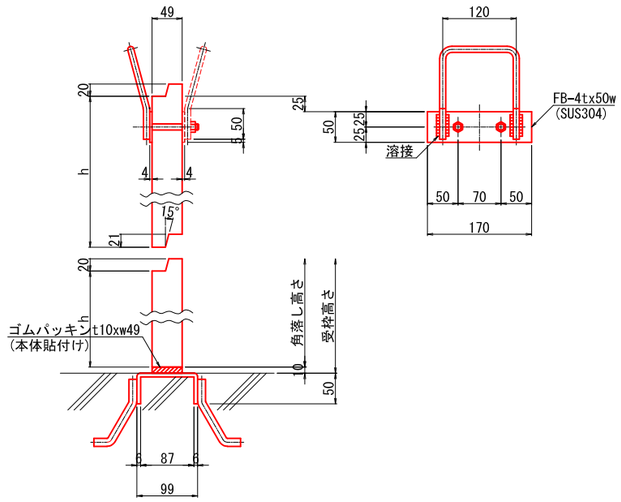
角 落 し a-a断面図



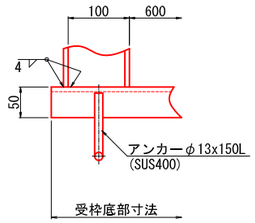
角落し用受枠 正 面 図



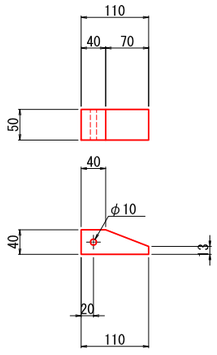
角落し断面及び底部詳細図
S=1:5



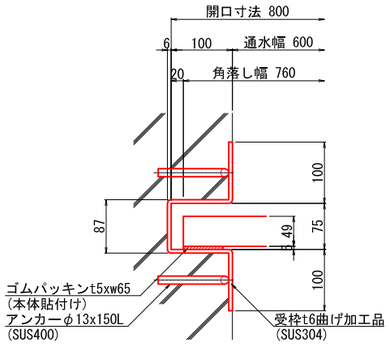
角落し用受枠コーナー部詳細図
S=1:5



クサビ詳細図
S=1:5



角落し側面部詳細図
S=1:5



注記

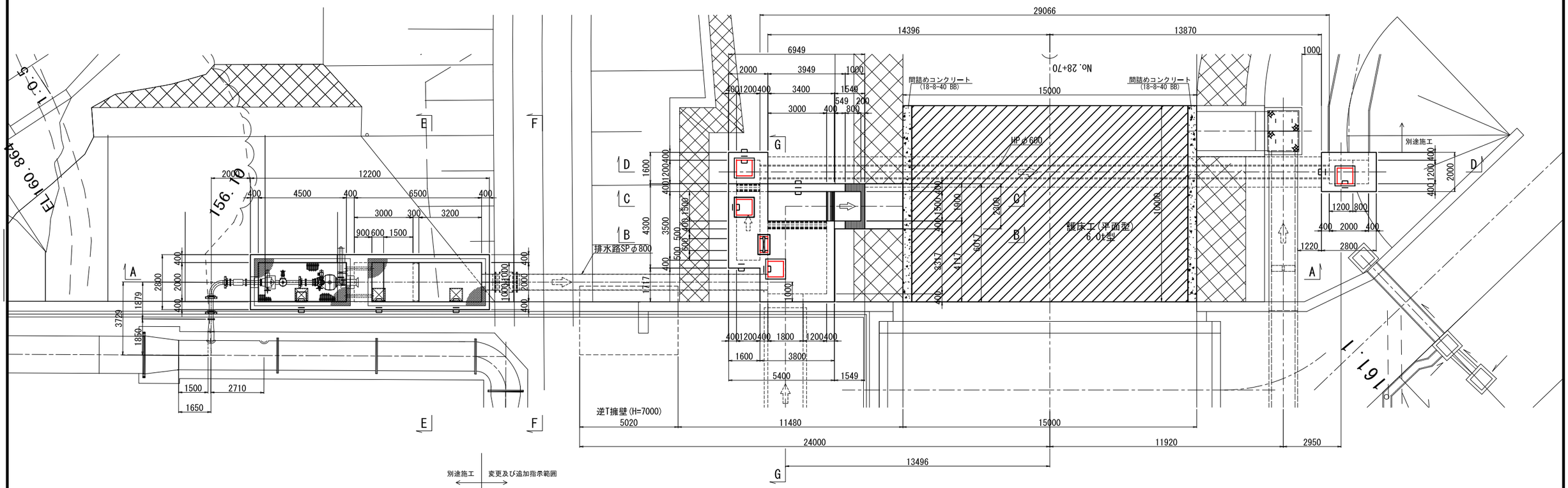
1. 角落し材質は合成木材製とし、材質はガラス長繊維強化硬質発泡ウレタン樹脂とする。
2. 角落しの比重は、0.74とする。
3. 角落しの設計水深は角落し高さとし、静水圧とする。
4. 表面はウレタン塗装仕上げとする。
5. パッキンは、角落し本体に貼り付ける事。
6. 角落し塗装色は、焦げ茶色(日塗工:09-30F近似色)とする。
7. 取手及び金具類の材質は、全てSUS304製とする。

参考図-4,5

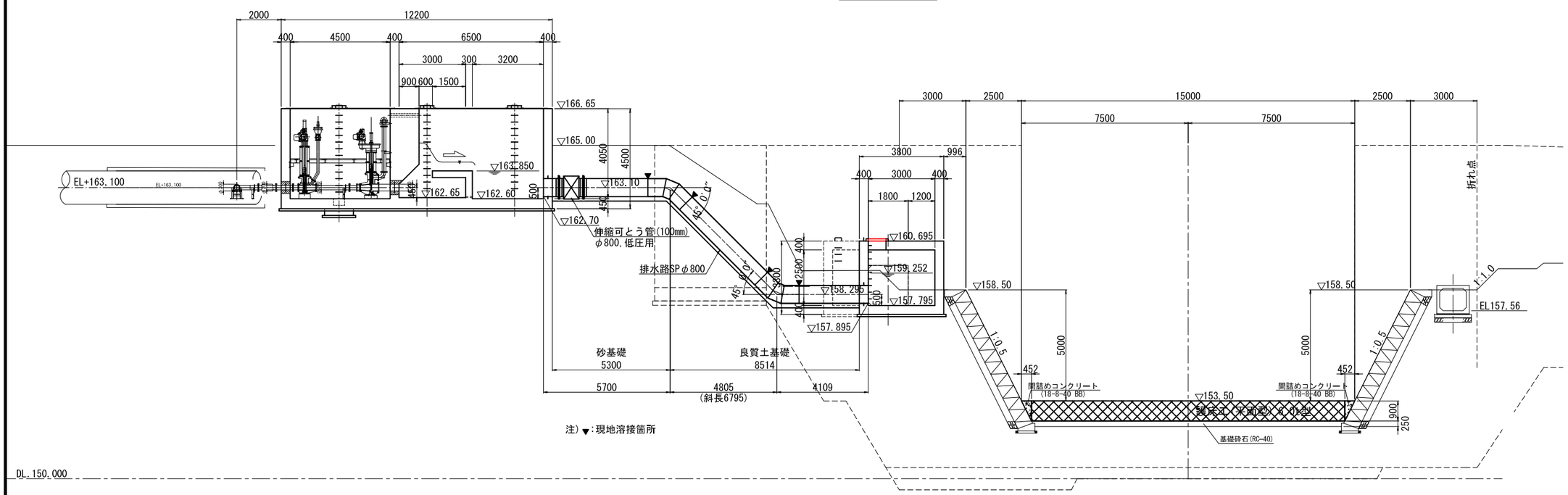
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路一般図(2)

S=1:100

平面図



A-A断面図



注)▼:現地溶接箇所

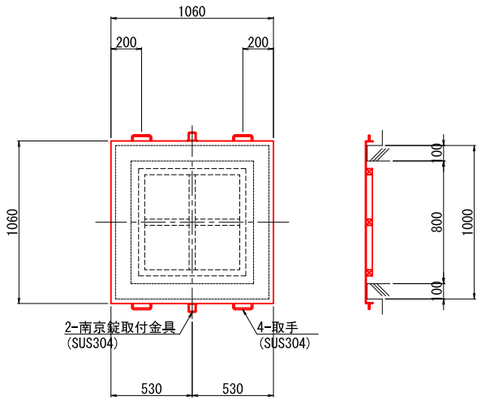
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(7)

FRP覆蓋詳細図

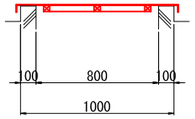
開口800x800用 S=1:20

分水工 N=2ヶ所
入口桝 N=1ヶ所
出口桝 N=1ヶ所

平 面 図



断 面 図



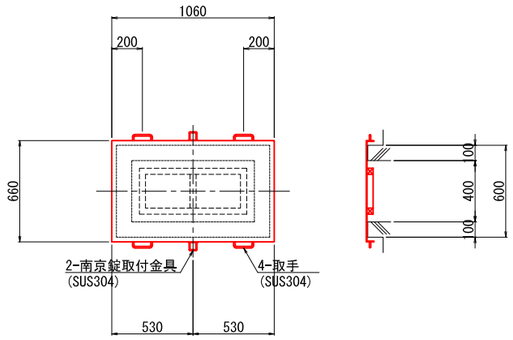
注記
1. 蓋の表面は、チェッカー模様（滑り止め加工）とする。
2. 蓋の色相は、グレー・グリーン・ブルーの何れかとする。
3. 取手等の金具類の材質は、SUS304製とする。
4. 設計条件　設計荷重3.5kN/m2とする。
5. 蓋の重量は、約19kg(参考重量)

FRP覆蓋(角落し部)詳細図

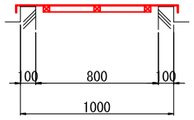
開口800x400用 S=1:20

分水工 N=1ヶ所

平 面 図



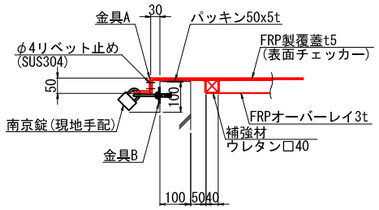
断 面 図



注記
1. 蓋の表面は、チェッカー模様（滑り止め加工）とする。
2. 蓋の色相は、グレー・グリーン・ブルーの何れかとする。
3. 取手等の金具類の材質は、SUS304製とする。
4. 設計条件　設計荷重3.5kN/m2とする。
5. 蓋の重量は、約12kg(参考重量)

蓋据え付け詳細図

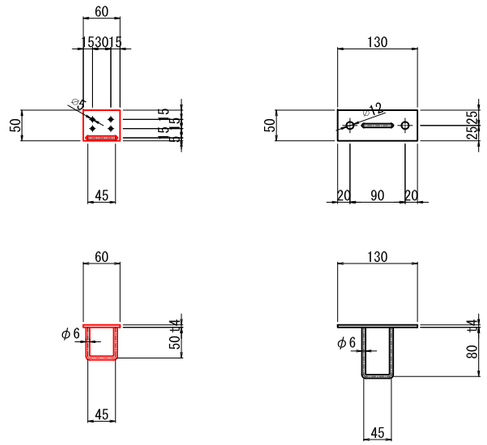
S=1:10



南京錠取付金具詳細図

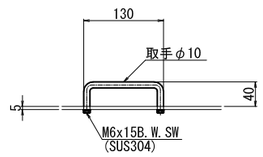
SUS304製 S=1:5

金 具 A　　金 具 B



取手詳細図

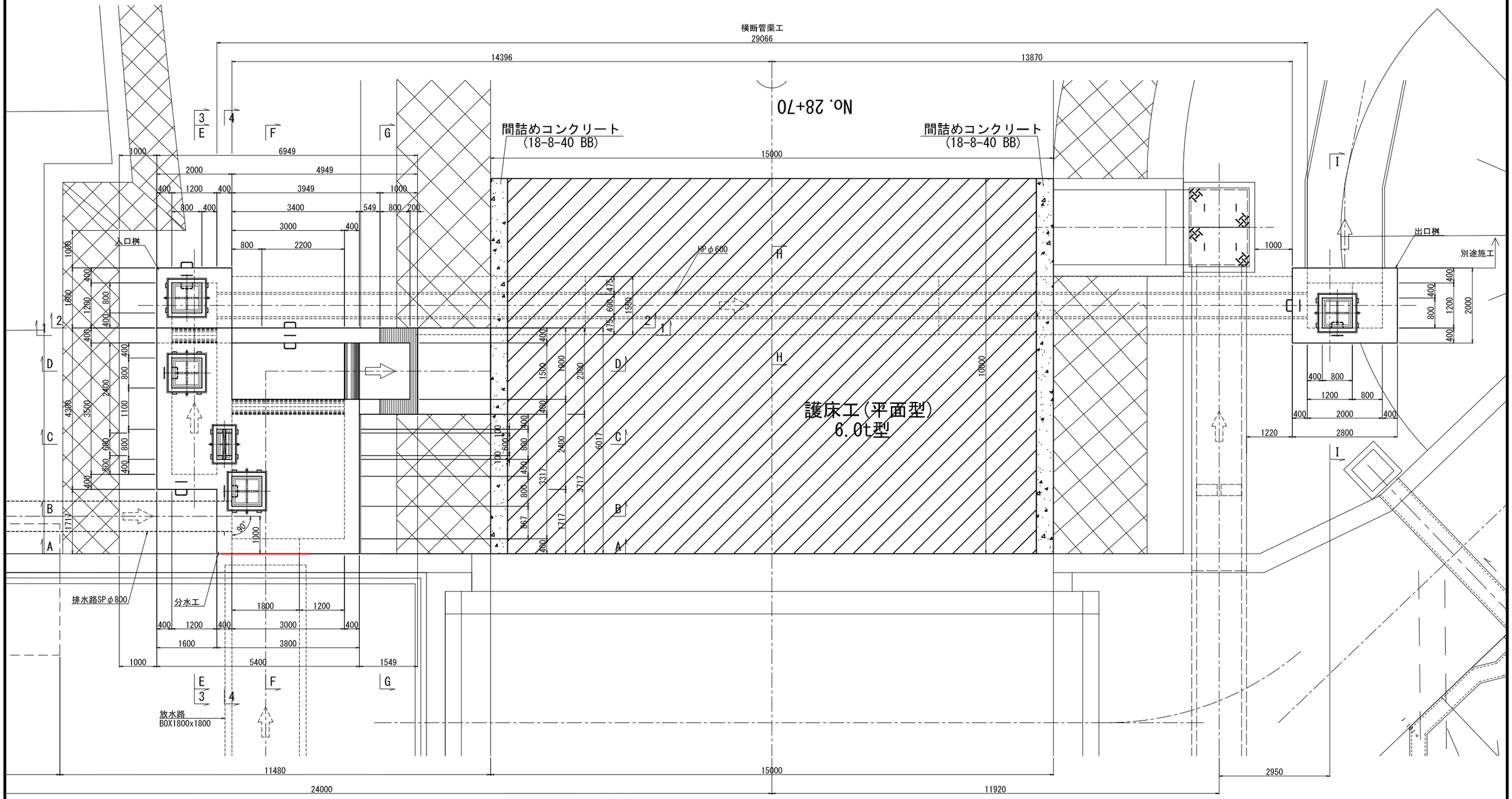
S=1:5



参考図-4,6

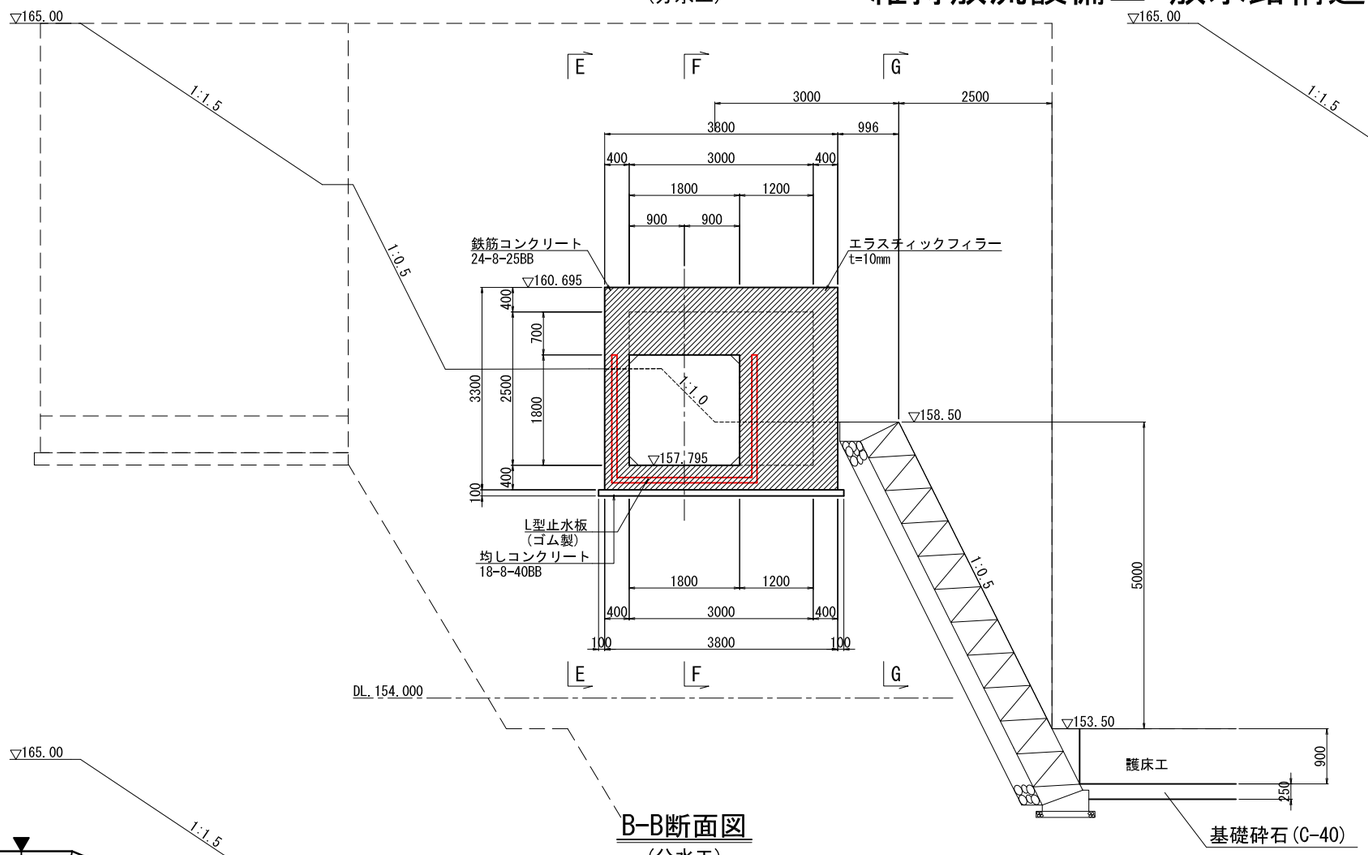
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(1) S=1:50

平 面 図

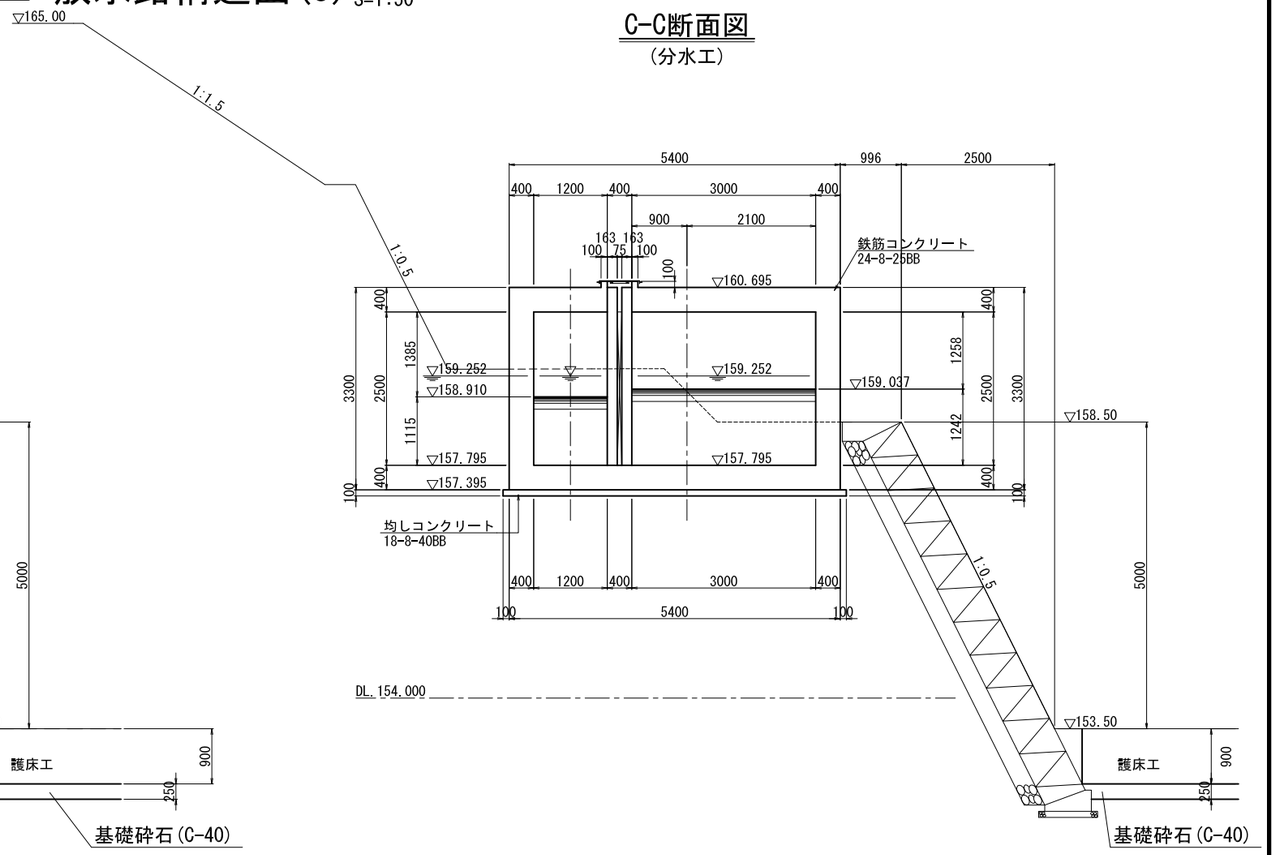


利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(3) S=1:50

A-A断面図
(分水工)

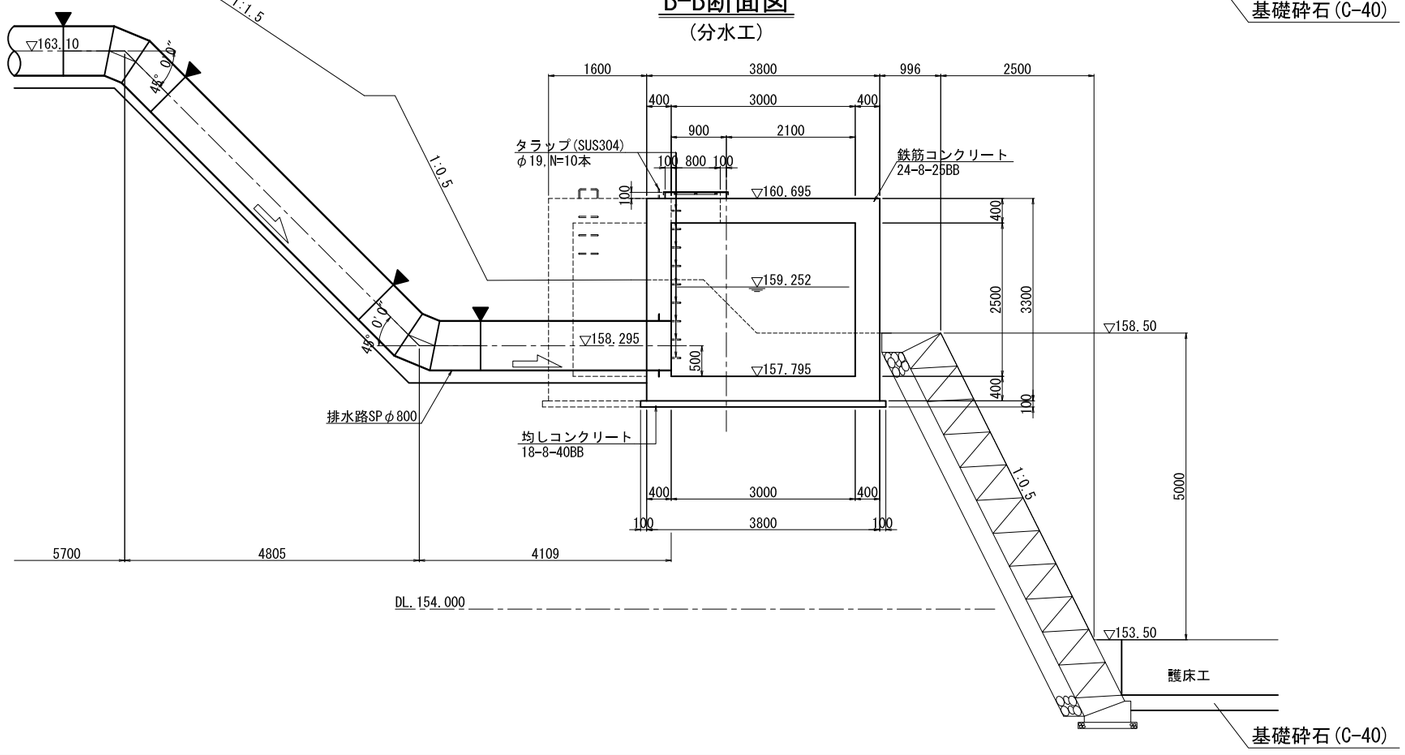


C-C断面図
(分水工)



注) 分水工の地盤支持力は、q=78.2kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

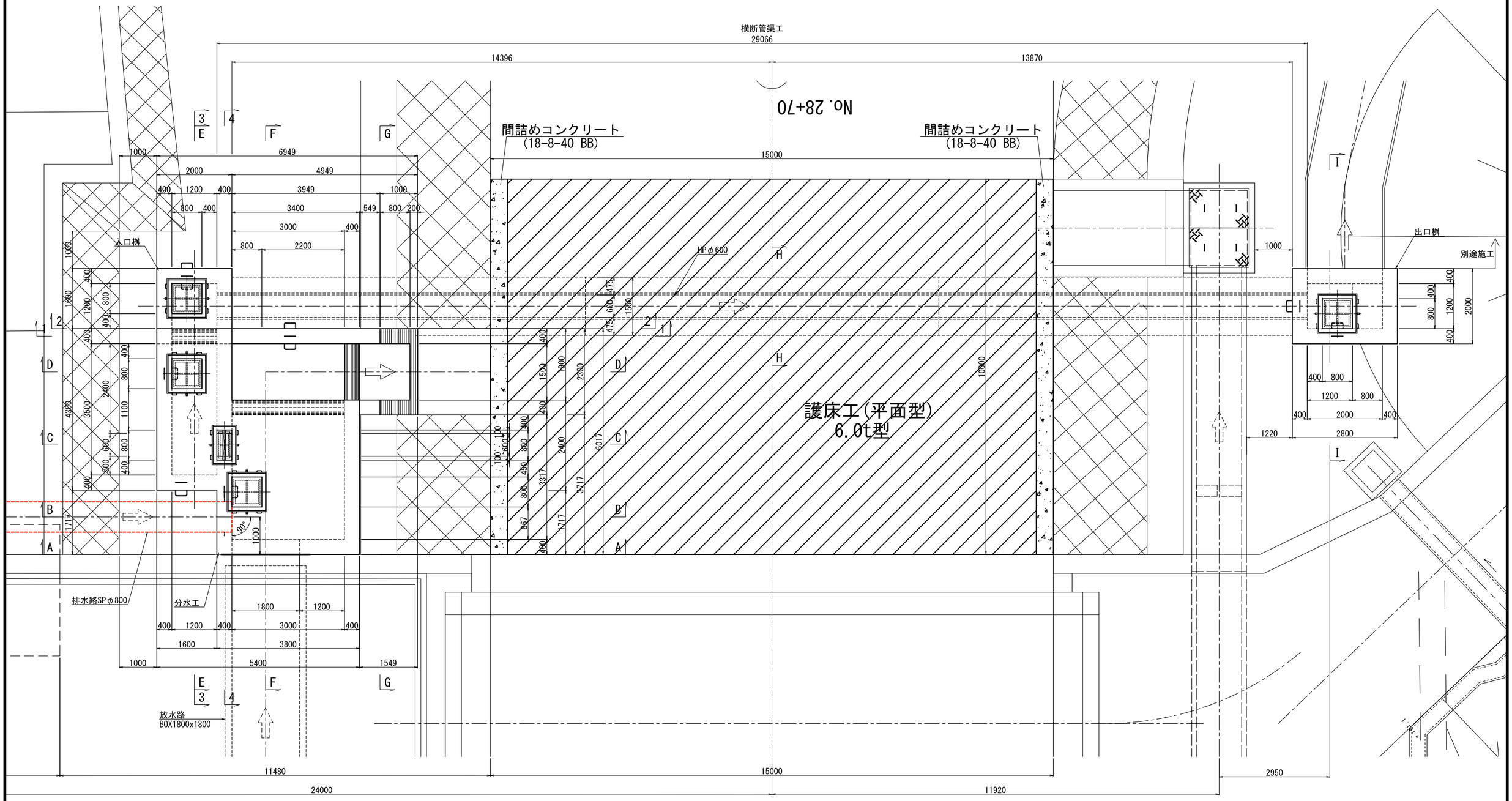
B-B断面図
(分水工)



参考図-4,7

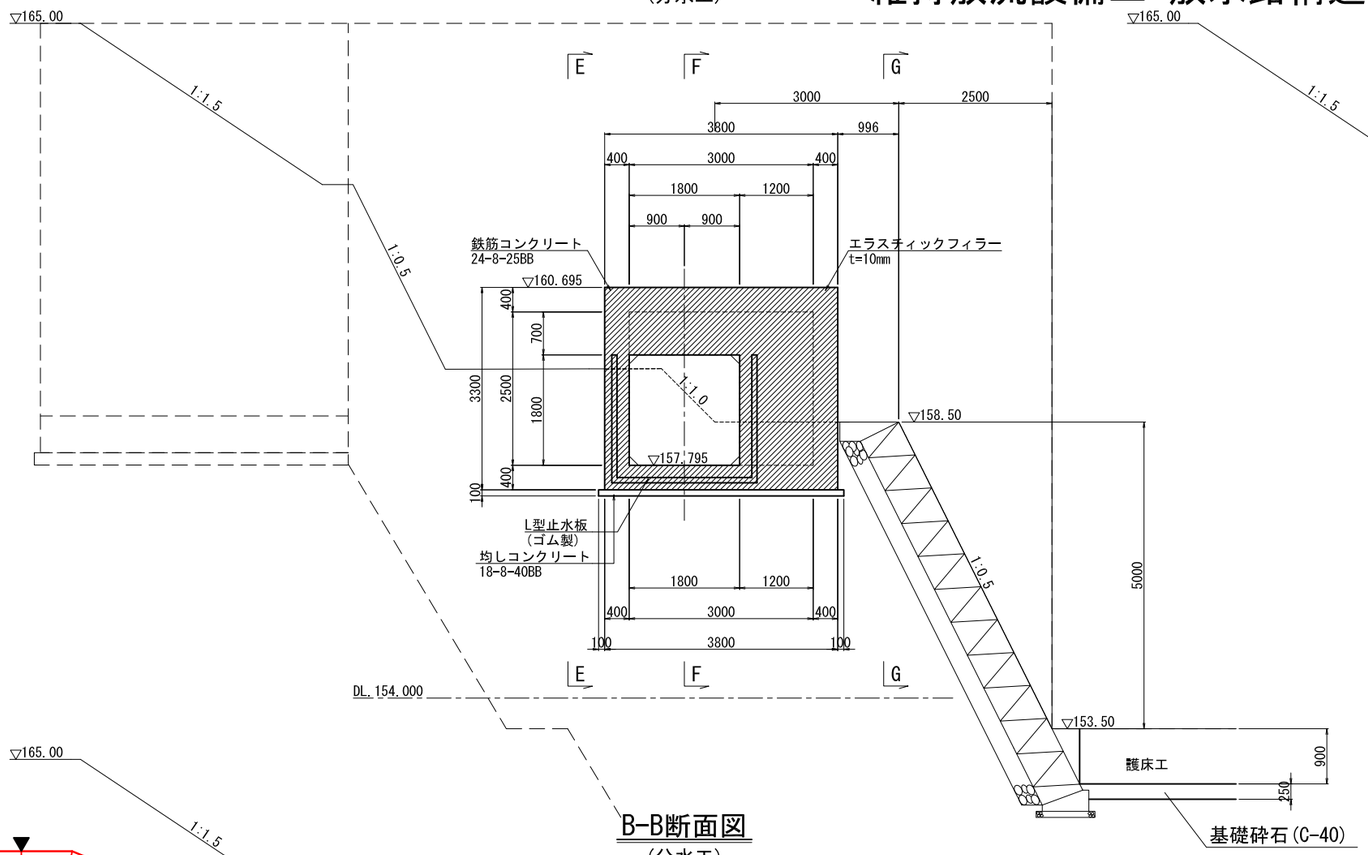
利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(1) S=1:50

平 面 図

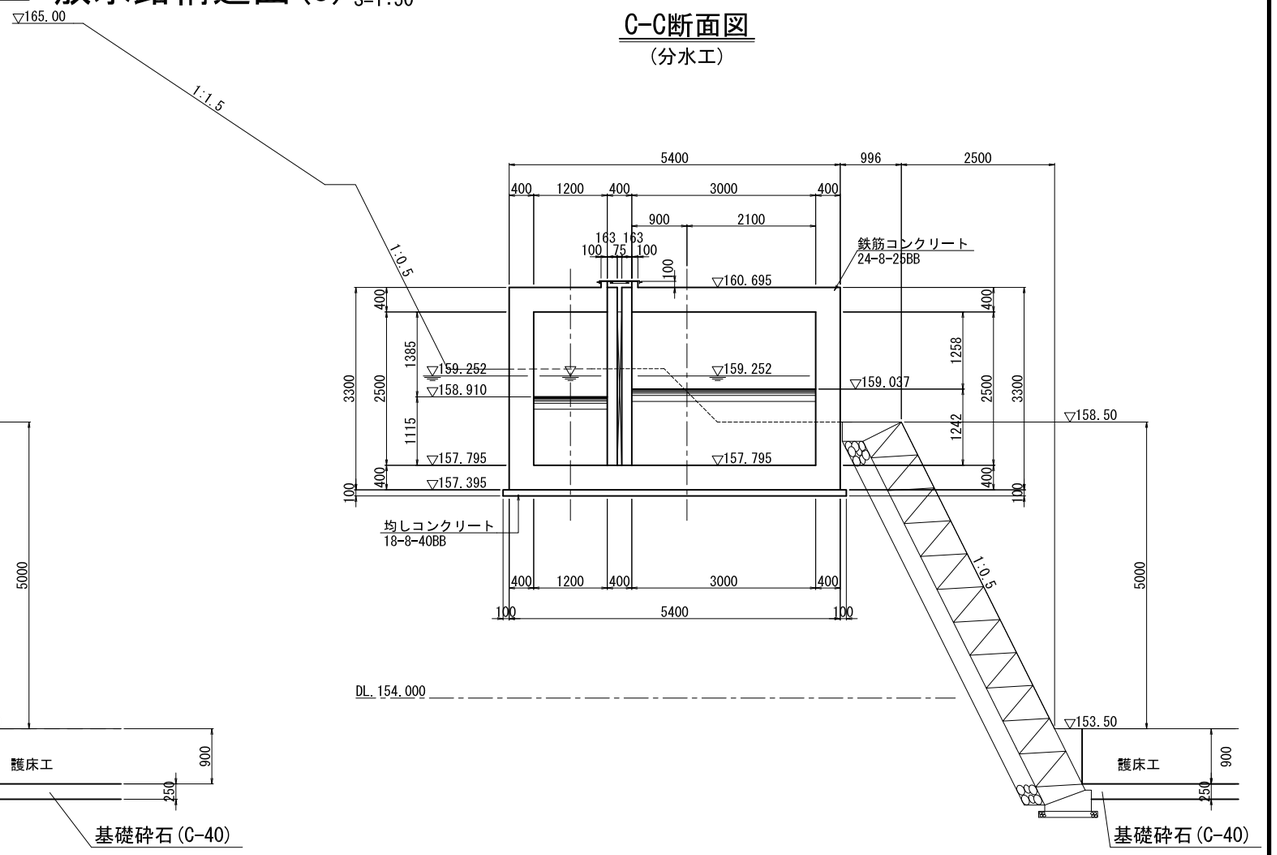


利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 放水路構造図(3) S=1:50

A-A断面図
(分水工)

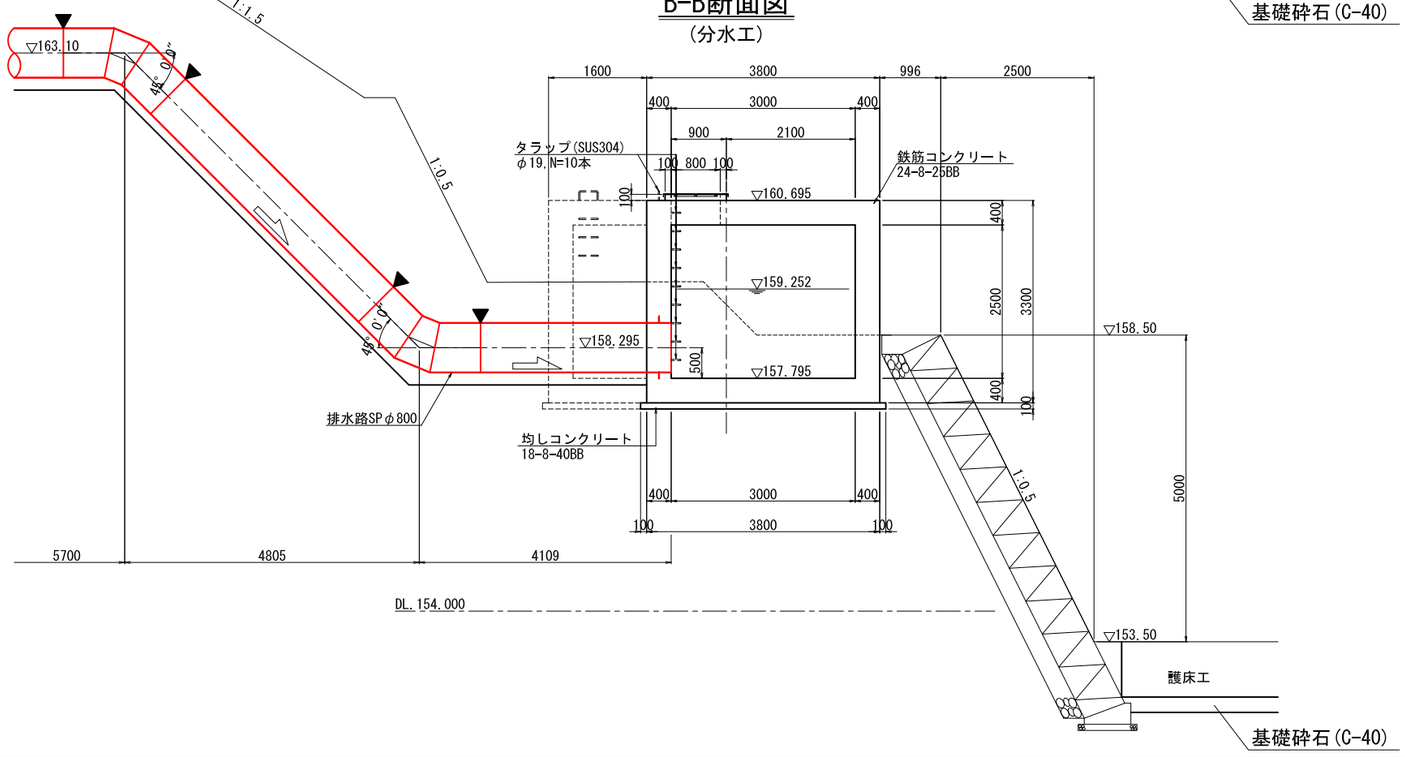


C-C断面図
(分水工)



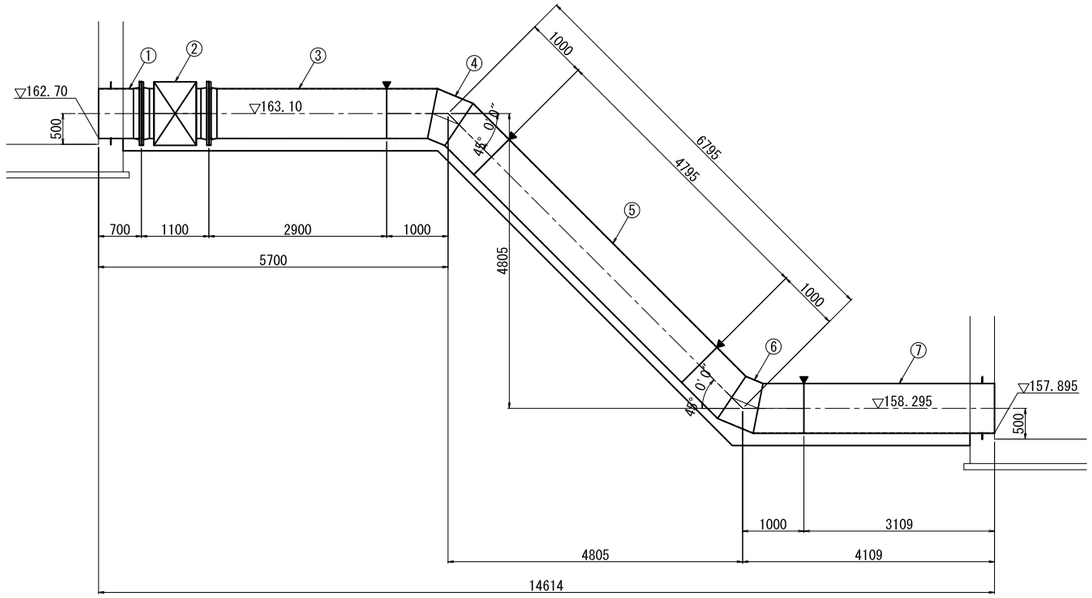
注) 分水工の地盤支持力は、q=78.2kN/m2(最大地盤反力度)以上を確保すること。

B-B断面図
(分水工)



利水水位低下放流設備工
維持放流設備工 排水管路詳細図

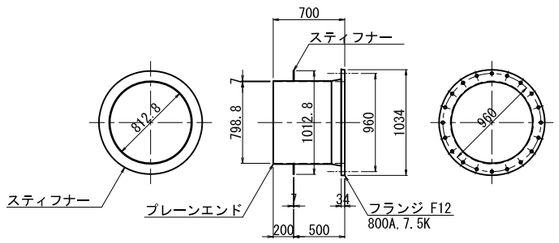
縦断面図
S=1:50



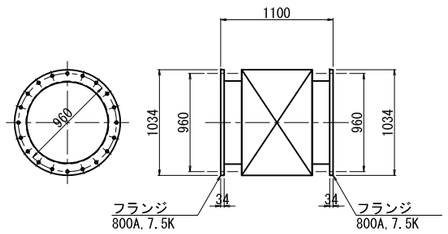
管材リスト

番号	管 種	口 径	規 格	接 続	圧力	面管長
1	鋼管	φ800	1フランジ・スティフナー付短管	プレーンエンド,フランジ	7.5K	700㎜
2		φ800	伸縮可とう管(100㎜),低圧用(5.0K)	両フランジ	7.5K	1100㎜
3	鋼管	φ800	1フランジ付短管	フランジ,ベベルエンド	7.5K	2900㎜
4	鋼管	φ800	45° 曲管	両ベベルエンド	7.5K	2000㎜
5	鋼管	φ800	直管	両ベベルエンド	7.5K	4795㎜
6	鋼管	φ800	45° 曲管	両ベベルエンド	7.5K	2000㎜
7	鋼管	φ800	スティフナー付短管	ベベルエンド,プレーンエンド	7.5K	3109㎜

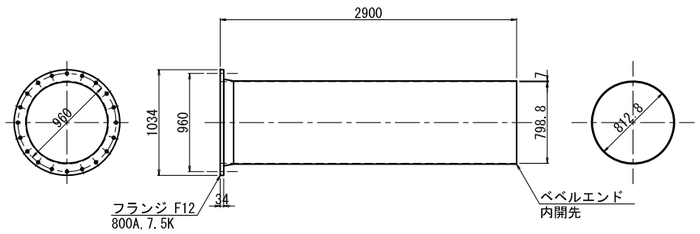
排水路1
S=1:30



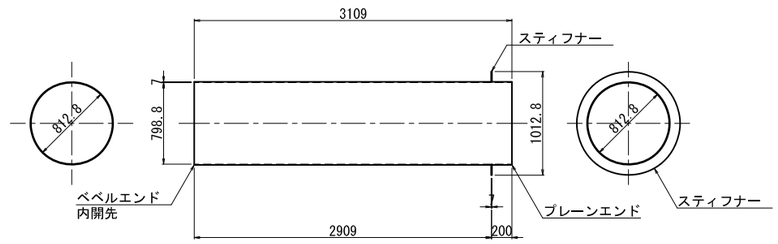
排水路2
S=1:30



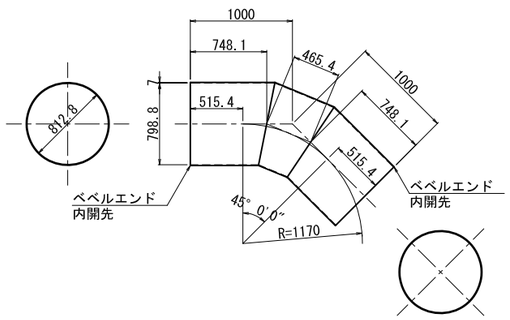
排水路3
S=1:30



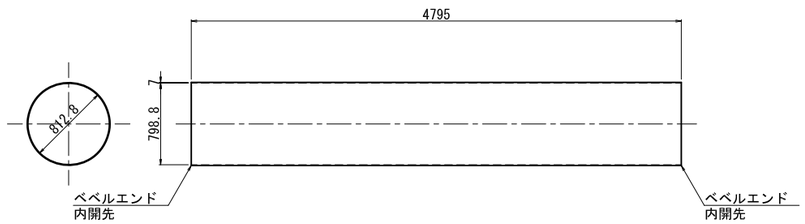
排水路7
S=1:30



排水路4,6
S=1:30



排水路5
S=1:30



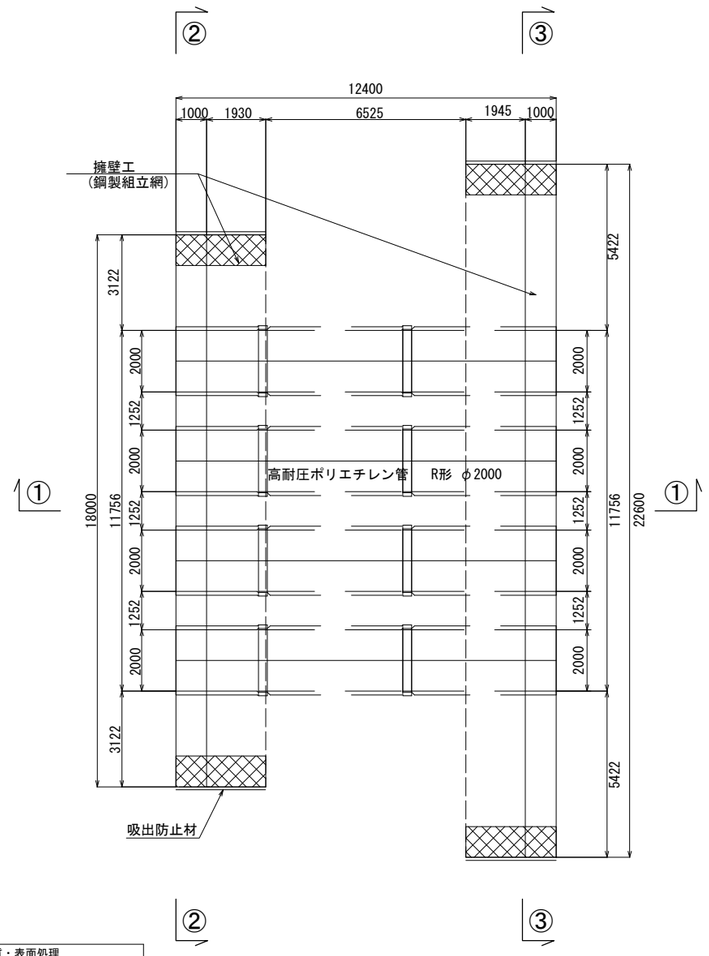
注) 1.▼は現地溶接箇所を示す。
2.管胴材質は、水輸送用塗覆装鋼管STW400Bとする。
3.フランジ材質は、SS400とする。

参考図－5,1

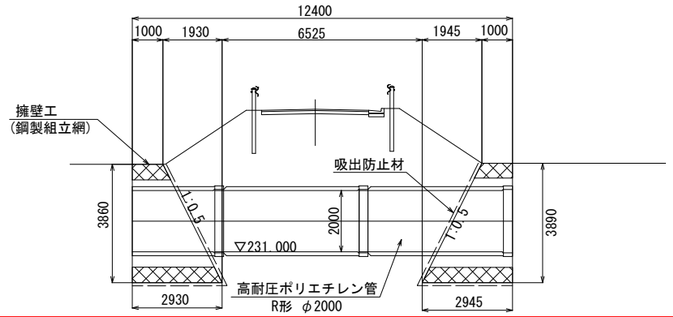
1号横断函渠呑口吐口工詳細図 S=1:100

鋼製組立網(主筋φ16mm×網目130mm)

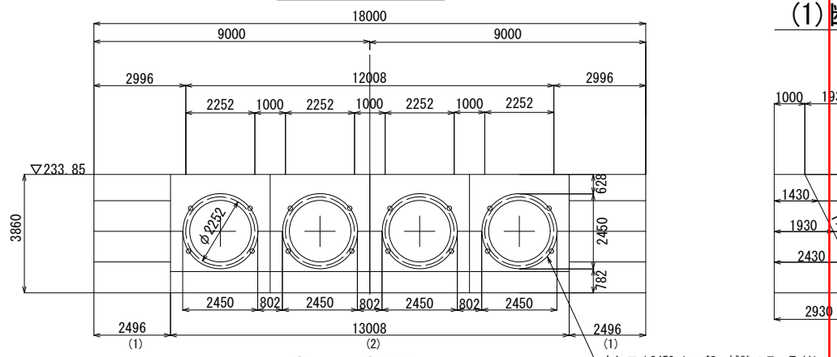
平　面　図



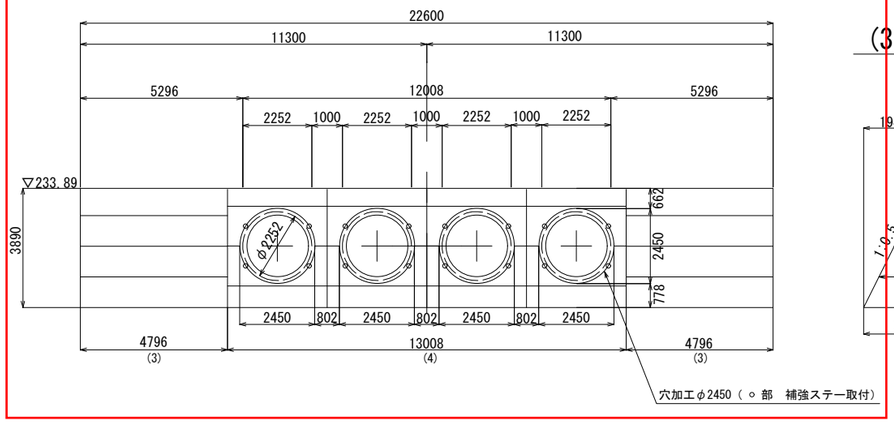
① － ①断面



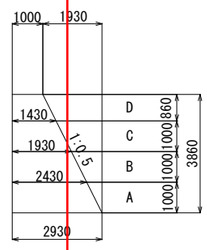
② － ②断面



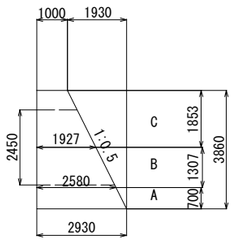
③ － ③断面



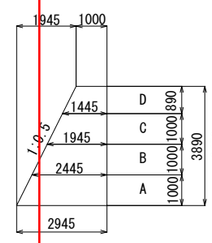
(1)断面



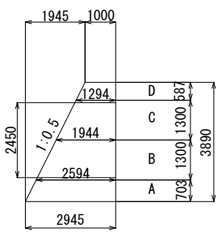
(2)断面



(3)断面



(4)断面



穴あけ加工32枚
正面16＋背面16=32

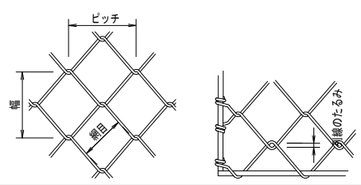
特 記 仕 様

部　位		鋼　材	材質・表面処理
金 網 部		φ8mm	亜鉛アルミ合金めっき鉄線 (アルミ10%以上、めっき付着量300g/m２以上)
枠 部		一般構造用圧延鋼材 φ13・16mm	溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZ55
※連結金具	<M12> Uボルト (35×75) 平鉄3本ボルト (横)	一般構造用圧延鋼材	溶融亜鉛めっき
	平鉄3本ボルト (縦)	軟鋼線材 又は 冷間圧造用炭素鋼線材	溶融亜鉛めっき

金 網 詳 細 仕 様　(単位：mm)

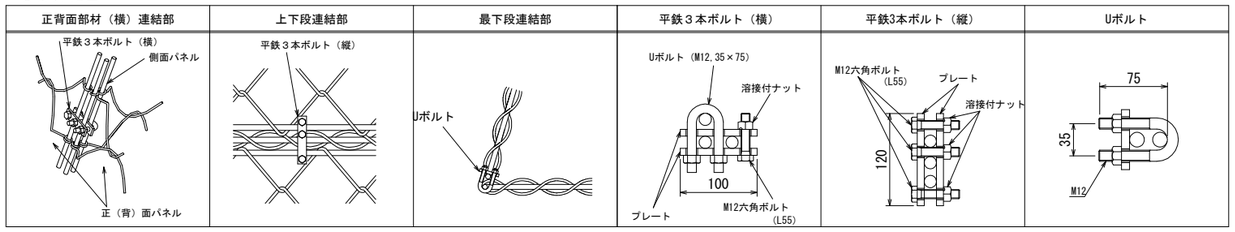
	線　径	網　目	ピ　ッ　チ	幅	た　る　み
150mm目	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm目	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

金網詳細仕様寸法図



※ 連結金具はM12を用いること。

各部詳細図

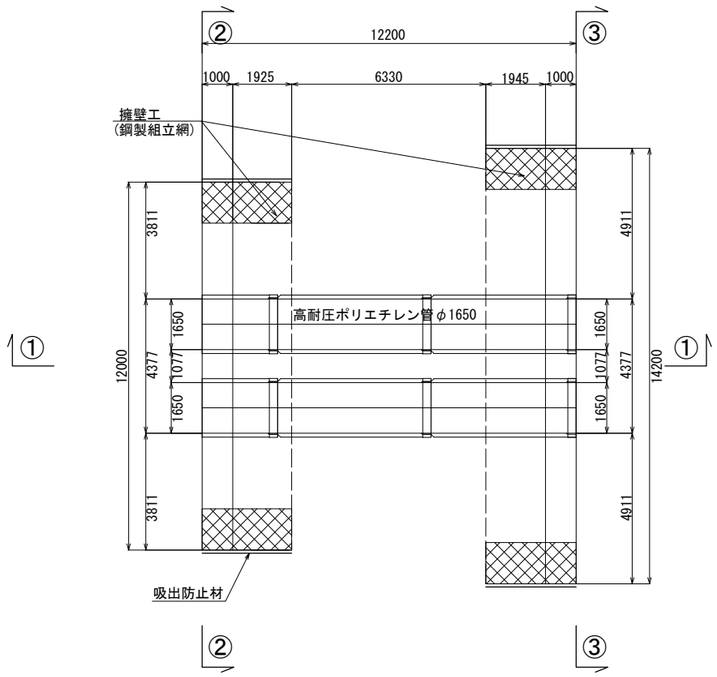


参考図－5,2

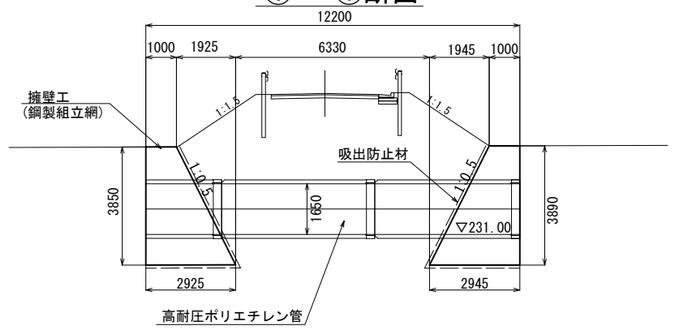
2号横断函渠呑口吐口工詳細図 S=1:100

鋼製組立網（主筋φ16mm×網目130mm）

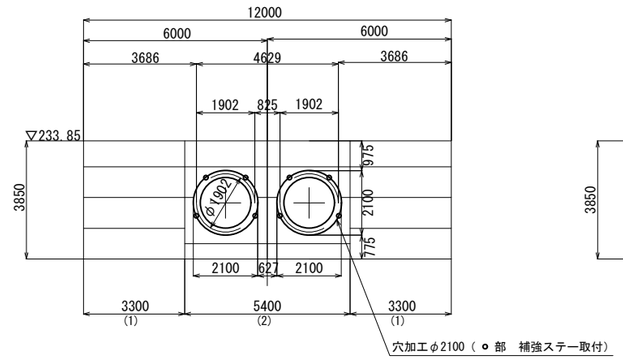
平　面　図



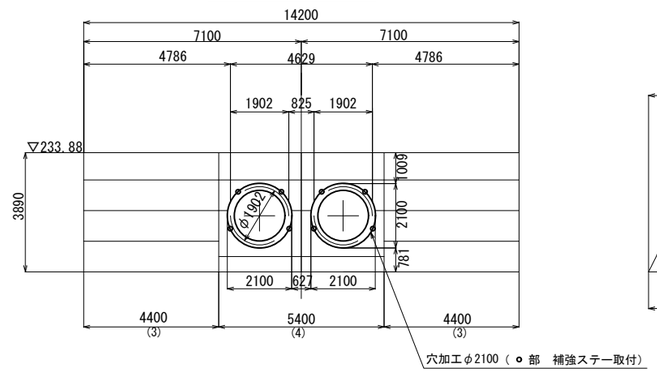
① － ①断面



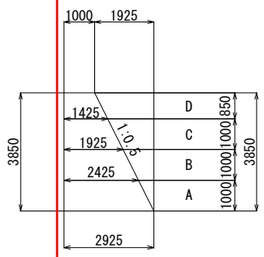
② － ②断面



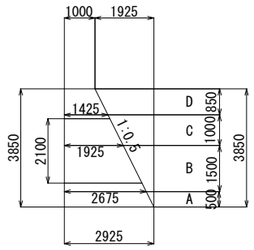
③ － ③断面



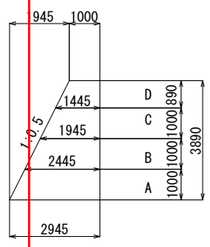
(1)断面



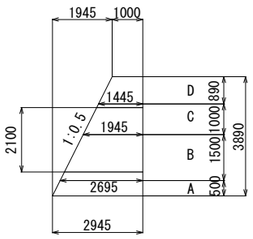
(2)断面



(3)断面



(4)断面



穴あけ加工16枚

正面8＋背面8=16

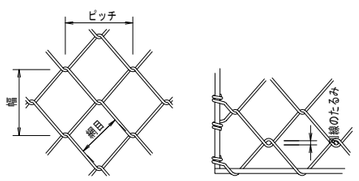
特 記 仕 様

部　位		鋼　材	材質・表面処理
金 網 部		φ8mm	亜鉛アルミ合金めっき鉄線（アルミ10%以上、めっき付着量300g/m２以上）
枠 部		一般構造用圧延鋼材 φ13・16mm	溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZ55
※連結金具	〈M12〉 Uボルト（35×75）	一般構造用圧延鋼材	溶融亜鉛めっき
	平鉄3本ボルト（横） 平鉄3本ボルト（縦）	軟鋼線材 又は 冷間圧造用炭素鋼線材	溶融亜鉛めっき

金 網 詳 細 仕 様　（単位：mm）

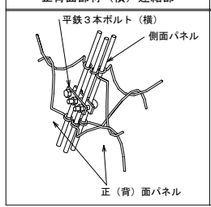
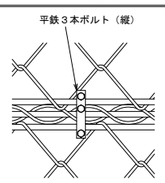
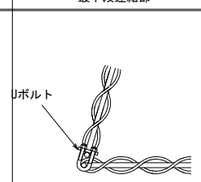
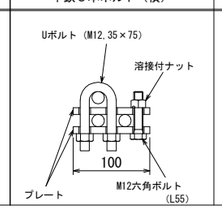
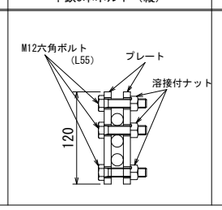
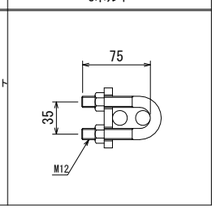
	線　径	網　目	ピ ッ チ	幅	た る み
150mm目	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm目	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

金網詳細仕様寸法図



※ 連結金具はM12を用いること。

各部詳細図

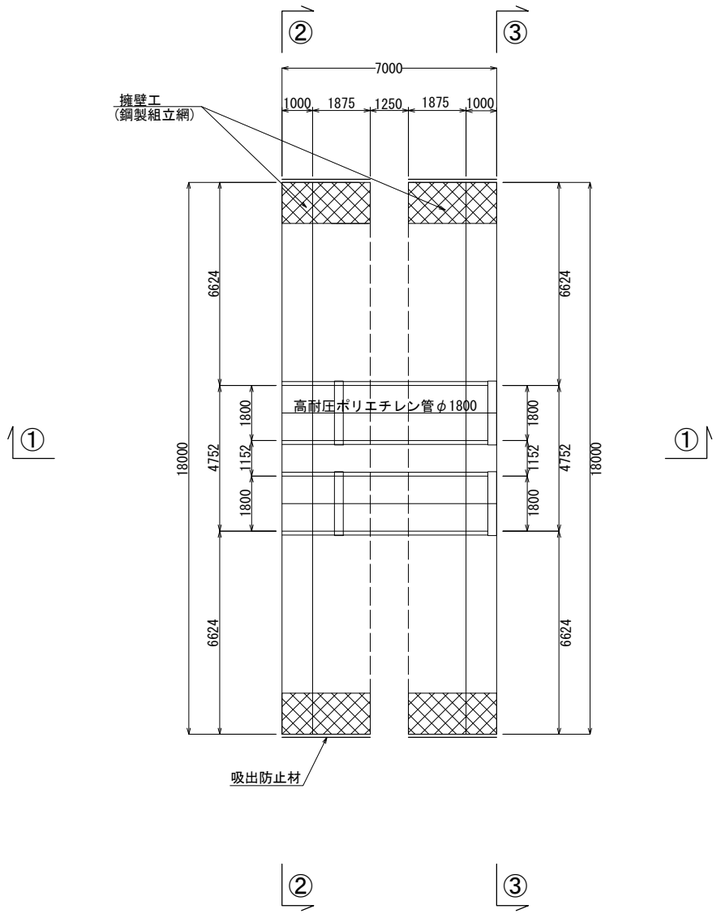
正背面部材（横）連結部	上下段連結部	最下段連結部	平鉄３本ボルト（横）	平鉄3本ボルト（縦）	Uボルト
					

参考図－5,3

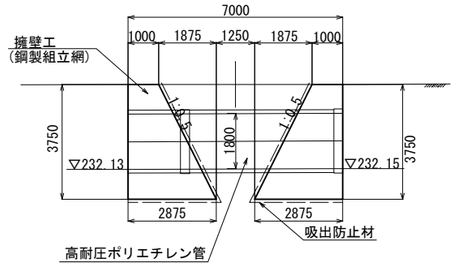
3号横断函渠呑口吐口工詳細図 S=1:100

鋼製組立網(主筋φ16mm×網目130mm)

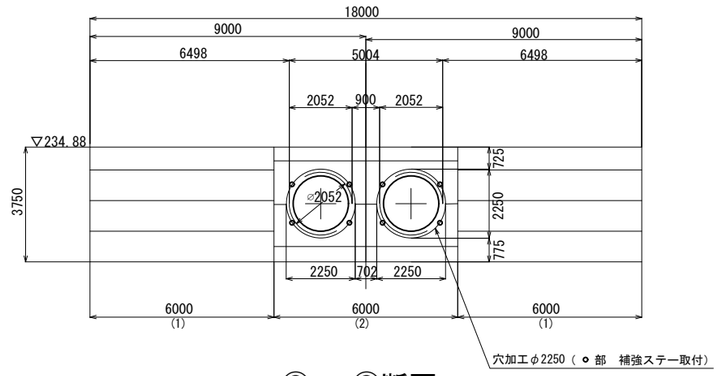
平　面　図



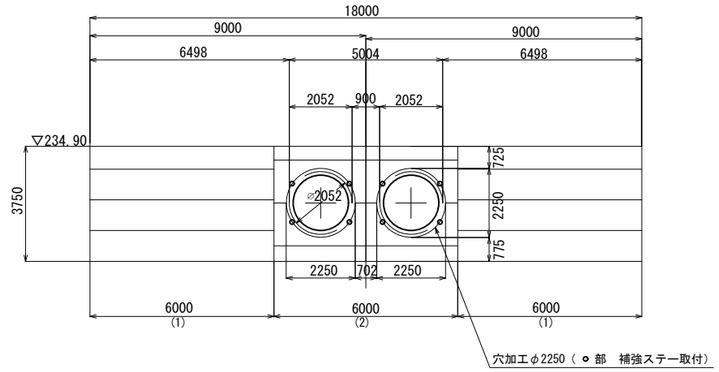
① － ①断面



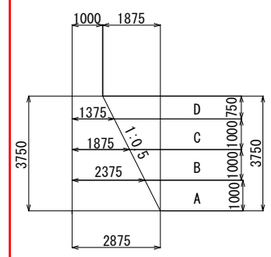
② － ②断面



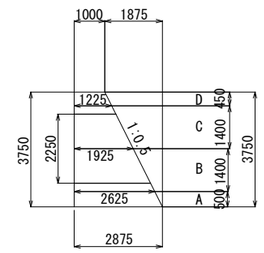
③ － ③断面



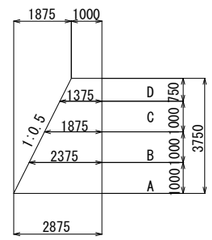
(1)断面



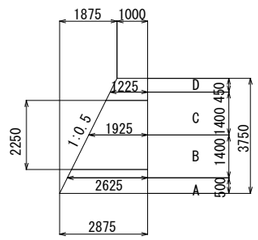
(2)断面



(3)断面



(4)断面



穴あけ加工16枚
正面8＋背面8=16

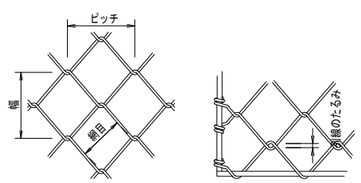
特 記 仕 様

部　位		鋼　材	材質・表面処理
金 網 部		φ8mm	亜鉛アルミ合金めっき鉄線 （アルミ10%以上、めっき付着量300g/m２以上）
枠 部		一般構造用圧延鋼材 φ13・16mm	溶融亜鉛めっき JIS H8641 HDZ55
※連結金具	〈M12〉 Uボルト（35×75）	一般構造用圧延鋼材	溶融亜鉛めっき
	平鉄3本ボルト（横） 平鉄3本ボルト（縦）	軟鋼線材 又は 冷間圧造用炭素鋼線材	溶融亜鉛めっき

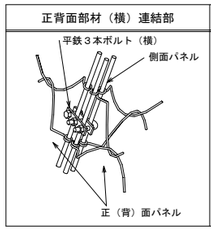
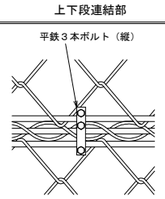
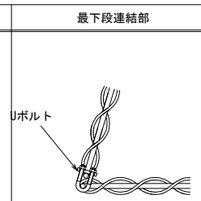
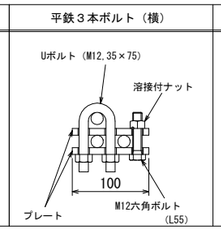
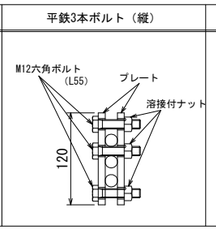
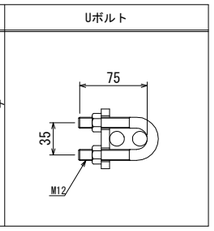
金 網 詳 細 仕 様　（単位：mm）

	線　径	網　目	ピ ッ チ	幅	た る み
150mm目	8±0.12	150±7	220±5	215±15	35以内
130mm目	8±0.12	130±6	180±10	195±15	35以内

金網詳細仕様寸法図



※ 連結金具はM12を用いること。

各部詳細図

正背面部材（横）連結部	上下段連結部	最下段連結部	平鉄３本ボルト（横）	平鉄3本ボルト（縦）	Uボルト